令和４　年度　東野町管渠工事

工事設計図書

（当初設計）

工事番号

路線名等

工事箇所　　明石市東野町地内

工　　種

明石市都市局下水道室下水道整備課

工　事　費				概　　要
	実　施 （前回変更）	今　回　変　更	増　減　額	管路布設工 ・・・・・・・・・・・L= 166.1m 内径200mm管布設工 ・・・・・L= 166.1m マンホール設置工 ・・・・・・N= 8箇所 取付管設置工 ・・・・・・・・・N= 23箇所 付帯工 ・・・・・・・・・・・1　式
設 計 額 （内消費税額）	円 （　　円）	円 （　　円）	円 （　　円）	
請 負 額 （内消費税額）	円 （　　円）	円 （　　円）	円 （　　円）	
執行方法	請負	施 工 日 数 または 施 工 期 限	令和5年3月31日	

（起工理由）

前金払・・・・・・・・・・・40%以内
中間前金払・・・・・・・・・20%以内
部分払・・・・・・・・・・・0回

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
本工事費					
管路					
管きょ工	(管径200mm)				
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破砕(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)		m2		147	
機械掘削工		m3		227	
床掘り	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	m3		29	
管路埋戻		式		1	
埋戻工	再生切込砕石	m3		173	
埋戻し		m3		20	
発生土処理		式		1	
残塊処分工（ｱｽﾌｧﾙﾄ）		m3		7	
残土処分工（土砂）		m3		227	
残土処分工（土砂）		m3		29	
管布設工					
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管		式		1	
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管設置工	呼び径 200mm	m		159.8	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
埋設標識ﾃｰﾌﾟ		式		1	
管明示ﾃｰﾌﾟ	幅50mm,塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製	m		159.8	
管基礎工					
砂基礎		式		1	
砂基礎工（機械投入）		m3		55	
管路土留工					
ｱﾙﾐ矢板土留		式		1	
ｱﾙﾐ矢板建込引抜工（両側分）		m		127	
土留支保工		式		1	
土留支保工（設置＋撤去）		m		115	
土留支保工（設置＋撤去）		m		11.9	
鋼材賃料		式		1	
アルミ矢板貸料					
ｱﾙﾐ矢板整備費（基本料）					
ｱﾙﾐ製支保工賃料（軽量鋼矢板2.5m用）					
ｱﾙﾐ製支保工賃料（軽量鋼矢板2.5m用）					
ﾏﾝﾎｰﾙ工					
組立ﾏﾝﾎｰﾙ工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
組立1号ﾏﾝﾎｰﾙ		式		1	
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工	1号　　ﾏﾝﾎｰﾙ深さ3m以下	箇所		8	
削孔代 0号,1号 組立式(V型)	φ200mm用	箇所		10	
削孔代 0号,1号 組立式(V型)	φ150mm用	箇所		6	
車道用　デザイン蓋・枠　T-14　φ600		個		4	
車道用　耐スリップ蓋・枠　T-14　φ600		個		4	
転落防止はしご		台		1	
蓋取付ボルト　200mm（３ケ１組）	調整ブロック100mm用	セット		2	
蓋取付ボルト　250mm（３ケ１組）	調整ブロック150mm用	セット		3	
蓋取付ボルト　300mm（３ケ１組）	調整ブロック200mm用	セット		3	
調整ﾘﾝｸﾞ 組立式(V型)	600×100mm	個		1	
調整ﾘﾝｸﾞ 組立式(V型)	600×150mm	個		2	
調整ﾘﾝｸﾞ 組立式(V型)	600×80mm	個		6	
調整ﾘﾝｸﾞ 組立式(V型)	600×50mm	個		7	
1号床版ﾌﾞﾛｯｸ	150×600×900mm	個		1	
1号斜壁 組立式(V型)	600×900×600mm	個		7	
1号直壁 組立式(V型)	900×300mm	個		1	
1号底付	900×1000mm	個		4	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
1号底付	900×900mm	個		1	
1号底付	900×1300mm	個		2	
1号底付	900×700mm	個		1	
底部工［組立式］		箇所		8	
可とう継手 VU φ200（拡張型）	塩ビ管用	個		14	
可とう継手 VU φ150（拡張型）	塩ビ管用	個		5	
防護コンクリート工	Φ150	箇所		1	
防護コンクリート工	Φ200	箇所		3	
防護コンクリート工	Φ250	箇所		1	
内副管		式		1	
内副管設置工	Φ200-150	箇所		2	
内副管設置工	Φ150-100	箇所		3	
取付管およびます工					
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破砕積込(小規模土工)		m2		30	
床掘り	土砂 上記以外(小規模)	m3		26	
管路埋戻		式		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
埋戻し		m3		13	
発生土処理		式		1	
残塊処分工（ｱｽﾌｧﾙﾄ）		m3		1	
残土処分工（土砂）		m3		26	
取付管布設工					
取付管(塩ビ管)		式		1	
取付管布設および支管取付工	管径 150mm, ｺﾝｸﾘｰﾄ製･陶製以外の管	箇所		23	
管明示ﾃｰﾌﾟ	幅50mm,塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製	m		65.8	
付帯工					
舗装撤去工					
舗装版破砕		式		1	
舗装版破砕(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)		m2		425	
殻運搬処理		式		1	
残塊処分工（ｱｽﾌｧﾙﾄ）		m3		21	
舗装仮復旧工					
仮復旧		式		1	
表層	ｔ＝５０mm	m2		178	
先行上層路盤	粒調砕石 M-25,M-30,M-40	m2		178	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
舗装撤去工					
舗装版切断		式		1	
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		439	
舗装復旧工					
不陸整正		式		1	
不陸整正	補足材料->有り(29mm以上34mm未満)	m2		425	
表層		式		1	
表層(車道・路肩部)	ｔ＝５０mm	m2		425	
既設構造物撤去工					
既設管撤去		式		1	
暗渠排水管	撤去	m		166.1	
暗渠排水管	撤去	m		65.8	
既設人孔撤去		式		1	
人孔	撤去 W=2000kg/基以下	基		11	
取壊し及び殻運搬処理		式		1	
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		16	
残塊処分工(鉄筋コンクリート)		m3		16	
仮設工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
水替工					
仮設排水		式		1	
ﾎﾟﾝﾌﾟ運転					
ﾎﾟﾝﾌﾟ設置・撤去					
合成樹脂排水材(波状内面平滑)					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員　B					
交通誘導警備員　B					
仮設材運搬費		式		1	
仮設材等の積込み・取卸し					
仮設材等の運搬					
仮設材等の運搬					
試掘調査工		式		1	
試掘調査工					
土質等試験費		式		1	
埋戻し土(流用土)判定					

数 量 計 算 総 括 表

東野町管渠工事

都市局下水道室下水道整備課

管理情報

情報名称	当初	変更
年度	令和4年度	
発注工事名	東野町管渠工事	
施工場所	明石市東野町地内	
発注者	都市局下水道室下水道整備課	

開削工数量総括表

汚水:本管:VUφ200

名称	集計単位	単位	合計数量	数量						
下流側路線番号				3837	3837	3340_2	3340	3339	3340	3341
〃　接続番号				No.3828	No.3837	No.3340_2	3340	3339	3340	3341
上流側路線番号				3837	3340_2	3340	3339	3841	3341	3343
〃　接続番号				No.3837	No.3340_2	3340	3339	3841	3341	3343
■開削工										
区間延長		m	166.11	25.68	11.99	24.31	23.44	24.01	17.62	39.06
平均掘削深		m		1.989	2.118	1.994	1.908	1.893	1.883	1.429
掘削幅		m		1.10	0.90	1.10	0.90	0.90	0.90	0.60
■管布設工										
管布設延長		m	159.81	24.78	11.09	23.41	22.54	23.11	16.72	38.16
管体延長		m	159.81	24.78	11.09	23.41	22.54	23.11	16.72	38.16
管本数		本	39.9	6.20	2.77	5.85	5.64	5.78	4.18	9.54
下流人孔継手		本	0	0	0	0	0	0	0	0
上流人孔継手		本	0	0	0	0	0	0	0	0
副管用継手		本	0	0	0	0	0	0	0	0
■管基礎工										
基礎数量	機械投入: VUφ200: 水砕ｽﾗｸﾞ360	m3	55.3	10.80	4.05	10.22	7.91	8.10	5.95	8.30
■その他管渠布設工										
■土工										
■舗装掘削工										
舗装版破砕	AS: 0.05	m2	147.7	28.25	10.79	26.74	21.10	21.61	15.86	23.44
舗装掘削積込	AS: 0.05	m2	147.7	28.25	10.79	26.74	21.10	21.61	15.86	23.44
ｶﾞﾗ処分	AS: 処分	m3	7.3	1.41	0.54	1.34	1.06	1.08	0.79	1.17
■掘削工										
全掘削土量		m3	269.3	54.80	22.34	51.87	39.23	39.76	29.02	32.34
土留掘削土量	土留	m3	237.0	54.80	22.34	51.87	39.23	39.76	29.02	
	素掘	m3	32.3							32.34
掘削土量	土留: 砂・砂質土	m3	237.0	54.80	22.34	51.87	39.23	39.76	29.02	
	素掘: 砂・砂質土	m3	32.3							32.34
■埋戻し工										
BC区分埋戻し量	土留: 砕石: 購入	m3	173.0	40.19	16.75	38.19	28.32	28.68	20.88	
	素掘: 砕石: 購入	m3	20.2							20.22
埋戻し量合計	土留: 砕石: 購入	m3	173.0	40.19	16.75	38.19	28.32	28.68	20.88	
	素掘: 砕石: 購入	m3	20.2							20.22
■残土処分工										
処分量	土留: 砂・砂質土: 処分	m3	237.0	54.80	22.34	51.87	39.23	39.76	29.02	

開削工数量総括表

汚水:本管:VUφ200

名称	集計単位	単位	合計数量	数量						
下流側路線番号				3837	3837	3340_2	3340	3339	3340	3341
〃　接続番号				No.3828	No.3837	No.3340_2	3340	3339	3340	3341
上流側路線番号				3837	3340_2	3340	3339	3841	3341	3343
〃　接続番号				No.3837	No.3340_2	3340	3339	3841	3341	3343
	素掘: 砂・砂質土: 処分	m3	32.3							32.34
■その他土工										
■土留工										
■矢板打込み工										
■矢板建込み工										
土留延長	ｱﾙﾐ: 2.5: 100	m	127.05	25.68	11.99	24.31	23.44	24.01	17.62	
■ﾊﾟﾈﾙ建込み工										
■素掘										
素掘延長		m	39.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	39.06
■支保工設置										
土留延長	ｱﾙﾐ: 2.5: 1段: 軽金属120×75	m	115.06	25.68		24.31	23.44	24.01	17.62	
	ｱﾙﾐ: 2.5: 2段: 軽金属120×75	m	11.99		11.99					
建込支保工設置撤去	1段	m	115.06	25.68		24.31	23.44	24.01	17.62	
	2段	m	11.99		11.99					
■その他開削工										

組立人孔築造工

汚水:V型１号

名称	集計単位	単位	合計数量	数量							
路線番号				3837	3837	3340_2	3340	3339	3841	3341	3343
接続番号				No.3828	No.3837	No.3340_2	3340	3339	3841	3341	3343
■組立人孔築造工											
■人孔設置工											
人孔深		m		1.907	2.057	1.982	1.810	1.810	1.780	1.784	1.059
人孔設置工	3m以下	箇所	8	1	1	1	1	1	1	1	1
削孔工	VUφ200	箇所	10	1	2	3	2	1		1	
	VUφ150	箇所	6						3		3
■上部工											
蓋設置工	T14	箇所	4	1				1	1		1
	耐ｽﾘｯﾌﾟ型T14	箇所	4		1	1	1			1	
調整工		箇所	8	1	1	1	1	1	1	1	1
蓋取付ﾎﾞﾙﾄ	調整100mm用	組	2	1		1					
	調整150mm用	組	3		1				1	1	
	調整200mm超用	組	3				1	1			1
調整ﾘﾝｸﾞ	H50	組	7	2	1	2	1	1			
	H80	組	6		1				2	2	1
	H150	組	2				1	1			
	H100	組	1								1
ｾｲﾌﾃｨｰﾗﾀﾞｰ		箇所	1	0	1	0	0	0	0	0	0
■ﾌﾞﾛｯｸ											
斜壁ﾌﾞﾛｯｸ	H600	組	7	1	1	1	1	1	1	1	
	H150床版	組	1								1
直壁ﾌﾞﾛｯｸ	H300	組	1	1							
躯体ﾌﾞﾛｯｸ（底付等）	H900	組	1	1							
	H1300	組	2		1	1					
	H1000	組	4				1	1	1	1	
	H700	組	1								1
■底部工											
ｲﾝﾊﾞｰﾄ		箇所	8	1	1	1	1	1	1	1	1
砕石	砕石	箇所	8	1	1	1	1	1	1	1	1
■管補強工											
管補強工	防護ｺﾝｸﾘｰﾄ: HPφ250B	箇所	1	1							

組立人孔築造工

汚水:V型１号

名称	集計単位	単位	合計数量	数量							
路線番号				3837	3837	3340_2	3340	3339	3841	3341	3343
接続番号				No. 3828	No. 3837	No. 3340_2	3340	3339	3841	3341	3343
	ｼﾞｮｲﾝﾄﾌﾞｰﾂ: VUφ200	箇所	14	1	2	2	3	2	1	2	1
	防護ｺﾝｸﾘｰﾄ: VUφ200	箇所	3		1	2					
	防護ｺﾝｸﾘｰﾄ: VUφ150	箇所	1						1		
	ｼﾞｮｲﾝﾄﾌﾞｰﾂ: VUφ150	箇所	5						2		3
■その他											

副管設置工

汚水:VUφ200:VUφ150

名称	集計単位	単位	合計数量	数量	
路線番号				3837	3340_2
接続番号				No.3837	No.3340_2
■副管設置工					
副管高		m/箇所	0.68	0.61	0.74
副管設置工	内副管	箇所	2	1	1
■内副管材料					
90° 支管		組/箇所	1.0	1	1
ｶﾗｰ		組/箇所	1.0	1	1
ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管		本/箇所	0.04	0.02	0.05
90° 曲管		組/箇所	1.0	1	1
固定ﾊﾞﾝﾄﾞ		組/箇所	2.0	2	2
本管ｷｬｯﾌﾟ		組/箇所	0.0	0	0
■外副管（人孔取）材料					
■外副管（管取）材料					
■その他					

副管設置工（2）

汚水:VUφ150:VUφ150

名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				3841
接続番号				3841
■副管設置工				
副管高		m/箇所	0.84	0.84
副管設置工	内副管	箇所	3	3
■内副管材料				
90° 支管		組/箇所	1.0	1
ｶﾗｰ		組/箇所	1.0	1
ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管		本/箇所	0.08	0.08
90° 曲管		組/箇所	1.0	1
固定ﾊﾞﾝﾄﾞ		組/箇所	2.0	2
本管ｷｬｯﾌﾟ		組/箇所	0.0	0
■外副管（人孔取）材料				
■外副管（管取）材料				
■その他				

桝設置工

汚水

名称	集計単位	単位	合計数量	数量					
下流側路線番号				3837	3837	3340_2	3340	3339	3341
〃　接続番号				No.3828	No.3837	No.3340_2	3340	3339	3341
上流側路線番号				3837	3340_2	3340	3339	3841	3343
〃　接続番号				No.3837	No.3340_2	3340	3339	3841	3343
■桝設置工									
■取付管工									
管布設延長	VUφ150：2.0m未満	m	65.80	13.20	2.80	2.40	12.00	19.50	15.90
直管	VUφ150	本	19.9	4.40	0.95	0.82	3.78	6.06	3.98
曲管	VUφ200：VUφ150：45°	本	23	5	1	1	4	6	6
支管	VUφ200：VUφ150：固定	本	23	5	1	1	4	6	6
ｶﾗｰ	VUφ150	個	0	0	0	0	0	0	0
ｷｬｯﾌﾟ	VUφ150	個	23	5	1	1	4	6	6
■取付管基礎工									
基礎数量	VUφ150：水砕ｽﾗｸﾞ360	m3	11.0	2.09	0.47	0.37	2.02	3.33	2.80
■取付管土工等									
■舗装掘削工									
舗装版破砕	AS：0.05	m2	30.6	5.67	1.29	0.99	5.64	9.36	7.74
舗装掘削積込	AS：0.05	m2	30.6	5.67	1.29	0.99	5.64	9.36	7.74
ｶﾞﾗ処分	AS：処分	m3	1.5	0.29	0.06	0.05	0.28	0.48	0.39
■土工掘削工									
掘削土量	砂・砂質土	m3	28.5	5.35	1.21	0.95	5.22	8.60	7.23
■埋戻し工									
BC区分埋戻し量	砕石：購入	m3	13.2	2.50	0.56	0.44	2.44	3.99	3.36
埋戻し量合計	砕石：購入	m3	13.2	2.50	0.56	0.44	2.44	3.99	3.36
■残土処分工									
処分	砂・砂質土：処分	m3	28.5	5.35	1.21	0.95	5.22	8.60	7.23
■その他									

桝設置工確認

汚水									
名称	集計単位	単位	合計数量	数量					
下流側路線番号				3837	3837	3340_2	3340	3339	3341
〃　接続番号				No.3828	No.3837	No.3340_2	3340	3339	3341
上流側路線番号				3837	3340_2	3340	3339	3841	3343
〃　接続番号				No.3837	No.3340_2	3340	3339	3841	3343
■桝設置確認									
管布設延長	NO.桝１	m	14.70	3.00	2.80	2.40	1.90	2.20	2.40
	NO.桝２	m	9.30	3.00			1.90	2.20	2.20
	NO.桝３	m	12.60	2.40			4.10	3.90	2.20
	NO.桝４	m	12.70	2.40			4.10	3.90	2.30
	NO.桝５	m	9.90	2.40				4.50	3.00
	NO.桝６	m	6.60					2.80	3.80
■取付管延長別箇所数									
箇所数	3m以上5m未満	箇所	9	2			2	3	2
	3m未満	箇所	14	3	1	1	2	3	4

区間部付帯工

名称	集計単位	単位	合計数量	数量						
下流側路線番号				3837	3837	3340_2	3340	3339	3340	3341
〃　接続番号				No.3828	No.3837	No.3340_2	3340	3339	3340	3341
上流側路線番号				3837	3340_2	3340	3339	3841	3341	3343
〃　接続番号				No.3837	No.3340_2	3340	3339	3841	3341	3343
■区間部付帯工										
■舗装切断										
本管部（全体部で集計）	AS：0.05	m	332.2							
取付管部（全体部で集計）	AS：0.05	m	102.3							
■仮復旧工										
■本管部舗装仮復旧工										
舗装仮復旧	AS：0.05	m2	147.7	28.25	10.79	26.74	21.10	21.61	15.86	23.44
路盤（全体部で集計）	粒調砕石：10cm：0.1	m2	147.7	28.25	10.79	26.74	21.10	21.61	15.86	23.44
■取付管部舗装仮復旧工										
舗装仮復旧	AS：0.05	m2	30.6	5.67	1.29	0.99	5.64	9.36		7.74
路盤（全体部で集計）	粒調砕石：10cm：0.1	m2	30.6	5.67	1.29	0.99	5.64	9.36		7.74
■合計										
舗装仮復旧	AS：0.05	m2	178.4	33.92	12.08	27.73	26.74	30.97	15.86	31.18
路盤（全体部で集計）	粒調砕石：10cm：0.1	m2	178.4	33.92	12.08	27.73	26.74	30.97	15.86	31.18
■桝取付管補強工										
■その他本管部付帯工										
■その他桝付帯工										

全体部付帯工

名称	集計単位	単位	合計数量
工区全体			
■付帯工			
■舗装本復旧工			
■舗装切断			
区間部	AS: 0.05	m	434.5
本復旧部	AS: 0.05	m	5.0
舗装切断合計	AS: 0.05	m	439.5
■舗装版破砕工			
仮復旧直接掘削積込	AS	m2	178.4
舗装版破砕	AS: 0.05	m2	246.9
舗装掘削積込	AS: 0.05	m2	246.9
ｶﾞﾗ処分	AS: 処分	m3	21.2
■直接掘削工			
■本復旧工			
先行上層路盤	粒調砕石: 10cm: 0.1	m2	178.4
表層	密粒AS: 再生ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ: 5cm: 0.05	m2	425.4
不陸整正	0.03	m2	425.4
■L型側溝設置工			
■歩車道ﾌﾞﾛｯｸ復旧工			
■ｳｪﾙﾎﾟｲﾝﾄ設置工			
■道路区画線工			
■その他付帯工			

既設管・既設人孔撤去数量　東野町管渠工事

区間	管種	内径 m	外径 m	延長 m	矢板、素掘	外径面積 ㎡	掘削控除 ㎥	管材量 ㎥/m	ガラ処分量 ㎥	掘削深 下流(m)	掘削深 上流(m)	掘削深 平均(m)
3828～3837	HP	0.250	0.306	25.68	矢板	0.074	1.90	0.025	0.64	1.812	2.165	1.990
3837～3340-2	HP	0.250	0.306	11.99	矢板	0.074	0.89	0.025	0.30	2.145	2.090	2.120
3340-2～3340	HP	0.250	0.306	24.31	矢板	0.074	1.80	0.025	0.61	2.070	1.918	1.990
3340～3339	HP	0.250	0.306	23.44	矢板	0.074	1.73	0.025	0.59	1.898	1.918	1.910
3339～3841	HP	0.250	0.306	24.01	矢板	0.074	1.78	0.025	0.60	1.898	1.888	1.890
3340～3341	HP	0.250	0.306	17.62	矢板	0.074	1.30	0.025	0.44	1.874	1.892	1.880
3342～3343	HP	0.250	0.306	39.06	素掘	0.074	2.89	0.025	0.98	1.691	1.167	1.430
全体				166.11			8.10		2.74			
取付管	HP	0.150	0.202	65.80	素掘	0.032	2.11	0.014	0.92	0.90	0.90	0.90

人孔撤去工

	㎥/箇所	㎥
構造物取壊し	1.00	11.00
ガラ処分	1.00	11.00

撤去人孔箇所数　11 箇所

掘削控除、ガラ処分集計

区間	延長 m	掘削控除 ㎥	ガラ処分量 ㎥
素掘区間	39.06	2.9	0.98
矢板区間	127.05	9.4	3.18
取付管	65.80	2.1	0.92
人孔			11.00
合計			16.08

東野町管渠工事

特　記　仕　様　書

明石市都市局下水道室下水道整備課

特記仕様書

工　事　名　　東野町管渠工事

工 事 場 所　　明石市東野町地内

☑ **工期**

本工事の工期は令和5年3月31日までとする。
（ただし、本件について国庫補助事業の繰越承認等がされた場合は、工期を令和5年9月29日までとする予定である。）

☑ **適用**

本仕様書は、明石市都市局下水道室下水道整備課が発注する『東野町管渠工事』に適用する。

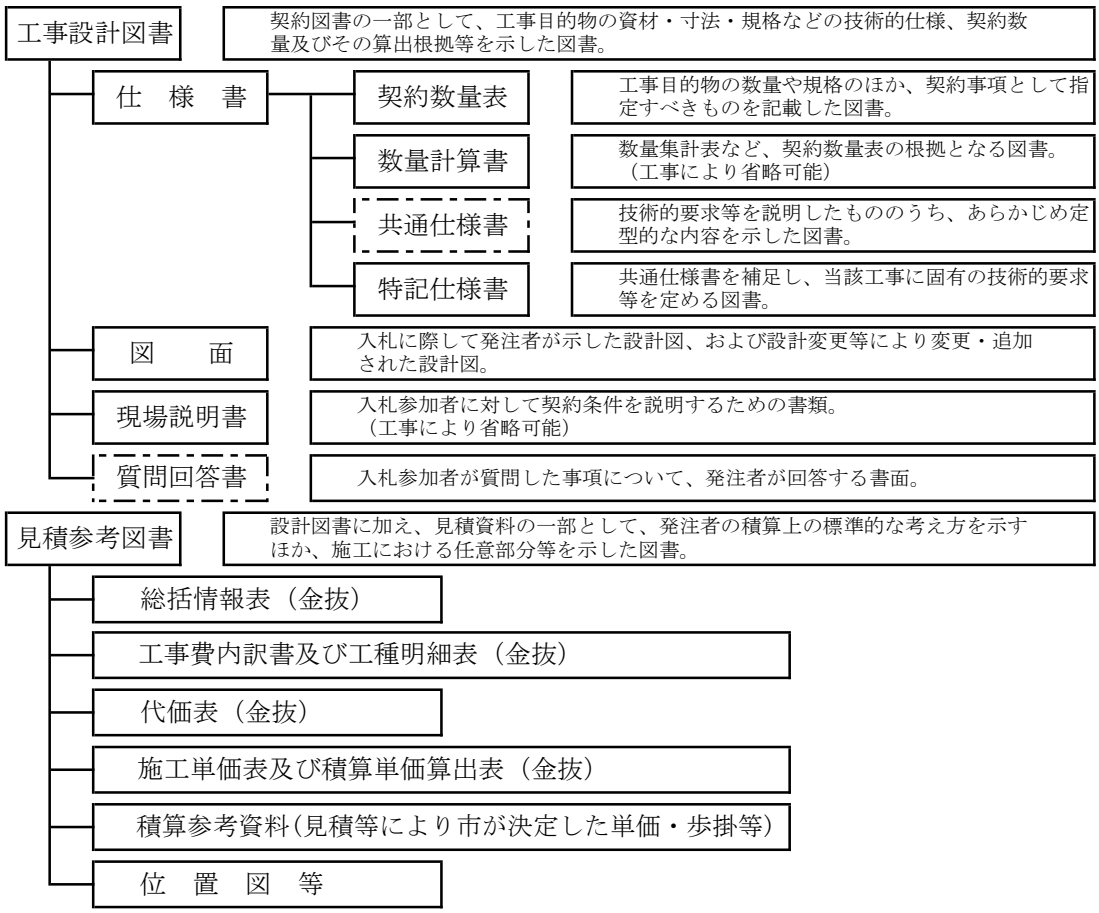
☑ **基準図書**

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、次の図書による。

※ 兵庫県県土整備部「土木工事請負必携（平成29年(令和元年10月一部改訂版)）」
※ 兵庫県県土整備部「土木工事共通仕様書（平成29年(令和元年10月一部改訂版)）」
※ 兵庫県県土整備部「土木工事施工管理基準（平成29年(令和元年10月一部改訂版)）」
※ 兵庫県県土整備部「小型構造物標準図集（平成25年12月(第3回改訂版)）」

☑ **設計図書**

☑ 本工事においては、明石市工事請負契約約款　第１条に規定するものを設計図書とする。
☑ 設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款　第１条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。



☑ 施工範囲における留意事項

工事内容のうち現場条件等により工事内容を変更する可能性がある。よって、工事着手前に工事内容について監督員の確認を受けるものとする。なお、工事内容に変更を伴う場合は、監督員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。

施工中に設計変更が生じる場合、必ず事前に監督員と文書にて協議すること。協議文書無き事項は設計変更の対象とはしない。

最終の設計変更に伴う資料については、工期の1ヶ月前までに受注者が十分精査したうえで提出すること。

☑ 設計図書の照査

現地測量は、測量標(仮BM等)、工事用多角点の設置及び用地境界、中心線、縦断、横断等を確認すること。また、特に、排水勾配・舗装縦断勾配においては測量結果を着手前に監督員へ提出すること。

測量結果が設計図書に示されている数値と差異を生じた場合は監督員の指示を受けること。

側溝高等に変更が生じた場合や、その他地元協議等によるものも含め変更に伴う測量・施工図面の修正・新規追加及び数量計算については、受注者の負担により行うものとする。

☑ 埋蔵文化財・有価物件の処理

工事の施工中に埋蔵文化財等を発見した場合は直ちに作業を一時中止し、その取扱いについて監督員の指示を受けること。

現場において発生した有価物件は、そのままの状態に保ち、監督員の指示により処理するものとする。

☑ 基準点

公共基準点（基準点、水準点、街区基準点、街区点等）の有無について確認し、監督員に報告すること。また、公共基準点の周辺にて施工する場合は、「明石市公共基準点管理保全要綱」に基づき適正に申請及び復元等の処理をすること。

☑ 安全確保

- ☑ 工事施工に伴う諸手続きは、受注者の責任において関係諸官庁に提出し許可を得ること。
- ☑ 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件及び架空線は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さ（高さ）を確認し、保安対策について十分打合せを行い、事故の発生を防止すること。
- ☑ 試掘調査及び沈下観測孔の設置については、近接する施設の管理者との立ち会い及び協議により実施箇所を決定するものとする。その結果、設計図書と相違が生じた場合は、監督員と協議のうえ、設計変更の対象とする。
- ☑ 既設人孔等に入る時は、人孔内の安全には特に注意し、ガス検知器を用いて３名以上で確認後、作業に着手すること。
- ☑ 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
- ☑ 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占用企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果、死管の処置を受注者が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかなければならない。
- ☑ 工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占用物件がある場合には、その処置について予め監督員と打合せを行うものとする。
- ☑ 施工にあたっては、第三者に対する安全対策はもとより、作業要領や作業従事者にかかる安全衛生対策、労働災害防止対策に十分配慮するとともに、これら工事中において、降雨等による災害事故が発生しないよう万全の体制を図ること。また、工事現場及びその周辺状況や施設の特性を踏まえて、事故防止対策を講じるよう、施工計画を作成し、工事を実施すること。

☑ 仮設用水、仮設電気

関係部署への申請・届出とも費用はすべて受注者の負担とする。

☑ **保険等**

明石市契約約款に記載されている保険については必ず加入すること。なお、監督員には保険証の写しを添付した報告書にて報告を行うこと。

☑ **工事説明会**

監督員の要請がある場合は協力すること。また決定事項に従い作業を行うこと。

☑ **事故および苦情**

発生した場合は速やかに応対し、処置状況を監督員に連絡すること。

☑ **段階確認**

受注者は、兵庫県土木工事共通仕様書に定める工種ついては、事前に立会願を監督員に提出し段階確認を受けなければならない。

☑ **境界確認**

構造物を境界上に設置する場合は、測量・立会等により境界を確認のうえ設置すること。もし、境界点や境界ラインに構造物が設置されていないと事後発覚した場合は、受注者の負担で再度構造物を設置しなおすこと。

☑ **施工計画書の作成**

工事着手時までに施工計画書を作成し監督員の確認後作業を行うこと。

☑ **工事カルテの提出**

請負500万円以上の工事は受注・変更（工期・技術者）・完成時に監督員の確認を受け平日10日以内に登録のこと。

変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。

後日、「登録内容確認書」を提出すること。

☑ **施工体制台帳および施工体系図**

作成し速やかに提出すること。また建設業許可証・契約書（下請負契約も含む）の写しも提出すること。なお、本工事に関連する全ての業者に適用する。

施工体制台帳は工事現場に備え付けること。

施工体系図は公衆の見やすい場所に掲示すること。

☑ **身分証明**

受注者の現場代理人、監理技術者、主任技術者は工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社および社印の入った名札を着用するものとする。

〈名札の例〉

☑ **使用建設機械**

- ☑ 低騒音型、低振動型建設機械を使用すること。
- ☑ バックホウ、発動発電機、油圧ユニット、空気圧縮機、ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ、ホイールクレーンについては排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
- ☑ 施工現場において確認できる写真を撮影し、完成書類として提出すること。
- ☑ 使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油　（地方税法第700条の22の2　（製造等の承認を受ける義務等）　の規定に違反する燃料をいう。）　を使用してはならない。万一、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。

☑ **工事関係車輌**

- ☑ 夜間駐車及び現場外駐車は行わず適切な管理を行うこと。

☑ **足場その他**

- ☑ 足場及び支保工の安全確認は、ﾁｪｯｸﾘｽﾄ等で確認して保管すること。

☑ **建設副産物**

☑ 再資源化施設への搬入を要する建設副産物

☑ コンクリート塊

☑ アスファルト塊

☑ 下記の書類を提出すること。

☑ 再生資源利用(促進)計画書(実施書)を作成する際、建設副産物情報交換システム(COBRIS)を用いて作成し、施工計画書に添付すること。

☑ 竣工時には書面の他に、電子媒体も提出すること。

☑ 建設リサイクル法第11条に基づく通知を行うため、再生資源利用(促進)計画書を建設副産物情報交換システム(COBRIS)を用いて作成し、監督員に提出すること。

☑ 建設リサイクル法等に基づく手続き

☑　受注者は、契約締結までに建設リサイクル法第12条に基づき、必要事項を所定の書面に記載し提出すること。また、工事が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づき、以下の事項を書面に記載し、提出するものとする。

・再資源化が完了した年月日

・再資源化等をした施設の名称及び所在地

・再資源化等に要した費用

併せて、再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を提出するものとする。

☑ **発生材の処分地例及び問合先**

本工事は施工箇所が点在する。

積算で採用している処分地は以下の通りであるが、処理施設を指定するものではない。

アスファルト塊	中谷建材㈱	運搬距離 16.7 km
コンクリート塊(有筋)	㈱美建	運搬距離 8.4 km
建設発生土	西川建材㈱	運搬距離 16.5 km

☑ 運搬に際しては、処分地まで飛散しないように留意を行い、直接運搬すること。

☑ 仮置きを行う場合、保管場所の選定は受注者の責任において行い、保管に要する費用を負担すること。

☑ 受注者の判断で他処分地を採用した場合でも設計変更の対象とはしない。

☑ 兵庫県ホームページ「ホーム ＞ まちづくり・環境 ＞ 設計・工事 ＞ 制度・基準 ＞ 積算単価表」に記載されている処分地とすること。

☑ 建設副産物処理計画書を提出して監督員の確認を得ること。

☑ 処分が終了したら伝票を提出して監督員の確認を得ること。

☑ 木くずは、産業廃棄物として取り扱い、チップ化等再利用の促進に努めなければならない。伐採木、伐採根等のうち再利用を促進することが困難なものは、施工計画等の策定時に適切な処理先を確保しなければならない。

☑ **仮設材の運搬**

仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。運搬距離については、積算参考条件として明示しているものであり、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更の対象とはしない。

☑ **履行報告**

工事履行報告書を作成し、工程表及び工事状況写真を添付し、毎月末に監督員に提出すること。

☑ **交通誘導警備員、安全管理、安全教育**

☑ 安全対策については、交通誘導警備員を計上している。道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とするが、出来高に合わせた変更は行わない。

☑ 標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

☑ 交通誘導警備員については、作業時間中（調査・測量時期は除くが試掘調査時は配置）配置すること。なお、現場状況及び関係機関との調整によりこれによりがたい場合は、監督員と別途協議することとし、設計変更の対象とする。また、工事関係車両や歩行者安全通路の適切な管理・誘導を行うこと。昼休みなども交替で休憩をとり安全対策を怠らないこと。

☑ 交通誘導警備員の1日当たりの配置人数は、下記のとおりとする。

交通誘導警備員B 6名、交替要員B 1名　　合計7名

交通誘導警備員Ａ

警備業者の警備員（警備業法第２条第４項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第１条第１項第４号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員

交通誘導警備員Ｂ

警備業者の警備員で、交通誘導警備員Ａ以外の交通の誘導に従事するもの

交替要員

昼休みなどの休憩中も交替で交通誘導を行うものとし、現場の必要配置人数とは別に計上するもの。積算単価は交通誘導員B。

☑ 受注者は下記の書類の何れかを確認後、現地に従事する者の名簿を作成し監督員に提出するものとする。

・交通誘導警備検定合格証（写し）
・警備員指導教育責任者資格者証（写し）
・指定講習修了証明書（写し）
・警備業法施行規則　第二十六条第二項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育（警備業法第二条第一項第二号の警備業務）を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上であることを証明する書類

☑ 全作業員を対象とし、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全教育・研修訓練を行うものとする。なお、工事期間中月１回(半日)以上実施し監督員に報告書を提出するとともに、その実施状況については、工事報告等に記録した資料を提出すること。
また、安全教育・研修訓練に要する必要な費用(労務者の日当)は、現場管理費の中に含んでいる。

① 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
② 当該工事内容等の周知徹底
③ 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
④ 当該工事における災害対策訓練
⑤ 当該工事現場で予想される事故対策
⑥ その他、安全・訓練等として必要な事項

☑ 各工事中のすりつけ及び段差表示、夜間照明等安全対策は、特に徹底すること。
☑ 工事中の仮区画線の明示・工事予告看板の設置も徹底すること。

☑ **掲示物**

以下の項目については、工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示すること。

☑ 建設業許可の標識掲示
☑ 施工体系図の掲示
☑ 建設業退職金共済制度適用事業主工事現場の標識掲示（掛金収納書の提出要）
☑ 労災保険関係成立票の掲示
☑ 緊急連絡体制の掲示
☑ 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

掲示様式は県HP に掲載の様式もしくは、建設副産物情報交換システムで出力される様式※を使用すること

※システム改修完了後に出力可能（令和５年３月末予定）

☑ **備品**

以下の項目については、現場事務所内に備えつけること。

☑ 施工体制台帳

☑ 新規入場者教育記録

☑ 受注者の安全巡視、ＫＹ活動の記録

☑ **緊急時の連絡体制の作成**

年末年始，夏期休暇等により長期間現場の作業を休止する場合は、事前に緊急時の連絡体制についての説明書を作成し、監督員に提出すること。

また、大雨時及び台風上陸予定時も上記と同様の扱いとする。

☑ **工程管理**

工程管理については計画工程に基づき実施工程、出来高曲線について管理すること。

☑ **写真管理**

工事写真の管理については、写真管理基準(土木工事施工管理基準)に準じるものとし、デジタル写真で提出する場合は、デジタル写真管理情報基準(案)に準じること。

☑ **品質管理**

☑ コンクリート工場、水セメント比、少量の打設、二次製品

適 マーク取得工場に限定する。

鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下とする。

底部（インバート）工、既設人孔連絡工等における少量のレディーミクストコンクリートの規格については、積算時における参考の条件として明示している。請負者は、止水性、施工性の良い適切な材料を選定し、施工計画書に含め、監督員と協議すること。なお、受注者の選定した材料が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更の対象とはしない。

セメントコンクリート二次製品の品質確認は、兵庫県ホームページ「ホーム ＞ まちづくり・環境 ＞ 設計・工事 ＞ 制度・基準 ＞ 土木の技術管理に関すること」に記載される「セメントコンクリート二次製品の取扱要領」に基づき実施すること。

☑ 再生切込砕石、粒調砕石の修正CBR値

30%以上、80%以上とする。

☑ 境界ブロック

下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリートにより製作された製品とする。

☑ 現場密度試験

舗装工、路盤工の『現場密度の測定』の試験は、1,000㎡につき1個とし、施工面積が2,000㎡未満の場合の規格値はX３の場合の規格値とする。施工面積が500㎡未満においては、実績や定期試験で得られている基準密度の試験結果を提出することにより、『現場密度の測定』の試験を省略できるものとする。ただし、道路管理者および監督員の指示による場合は試験を実施すること。

☑ **使用材料一般**

☑ 日本下水道協会（JSWAS）、日本水道協会（JWWAS）の規格認定品については、認定書等により、使用する製品が認証製品であることを確認することとし、材料の試験成績表等の品質証明書の提出（『使用材料承諾願』への添付）は不要とする。

☑ 埋戻土については、試掘にて掘削箇所の土砂を採取し、別添「埋戻し工に関する仕様書」に基づき土質試験を実施し、その結果、掘削土を埋戻土として使用が可能な場合は設計変更の対象とする。

☑ **人孔**

☑ 人孔接合部の使用材料については、ジョイントブーツを使用すること。使用箇所は監督員に確認すること。

☑ ブロック人孔設置における調整ブロックは、２個以上かつ合計10cm以上25cm以下にて設置すること。

☑ 鉄蓋据付時には、調整モルタルとして無収縮モルタルを使用し、本市の施工マニュアルに基づいて施工すること.

☑ 鉄蓋表面（蓋裏も含む）及び受枠に補修剤を塗装する場合は、ｴﾎﾟｷｼｱｸﾘﾙ樹脂を主成分とした塗料もしくは、鋳鉄用の黒ﾜﾆｽを使用すること。

☑ 耐スリップ型マンホール蓋の使用箇所については監督員に確認すること。

☑ 副管設置箇所については、監督員に確認すること。

☑ 舗装復旧

- ☑ 舗装復旧工事における復旧範囲及び舗装構成については、市道管理者と立会をし決定すること。
- ☑ 路盤での交通開放は行わないものとし、本復旧が不可能な場合は監督員と協議すること。

☑ 地域への配慮

- ☑ 本工事区域は一般家屋及び店舗が建ち並ぶ区域のため、低騒音、低振動、排出ガス対策等を施した建設機械を使用するとともに、迂回路対策等を適切に行うこと。
- ☑ ダンプトラックの過積載や積みこぼしのないことは勿論のこと、作業終了時における清掃も怠らないようにすること。

☑ 官民境界付近での施工

- ☑ 公道と民地の境界が明確でない箇所について、本工事の施工により民地側に影響を与える恐れがある場合、あらかじめ所有者の承諾を得たうえで工事をおこなうこと。また、工事終了時に所有者の承諾のもと、復旧を行うこと。

☑ 完成図書等

- ☑ 図面はA1（B5折り）で提出すること。
- ☑ 発注用のCADデータを貸与するので完成図をCADデータで提出すること。
  CADデータは、AutoCAD形式（拡張子：dwg）にて貸与する。
  CADデータの変換が必要な場合は、受注者の責において対応すること。
- ☑ 工事写真においてﾀﾞｲｼﾞｪｽﾄ版を各工種毎に１部整理して別綴で提出すること。
- ☑ 保存バインダーや保存箱は、金属金具等を使用していない可燃性のものとすること。

☑ 架空線（関西電力）の防護管取付け

- ☑ 関西電力が保有する架空線等に防護管の設置が必要な場合は、防護管施工会社へ申込みの上、監督員とともに防護管施工会社と立会を行い、防護管の必要範囲を決定すること。また、防護管施工会社より見積書及び請求書を受領した際は、その写しを監督員へ提出し確認を受けること。

☑ その他特記事項

- ☑ 本工事は、水道局工務担当が発注する「東野町地内配水管布設替工事ほか工事」との合併工事である。
- ☑ 本工事については、本合併工事以外の工事との現場代理人の兼務を認めない。
- ☑ 本工事は、合併工事と共通仮設費、現場管理費、一般管理費の経費調整を行っている。
- ☑ 本工事においては、合併工事との調整を十分に行い施工すること。

☑ 埋戻し工に関する仕様書

☑ 発生土の効率的な利用を図るため、「発生土利用基準について」（平成18年8月10日付 国官技第112号、国官総第309号、国営計第59号）に基づき、下記試験を実施し、土質区分の判定を行うものとする。

・締固めた土のコーン指数試験（JIS A 1228）
・土の含水比試験（JIS A 1203）
・土の粒度試験（JIS A 1204）
・土の液性限界・塑性限界試験（JIS A 1205）

上記試験の結果、第１種及び第２種建設発生土に区分された土（適用用途：工作物の埋戻し）をCBRの指定がある道路（明石市道及び法定外道路など）に利用しようとする場合は、下記試験を実施する。

・CBR試験（JIS A 1211）

CBRの指定がない道路に利用しようとする場合及び、上記試験の結果、指定されたCBRを満足した場合は、発生土を埋戻土として利用するものとし、下記試験を実施する。

・突固めによる土の締固め試験（JIS A 1210）

なお、追加実施した試験に要する費用は設計変更の対象とする。

☑ **埋戻し土の品質管理について**

現場密度の測定は下記のいずれかを実施すること。なお、試験位置、時期及び試験基準については監督員と協議し試験を実施すること。（平成26年10月適用）

「品質管理基準」

試験項目	試験方法	品質規格値
現場密度の測定	最大粒径 ≦ 53㎜ ：	土木工事施工管理基準（平成26年10月）
	砂置換法 JIS A 1214	品質管理基準及び規格値
	最大粒径 ＞53㎜ ：	21道路土工 参照
	突砂法（舗装調査・試験法便覧[4]－185）	

試験基準
路体の場合、1,000㎥につき1回の割合で行う。ただし、5,000㎥未満の工事は、1工事当たり3回以上。路床及び構造物取付け部の場合、500㎥につき1回の割合で行う。ただし、1,500㎥未満の工事は1工事当たり3回以上。1回の試験につき3孔で測定し、3孔の最低値で判定を行う。

※ 試験に要する費用は、受注者の負担とする。

☑ 管の天端または暗渠のスラブ天端から30cmは、管渠に衝撃を与えないよう注意しながら、両側同時に埋め戻し、一層の厚さが20cmを超えない範囲で一層毎に木蛸の類により十分に締め固めること。砂あるいは水砕スラグを用いる場合には良質のものを用い、水締め等を行って、管の下端へ十分に砂が回り込むようにし、管に点荷重がかからないように均一に締固め布設すること。

☑ 前項の埋戻しが完了した後、人力又は掘削機械等により管渠に影響を与えないよう土砂を投入し、これを人力により敷き均し、一層の厚さが20cmを超えない範囲で一層毎にタンパ等を用いて十分に締め固めること。なお、機械による埋戻しについては、管の天端より30cmを超え100cmまでは投入高を50cm以下とし、それを超える部分の投入高は、150cm以下とする。

☑ 掘削溝内に埋設物がある場合には、埋設物管理者との協議に基づく防護を施し、埋設物付近の埋戻し土が将来沈下しないようにすること。

☑ 掘削幅が広く、支保工に支障がなく掘削溝に露出した埋設物を損傷する恐れがない場合には、ブルドーザーにより転圧することができる。この場合においても、一層の厚さが30cmを超えない範囲で一層毎に転圧すること。

☑ 土留め矢板の引抜きは、埋戻し土の安定を待って徐々に行うよう方法が望ましいが、この方法が困難な場合には、数本おきに矢板を引抜き、引抜き時の空洞には砂等を充てんし、ゆるみが生じないように施工すること。

☑ 埋戻し路床の仕上面は、均一な支持力が得られるよう施工し、道路占用許可条件に従わなければならない。なお、監督員が必要と認めて指示する試験は行わなければならない。

☑ 埋戻し後、舗装復旧までの期間は常に埋戻し路面の点検を行い、維持補修を行わなければならない。

☑ 局地的な大雨に関する
下水道工事管渠内工事等安全対策に関する仕様書

※対象作業：雨水が流入する下水道管渠内に作業員が入坑して行う作業全般
（工事・調査・点検・清掃等）

以下の内容を踏まえた施工計画書を作成し、監督員の確認を得るとともに、その内容について、作業関係者全員に周知徹底を図ること。

☑ 現場特性の事前把握について

工事着手前には、当該作業箇所に係る現場特性に関する資料や情報を収集分析し、急激な増水による危険性等をあらかじめ十分に把握すること。

・下水道管渠施設情報（平面図・縦断図、流量計算表）
・現場付近の浸水被害、既往事故、地形情報、ハザードマップなどの既往情報
・その他、ポンプ施設やビルピット排水の有無の確認、また、その施設の運転情報

☑ 標準的な工事の中止（再開）基準の設定について

下記のいずれかが該当する場合は、工事を中止すること。

標準的な工事等の中止基準

①当該作業箇所または上流部に洪水または大雨の注意報・警報が発表された場合
②当該作業箇所または上流部に降雨や雷が発生している場合

なお、小雨が降り始めた場合などのあいまいな天候状況であっても、作業を一時中断し、作業員を地上に退避させてから工事中止の判断の検討を行うこと。
また、天候の回復による工事再開は、監督員に確認すること。

☑ 現場特性に応じた工事等の中止（再開）基準

標準的な工事等の中止基準を踏まえ、工事等の箇所毎に現場特性に応じた中止基準を設定すること。

中止基準を強化すべき現場

①退避時間が長い（作業箇所が人孔から離れている等）
②退避条件が厳しい（人孔蓋を開放しておけない等）
③急激な増水特性が予想される（流達時間が短い、水位が高い等）
④気象情報が入手しにくい
⑤夜間の工事等で天候の状況がわかりにくい
⑥水替えなど等の増水緩和対策や十分な流出防止策を講じることができない。

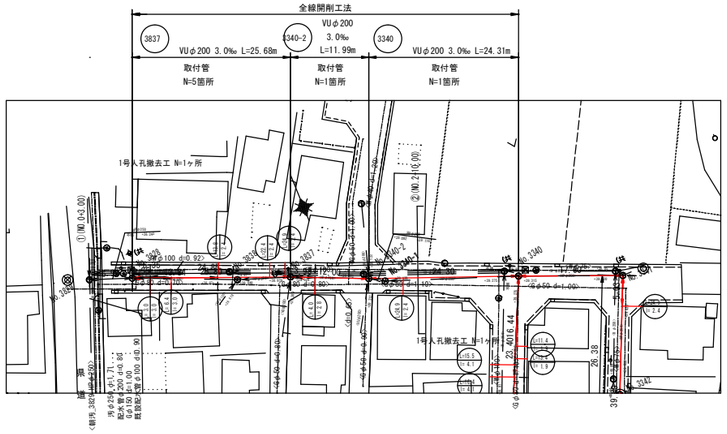
☑ 迅速に退避するための対応

工事等を着手する前には、作業員が安全かつ迅速に退避できるよう、あらかじめ退避時の対応方策について、以下の点について具体的に内容を定めておくこと。

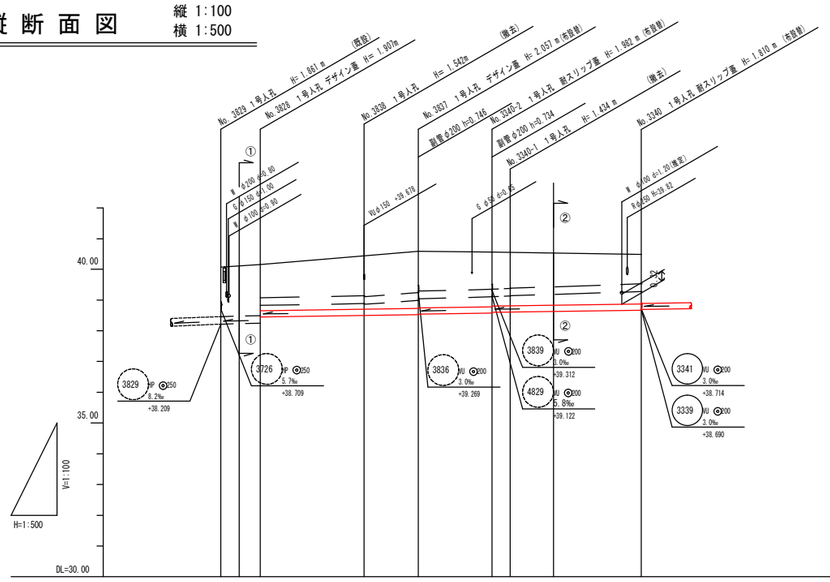
①退避手順の設定
②安全器具等の設置
③情報収集と伝達方法
④資機材の取扱い

※参照：局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策の手引き（案）平成20年10月
（URL:http://www.mlit.go.jp/common/000025094.pdf#search='）

平面図 S=1:500



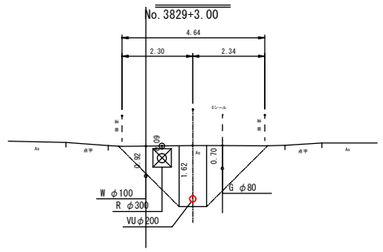
縦断面図 縦 1:100 横 1:500



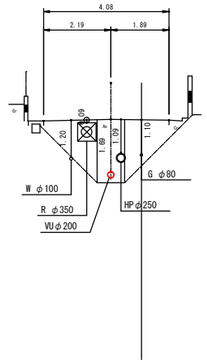
路線番号	3828	3837	3840-2	3340
管径	HPφ250	VUφ200 (HPφ250)	VUφ200 (HPφ250)	VUφ200 (HPφ250)
勾配	5.3‰	3.0‰ (3.9‰～14.9‰)	3.0‰ (5.3‰)	3.0‰ (8.1‰～7.0‰)
土被	1.60 / 1.64 / 1.50	1.85 / 1.83	1.77 / 1.75	1.60
掘削深	1.975 / 2.021 / 1.812	2.165 / 2.145	2.090 / 2.070	1.918
計画管底高	38.209 / 38.243 / 38.446	38.523 / 38.543	38.578 / 38.598	38.670
既設管底高	38.209 / 38.243 / 38.446	38.828 / 38.848 / 38.523 / 38.543	38.578 / 38.598 / 39.116 / 39.126	38.670
地盤高	40.07 / 40.15	40.42 / 40.58	40.56 / 40.55	40.48
追加距離	0.00 / 6.45	32.13	44.12	68.43
単距離	0.00 / 6.45	16.65 / 25.68	11.99 / 2.88	24.31
人孔番号	既設 No. 3829 / No. 3829	No. 3832 / No. 3837	No. 3340-2 / No. 3340-1	No. 3340

横断面図 S=1:100

①－①
No. 3829+3.00



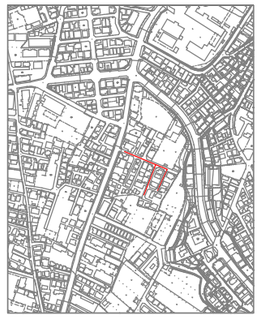
②－②
No. 3340-2+10.00



凡例

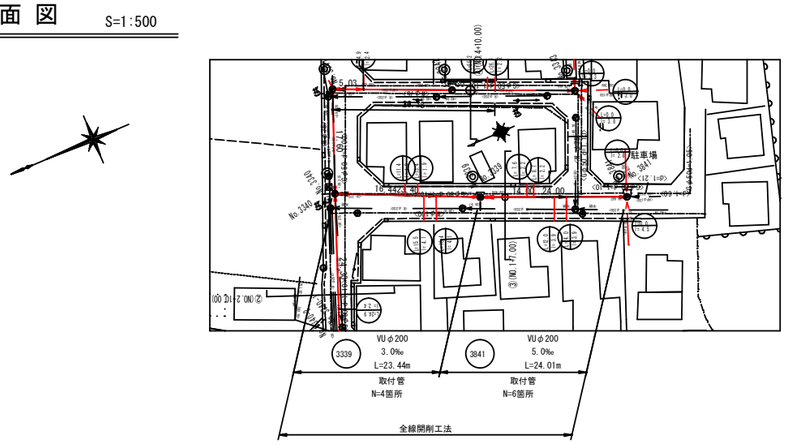
記号	種別
	1号組立人孔 (内径φ900)
	2号組立人孔 (内径φ1200)
	3号組立人孔 (内径φ1500)
	楕円組立人孔 (内径□400×900)
	塩ビ製小型人孔 (内径φ300)
	1号現打人孔 (内径φ900)
	2号現打人孔 (内径φ1200)
	3号現打人孔 (内径φ1500)
	特殊人孔
	副管付人孔
	水道
	ガス
	電気
	電話
	下水幹設管
	下水将来計画管
	下水既設管
	排水管

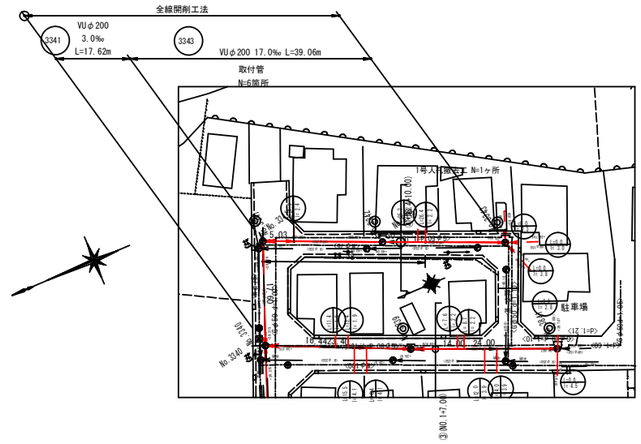
位置図 S=1:5000



明石市公共下水道					
工事名	東野町管渠工事				
図面名称	平面図 ・ 縦断図 ・ 横断図				
施工年度		図面番号	1/3	縮尺	図示

平面図 S=1:500

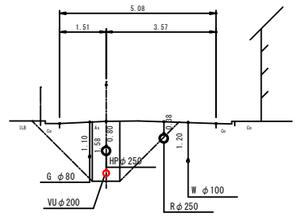




横断面図 S=1:100

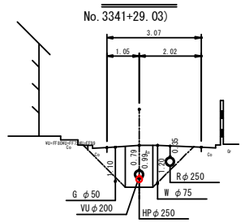
③ － ③

No.3339+7.00

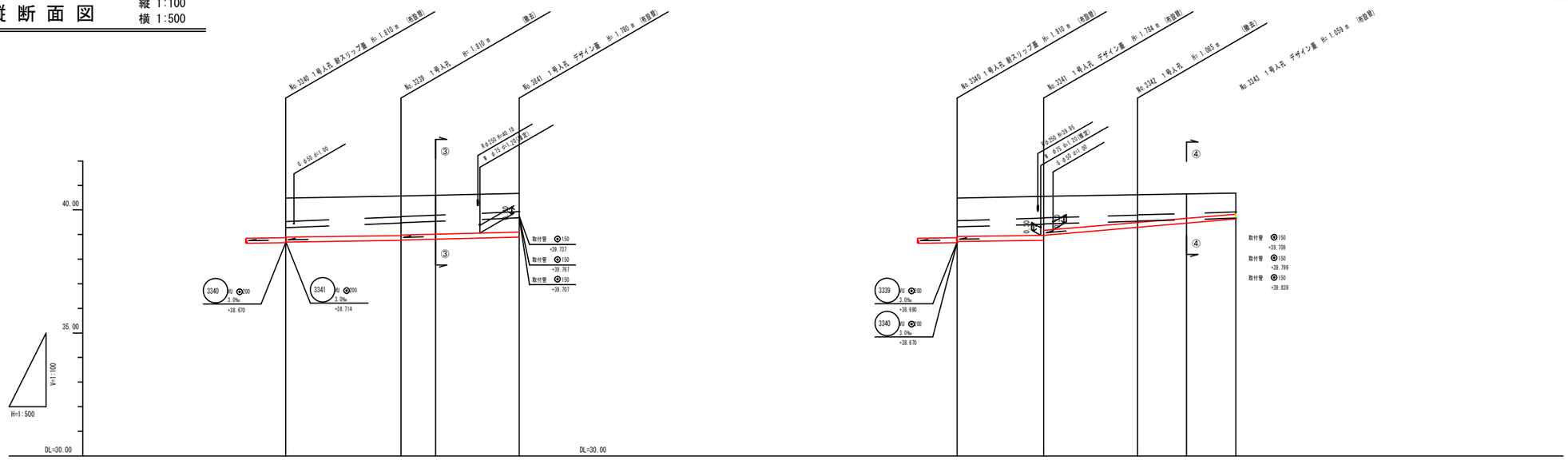


④ － ④

No.3341+29.03)



縦断面図 縦 1:100 横 1:500

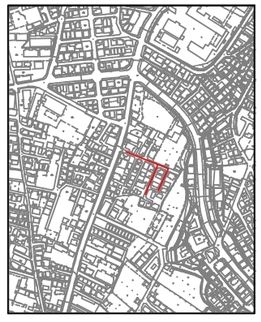


路線番号		3339	3841		3341	3343	
管径		VUφ200 (HPφ250)	VUφ200 (HPφ250)		VUφ200 (HPφ250)	VUφ200 (HPφ250)	
勾配		3.0‰ (8.2‰)	5.0‰ (8.7‰)		3.0‰ (6.0‰)	17.0‰ (5.5‰~5.7‰)	
土被	1.58	1.60 1.58	1.57		1.56	1.58 1.38	0.85
掘削深	1.889	1.918 1.889	1.889		1.874	1.892 1.891	1.167
計画管底高	38.690	38.760 38.760	38.900		38.714	38.766 38.867	39.631
既設管底高	38.690	38.760 38.760	38.900		38.714	38.766 38.867	39.535 39.535 39.631
地盤高	40.48	40.57	40.68		40.48	40.55	40.62 40.69
追加距離	0.00	23.44	47.45		0.00	17.62	56.68
単距離	0.00	23.44	24.01		0.00	17.62	19.04 20.02
人孔番号	No.3340	No.3339	No.3841		No.3340	No.3341	No.3342 No.3343

凡例

記号	種別
	1号組立人孔 (内径φ300)
	2号組立人孔 (内径φ1200)
	3号組立人孔 (内径φ1500)
	桝付組立人孔 (内径C600×900)
	塩ビ製小型人孔 (内径φ250)
	1号現打人孔 (内径φ300)
	2号現打人孔 (内径φ1200)
	3号現打人孔 (内径φ1500)
	特殊人孔
	副管付人孔
	水道
	ガス
	電気
	電話
	下水新設管
	下水将来計画管
	下水既設管
	排水管

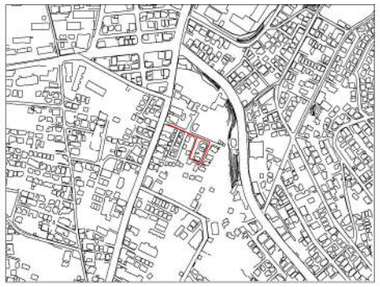
位置図 S=1:5000



明石市公共下水道					
工事名	東野町管渠工事				
図面名称	平面図 ・ 縦断図 ・ 横断図				
施工年度		図面番号	2/3	縮尺	図示

舗装復旧平面図　　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000



市道車道 As1層式5cm	
1-1	380.0
1-2	462.3
計	842.3

本工事対象

市道車道
As1層式5cm

再生密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ t=50
粒調砕石　t=100
(配管時施工)
プライムコート
不陸整正(粒調砕石 t=30)

県道車道 As3層式20cm	
2-1	8.5
計	8.5

水道局工事対象
県道車道
As3層式20cm
(舗装復旧時)

再生密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ t=50
再生粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ t=50
加熱安定処理工　t=100
路盤工(再生砕石)　t=100
(配管時施工)
タックコート
タックコート
プライムコート

凡例
下水工事復旧範囲
水道工事復旧範囲

全体舗装面積
842.3+8.5＝850.8
下水範囲→425.4m2
水道範囲→425.4m2(県道部含む)

図　番	3/3	施工年度	令和4年度
工 事 名	東野町管渠工事		
図　種	位置図・舗装復旧平面図		
場　所	明石市東野町		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

令和４　年度　東野町管渠工事

見積参考図書

（当初設計）

工事番号

路線名等

工事箇所　　明石市東野町地内

工　　種

明石市都市局下水道室下水道整備課

工　事　費				概　　要
	実　施 （前回変更）	今　回　変　更	増　減　額	管路布設工 ・・・・・・・・・・・L= 166.1m 内径200mm管布設工 ・・・・・L= 166.1m マンホール設置工 ・・・・・・N= 8箇所 取付管設置工 ・・・・・・・・・N= 23箇所 付帯工 ・・・・・・・・・・・1　式
設 計 額 （内消費税額）	円 （　　円）	円 （　　円）	円 （　　円）	
請 負 額 （内消費税額）	円 （　　円）	円 （　　円）	円 （　　円）	
執行方法	請負	施 工 日 数 または 施 工 期 限	令和5年3月31日	

（起工理由）

前金払・・・・・・・・・・・40%以内
中間前金払・・・・・・・・・20%以内
部分払・・・・・・・・・・・0回

総 括 情 報 表

単価適用年月日	0-05.01.01(0)	
	今　　回	前　　回
工種区分（公共） 施工地域区分	15　下水道（２） 35　一般交通影響有り（２）－２	

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
本工事費					
管路					
管きょ工 (管径200㎜)	(166.1)	m			
管路土工					
管路掘削	1	式			工種　第0001号明細表
管路埋戻	1	式			工種　第0002号明細表
発生土処理	1	式			工種　第0003号明細表
管布設工					
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	1	式			B=作業時排水の水替対象 工種　第0004号明細表

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
埋設標識ﾃｰﾌﾟ	1	式			工種　第0005号明細表
管基礎工					
砂基礎	1	式			B=作業時排水の水替対象 工種　第0006号明細表
管路土留工					
ｱﾙﾐ矢板土留	1	式			工種　第0007号明細表
土留支保工	1	式			工種　第0008号明細表
鋼材賃料	1	式			工種　第0009号明細表
ﾏﾝﾎｰﾙ工	(8)	箇所			
組立ﾏﾝﾎｰﾙ工					

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
組立1号ﾏﾝﾎｰﾙ	1	式			B=作業時排水の水替対象 工種　第0010号明細表
内副管	1	式			B=作業時排水の水替対象 工種　第0011号明細表
取付管およびます工	(23)	箇所			
管路土工					
管路掘削	1	式			工種　第0012号明細表
管路埋戻	1	式			工種　第0013号明細表
発生土処理	1	式			工種　第0014号明細表
取付管布設工					
取付管(塩ビ管)	1	式			B=作業時排水の水替対象 工種　第0015号明細表

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
付帯工					
舗装撤去工					
舗装版破砕	1	式			工種　第0016号明細表
殻運搬処理	1	式			工種　第0017号明細表
舗装仮復旧工					
仮復旧	1	式			工種　第0018号明細表
舗装撤去工					
舗装版切断	1	式			工種　第0019号明細表
舗装復旧工					

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
不陸整正	1	式			工種　第0020号明細表
表層	1	式			工種　第0021号明細表
既設構造物撤去工					
既設管撤去	1	式			B=作業時排水の水替対象 工種　第0022号明細表
既設人孔撤去	1	式			B=作業時排水の水替対象 工種　第0023号明細表
取壊し及び殻運搬処理	1	式			工種　第0024号明細表
仮設工					
水替工					
仮設排水	1	式			工種　第0025号明細表

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
交通管理工					
交通誘導警備員	1	式			工種　第0026号明細表
直接工事費計					
共通仮設費計					
運搬費		式			
仮設材運搬費	1	式			工種　第0027号明細表
準備費		式			
試掘調査工	1	式			工種　第0028号明細表
技術管理費		式			

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土質等試験費	1	式			工種　第0029号明細表
共通仮設費率分		式			
純工事費計					
現場管理費		式			
工事原価計					
一般管理費等		式			
工事価格計					
消費税相当額		式			
総　計					

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目		数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考

管路掘削

工 種 明 細 表

工種　第0001号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版破砕(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) 撤去厚->15cm以下	147	m2			施工　第0-0011号内訳表
機械掘削工	227	m3			施工　第0-0012号内訳表
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 土留->無し	29	m3			施工　第0-0014号内訳表
合　　計	1	式			

管路埋戻

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻工 再生切込砕石	173	m3			施工　第0-0015号内訳表
埋戻し 材->再生切込砕石	20	m3			施工　第0-0017号内訳表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0003号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
残塊処分工（ｱｽﾌｧﾙﾄ） 小規模	7	m3			代価　第0001号内訳表
残土処分工（土砂） 直接（下水）	227	m3			代価　第0003号内訳表
残土処分工（土砂） 標準	29	m3			代価　第0004号内訳表
合　　計	1	式			

硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管

工 種 明 細 表

工種　第0004号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管設置工 呼び径 200mm	159.8	m			施工　第0-0019号内訳表
合　　計	1	式			
B=1　　作業時排水の水替対象					

工 種 明 細 表

工種　第0005号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
管明示ﾃｰﾌﾟ 幅50㎜,塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製	159.8	m			
合　　計	1	式			

砂基礎

工 種 明 細 表

工種　第0006号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
砂基礎工（機械投入） 10m3以上・時間的制約なし・昼間	55	m3			施工　第0-0020号内訳表
合　　計	1	式			
B=1　　作業時排水の水替対象					

工 種 明 細 表

工種　第0007号明細表

	名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
	ｱﾙﾐ矢板建込引抜工（両側分）	127.0	m			施工　第0-0022号内訳表
	合　　計	1	式			

土留支保工

工 種 明 細 表

工種　第0008号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
土留支保工（設置＋撤去） 切梁種別 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ	115.0	m			施工　第0-0023号内訳表
土留支保工（設置＋撤去） 切梁種別 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ	11.9	m			施工　第0-0024号内訳表
合　　計	1	式			

鋼材賃料

工 種 明 細 表

工種　第0009号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
アルミ矢板貸料	18.67	t			
ｱﾙﾐ矢板整備費（基本料）	0.6	t			
ｱﾙﾐ製支保工賃料（軽量鋼矢板2.5m用） 2段	115.0	m			
ｱﾙﾐ製支保工賃料（軽量鋼矢板2.5m用） 1段	11.9	m			
合　　計	1	式			

組立1号ﾏﾝﾎｰﾙ

工 種 明 細 表

工種　第0010号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工 1号　　ﾏﾝﾎｰﾙ深さ3m以下	8	箇所			施工　第0-0025号内訳表
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ200mm用	10	箇所			
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ150mm用	6	箇所			
車道用　デザイン蓋・枠　T-14　φ600	4	個			
車道用　耐スリップ蓋・枠　T-14　φ600	4	個			
転落防止はしご	1	台			
蓋取付ボルト　200mm（３ケ１組） 調整ブロック100mm用 バイコン	2	セット			
蓋取付ボルト　250mm（３ケ１組） 調整ブロック150mm用 バイコン	3	セット			
蓋取付ボルト　300mm（３ケ１組） 調整ブロック200mm用 バイコン	3	セット			

組立1号ﾏﾝﾎｰﾙ

工 種 明 細 表

工種　第0010号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
調整ﾘﾝｸﾞ 組立式(V型) 600×100mm	1	個			
調整ﾘﾝｸﾞ 組立式(V型) 600×150mm	2	個			
調整ﾘﾝｸﾞ 組立式(V型) 600×80mm	6	個			
調整ﾘﾝｸﾞ 組立式(V型) 600×50mm	7	個			
1号床版ﾌﾞﾛｯｸ 150×600×900mm	1	個			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×600mm	7	個			
1号直壁 組立式(V型) 900×300mm	1	個			
1号底付 900×1000mm	4	個			
1号底付 900×900mm	1	個			

組立1号ﾏﾝﾎｰﾙ

工 種 明 細 表

工種　第0010号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
1号底付 900×1300㎜	2	個			
1号底付 900×700㎜	1	個			
底部工［組立式］	8	箇所			施工　第0-0026号内訳表
可とう継手 VU φ200（拡張型） 塩ビ管用	14	個			
可とう継手 VU φ150（拡張型） 塩ビ管用	5	個			
防護コンクリート工 Φ150	1	箇所			施工　第0-0030号内訳表
防護コンクリート工 Φ200	3	箇所			施工　第0-0035号内訳表
防護コンクリート工 Φ250	1	箇所			施工　第0-0036号内訳表
合　　計	1	式			

組立1号ﾏﾝﾎｰﾙ

工 種 明 細 表

工種　第0010号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
B=1　　作業時排水の水替対象					

内副管

工 種 明 細 表

工種　第0011号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
内副管設置工 Φ200-150	2	箇所			施工　第0-0037号内訳表
内副管設置工 Φ150-100	3	箇所			施工　第0-0039号内訳表
合　　計	1	式			
B=1　　作業時排水の水替対象					

管路掘削

工 種 明 細 表

工種　第0012号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版破砕積込(小規模土工)	30	m2			施工　第0-0040号内訳表
床掘り 土砂　上記以外(小規模)	26	m3			施工　第0-0041号内訳表
合　　計	1	式			

管路埋戻

工 種 明 細 表

工種　第0013号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し 材->再生切込砕石	13	m3			施工　第0-0017号内訳表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0014号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
残塊処分工（ｱｽﾌｧﾙﾄ） 小規模	1	m3			代価　第0001号内訳表
残土処分工（土砂） 小規模	26	m3			代価　第0005号内訳表
合　　計	1	式			

取付管(塩ビ管)

工 種 明 細 表

工種　第0015号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
取付管布設および支管取付工 管径 150mm, ｺﾝｸﾘｰﾄ製･陶製以外の管	23	箇所			施工　第0-0042号内訳表
管明示ﾃｰﾌﾟ 幅50mm,塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製	65.8	m			
合　　計	1	式			
B=1　　作業時排水の水替対象					

舗装版破砕

工 種 明 細 表

工種　第0016号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版破砕(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) 撤去厚->15cm以下	425	m2			施工　第0-0011号内訳表
合　　計	1	式			

殻運搬処理

工 種 明 細 表

工種　第0017号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
残塊処分工（ｱｽﾌｧﾙﾄ） 直接	21	m3			代価　第0002号内訳表
合　　計	1	式			

仮復旧

工 種 明 細 表

工種　第0018号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
表層 ｔ＝５０mm 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)	178	m2			施工　第0-0043号内訳表
先行上層路盤 粒調砕石 M-25,M-30,M-40 ｔ＝１００mm	178	m2			施工　第0-0044号内訳表
合　　計	1	式			

舗装版切断

工 種 明 細 表

工種　第0019号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	439	m			施工　第0-0045号内訳表
合　　計	1	式			

不陸整正

工 種 明 細 表

工種　第0020号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
不陸整正 補足材料->有り(29mm以上34mm未満) 粒調砕石 M-25,M-30,M-40	425	m2			施工　第0-0046号内訳表
合　　計	1	式			

表層

工 種 明 細 表

工種　第0021号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
表層(車道・路肩部) ｔ＝５０㎜ 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)	425	m2			施工　第0-0047号内訳表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0022号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
暗渠排水管 撤去 直管(200～400mm)	166.1	m			施工　第0-0048号内訳表
暗渠排水管 撤去 直管(50～150mm)	65.8	m			施工　第0-0049号内訳表
合　　計	1	式			
B=1　　作業時排水の水替対象					

既設人孔撤去

工 種 明 細 表

工種　第0023号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
人孔 撤去 W=2000kg/基以下	11	基			施工　第0-0050号内訳表
合　　計	1	式			
B=1　　作業時排水の水替対象					

取壊し及び殻運搬処理

工 種 明 細 表

工種　第0024号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
構造物とりこわし工 鉄筋構造物	16	m3			施工　第0-0051号内訳表
残塊処分工(鉄筋コンクリート) 直接	16	m3			代価　第0006号内訳表
合　　計	1	式			

仮設排水

工 種 明 細 表

工種　第0025号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾎﾟﾝﾌﾟ運転 作業時排水	1	式			施工　第0-0052号内訳表
ﾎﾟﾝﾌﾟ設置・撤去 水替１箇所	1	式			施工　第0-0055号内訳表
合成樹脂排水材(波状内面平滑) ダブル構造Φ200	10.0	m			
合　　計	1	式			

交通誘導警備員

工 種 明 細 表

工種　第0026号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導警備員 B	168	人日			施工　第0-0057号内訳表
交通誘導警備員 B 交替要員	28	人日			施工　第0-0058号内訳表
合　　計	1	式			

仮設材運搬費

工 種 明 細 表

工種　第0027号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設材等の積込み・取卸し 〔積込み取卸し(往復分)〕	0.6	t			施工　第0-0059号内訳表
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	0.6	t			施工　第0-0060号内訳表
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	0.6	t			施工　第0-0060号内訳表
合　　計	1	式			

試掘調査工

工 種 明 細 表

工種　第0028号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
試掘調査工	20	箇所			施工　第0-0061号内訳表
合　　計	1	式			

土質等試験費

工 種 明 細 表

工種　第0029号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し土(流用土)判定	1	箇所			施工　第0-0069号内訳表
合　　計	1	式			

残塊処分工（ｱｽﾌｧﾙﾄ）

代 価 表

代価　第0001号内訳表

小規模　　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
殻運搬 舗装版破砕	1	m3			施工　第0-0001号内訳表
処分費 ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 中谷建材(株)	1	式			施工　第0-0002号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

残塊処分工（ｱｽﾌｧﾙﾄ）

代 価 表

代価　第0002号内訳表

直接　　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
殻運搬 舗装版破砕	1	m3			施工　第0-0003号内訳表
処分費 ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 中谷建材㈱	1	式			施工　第0-0002号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

残土処分工（土砂）

代 価 表

代価　第0003号内訳表

直接（下水）　　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬 土砂	1	m3			施工　第0-0004号内訳表
処分費 土 砂 西川建材㈱	1	式			施工　第0-0006号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

残土処分工（土砂）

代 価 表

代価　第0004号内訳表

標準　　1　m3　当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 土質->土砂(岩塊･玉石混り土含む)	1	m3			施工　第0-0007号内訳表
処分費 土 砂 西川建材㈱	1	式			施工　第0-0006号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

残土処分工（土砂）

代 価 表

代価　第0005号内訳表

小規模　　1　m3　当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 土質->土砂(岩塊･玉石混り土含む)	1	m3			施工　第0-0008号内訳表
処分費 土 砂 西川建材㈱	1	式			施工　第0-0006号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

残塊処分工(鉄筋コンクリート)

代 価 表

代価　第0006号内訳表

直接　　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし	1	m3			施工　第0-0009号内訳表
処分費 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋) ㈱美建	1	式			施工　第0-0010号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

殻運搬

積算単価算出表

施工　第0-0001号内訳表

［規格１］舗装版破砕　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　m3　当り

標準単価		代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 2t積級(ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含む)			ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K							
	R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
	R							
	Z1	軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			軽油			
	Z							
					計			
	積算単価　＝							
	A B C	殻発生作業　=3 積込工法区分　=4 DID区間の有無　=2	舗装版破砕 機械(小規模土工) 有り					
	D	運搬距離　=41	24.0km以下					

施工単価表

施工　第0-0002号内訳表　　頁0-0049/0116

処分費

［規格１］ｱｽﾌｧﾙﾄ殻　　［規格２］　　［ 摘要 ］中谷建材(株)　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=2 =1 =	Ａｓ殻 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

殻運搬

積算単価算出表

施工　第0-0003号内訳表

［規格１］舗装版破砕　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　m3　当り

標準単価		代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 10t積級(ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含む)			ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 10t積級[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K							
	R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
	R							
	Z1	軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			軽油			
	Z							
					計			
	積算単価　＝							
	A	殻発生作業　=3	舗装版破砕					
	B	積込工法区分　=2	機械(騒音対策不要、15cm超or騒音対策必要)					
	C	DID区間の有無　=2	有り					
	D	運搬距離　=34	17.5km以下					

施工単価表

施工　第0-0004号内訳表　　頁0-0051/0116

運搬

［規格１］土砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転 路面：良好		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 B　運搬距離（km） C　路面状態		=2 =16.5 =1	ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.45m3 運搬距離（km） 路面：良好	(平積0.35m3)	
D　DID区間		=2	DID有		

施工単価表

施工　第0-0006号内訳表

処分費

［規格１］土 砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］西川建材㈱　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=1 =1 =	土砂 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

土砂等運搬

積算単価算出表

施工　第0-0007号内訳表

［規格１］土質->土砂(岩塊･玉石混り土含む)　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

標準単価		代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 10t積級(ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含む)			ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 10t積級[ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K							
	R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
	R							
	Z1	軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			軽油			
	Z							
					計			
	積算単価　＝							
	A	土砂等発生現場　=1	標準					
	B	積込機種･規格　=3	ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.45m3(平積0.35m3)					
	C	土質　=1	土砂(岩塊･玉石混り土含む)					
	D	DID区間の有無　=2	有り					
	E	運搬距離　=37	17.5km以下					

土砂等運搬

積算単価算出表

施工　第0-0008号内訳表

［規格１］土質->土砂(岩塊･玉石混り土含む)　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

標準単価		代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 4t積級(ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含む)			ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 4t積級[ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K							
	R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
	R							
	Z1	軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			軽油			
	Z							
					計			
	積算単価　＝							
	A	土砂等発生現場　=2	小規模					
	B	積込機種･規格　=5	ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3)					
	C	土質　=1	土砂(岩塊･玉石混り土含む)					
	D	DID区間の有無　=2	有り					
	E	運搬距離　=36	17.0km以下					

殻運搬

積算単価算出表

施工　第0-0009号内訳表

［規格１］ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 10t積級(ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含む)			ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 10t積級[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K								
	R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
	R								
	Z1		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			軽油			
	Z								
						計			
	積算単価　＝								
	A	殻発生作業	=2	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし					
	B	積込工法区分	=1	機械					
	C	DID区間の有無	=2	有り					
	D	運搬距離	=25	10.9km以下					

04-29452101-1

施工単価表

施工　第0-0010号内訳表　　頁0-0056/0116

処分費

［規格１］ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)　［規格２］　［ 摘要 ］㈱美建　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はｔ) C　★★投棄料(円/t)		=3 =1 =	Ｃｏ殻(鉄筋) 処分量(m3又はｔ) ★★投棄料(円/t)		

舗装版破砕(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)

積算単価算出表

施工　第0-0011号内訳表

［規格１］　［規格２］撤去厚->15cm以下　［ 摘要 ］　1　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.45m3(平積0.35m3) [ｸﾛｰﾗ型] 排出ｶﾞｽ対策型含				ﾊﾞｯｸﾎｳ(排出ｶﾞｽ対策型含) 油圧式ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3級			
	K									
	R1		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R2		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R3		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	舗装版種別	=1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版						
	B	障害等の有無	=1	無し						
	C	騒音振動対策	=1	不要						
	D	舗装版厚	=1	15cm以下						
	F	積込作業の有無	=1	有り						

施工単価表

施工　第0-0012号内訳表　　頁0-0058/0116

機械掘削工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　土留の種別 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=1 =6	たて込み簡易・軽量鋼矢板・ｱﾙﾐ矢板 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.45m3 ｸﾚｰﾝ機能付　2.9t吊		

積算単価算出表

施工　第0-0014号内訳表　　頁0-0059/0116

床掘り

［規格１］土砂 平均施工幅1m以上2m未満　　［規格２］土留->無し　　［ 摘要 ］　　1　　m3　　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.45m3(平積0.35) [ｸﾛｰﾗ型後方超小旋回型] 超低騒音型･排出ｶﾞｽ対策型含				ﾊﾞｯｸﾎｳ(排出ｶﾞｽ対策型･超低騒音型含) 油圧ｸﾛｰﾗ後方超小旋回 山積0.45m3級			
	K									
	R1		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R									
	Z1		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	土質	=1	土砂						
	B	施工方法	=2	平均施工幅1m以上2m未満						
	C	土留方式の種類	=1	無し						
	D	障害の有無	=1	無し						

04-29452101-1

施工単価表

施工　第0-0015号内訳表　　頁0-0060/0116

埋戻工

［規格１］再生切込砕石　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 （0～30mm･0～40mm）		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
タンパ締固め	100.00	m3			施工　第0-0016号内訳表
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　土留の種別 C　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=6 =1 =6	再生切込砕石 たて込み簡易・軽量鋼矢板・ｱﾙﾐ矢板 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.45m3 ｸﾚｰﾝ機能付 2.9t吊		

タンパ締固め

積算単価算出表

施工　第0-0016号内訳表

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾀﾝﾊﾟ 及びﾗﾝﾏ 質量60～80kg				ﾀﾝﾊﾟ (ﾗﾝﾏ) 60～80kg			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ				ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ			
	Z									
							計			
	積算単価	＝								

施工単価表

施工　第0-0017号内訳表　　頁0-0062/0116

埋戻し

［規格１］　［規格２］材->再生切込砕石　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	1	m3			施工　第0-0018号内訳表
再生切込砕石 (0～30mm･0～40mm)	1.2	m3			
単　位　当　り	1	m3			

埋戻し

積算単価算出表

施工　第0-0018号内訳表

［規格１］最大埋戻幅1m未満　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) [標準型･排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)]				ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) [標準型･排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 0.45/0.35m3			
	K2		ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ 質量60～80kg				ﾀﾝﾊﾟ(ﾗﾝﾏ) 60～80kg			
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		特殊作業員				特殊作業員			
	R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R									
	Z1		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z2		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ				ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ			
	Z									
							計			
	積算単価 ＝									
	A	施工方法	=4	最大埋戻幅1m未満						

施工単価表

施工　第0-0019号内訳表

硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管設置工

［規格１］呼び径 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管設置工 呼び径200mm	1.00	m			
単　位　当　り	1	m			
A　管径区分 B　施工規模 C　時間的制約の補正		=2 =1 =1	呼び径 200mm 20m以上 時間的制約なし		
D　夜間作業の補正		=1	昼間作業		

施工単価表

施工　第0-0020号内訳表　　頁0-0065/0116

砂基礎工（機械投入）

［規格１］　［規格２］10m3以上・時間的制約なし・昼間　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
砂基礎設置	1.0	m3			施工　第0-0021号内訳表
水砕スラグ	1.2	m3			
単　位　当　り	1	m3			

施工単価表

施工　第0-0021号内訳表　　頁0-0066/0116

砂基礎設置

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
砂基礎設置 機械施工	1.00	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　施工区分 B　施工規模 C　時間的制約の補正		=2 =1 =1	機械施工 10m3以上 時間的制約なし		
D　夜間作業の補正		=1	昼間作業		

施工単価表

施工　第0-0022号内訳表　　頁0-0067/0116

ｱﾙﾐ矢板建込引抜工（両側分）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業種別 B　掘削深 C　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=3 =3 =4	建込＋引抜 掘削深 2.5m以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.45m3	ｸﾚｰﾝ機能付 2.9t吊	

施工単価表

施工　第0-0023号内訳表　　頁0-0068/0116

土留支保工（設置＋撤去）

［規格１］　［規格２］切梁種別 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　施工区分 B　切梁種別 C　設置段数		=3 =1 =1	設置＋撤去 切梁種別 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ 設置段数 1段 2.0m以下		

施工単価表

施工　第0-0024号内訳表　　頁0-0069/0116

土留支保工（設置＋撤去）

［規格１］　［規格２］切梁種別 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　施工区分 B　切梁種別 C　設置段数		=3 =1 =2	設置＋撤去 切梁種別 水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ 設置段数 2段 3.5m以下		

施工単価表

施工　第0-0025号内訳表　　頁0-0070/0116

組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工

［規格１］1号　ﾏﾝﾎｰﾙ深さ3m以下　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置 1号(内径900mm) 3m以下		箇所			
単　位　当　り	1	箇所			
A　組立ﾏﾝﾎｰﾙ規格･仕様区分 B　施工規模(S) C　時間的制約の補正(K1)		=4 =1 =1	1号　ﾏﾝﾎｰﾙ深さ3m以下 4箇所以上 時間的制約なし		
D　夜間作業の補正(K2)		=1	昼間作業		

施工単価表

施工　第0-0026号内訳表　　頁0-0071/0116

底部工［組立式］

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
再生切込砕石 （0～30mm･0～40mm）		m3			
コンクリート 無筋･鉄筋構造物	0.11	m3			施工　第0-0027号内訳表
ﾓﾙﾀﾙ上塗工［ﾏﾝﾎｰﾙ用］ 配合1：2，厚　２０mm	0.73	m2			施工　第0-0028号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			
A　基礎材の種類 B　砕石基礎厚さ(m) C　砕石基礎面積(m2/箇所)		=2 =0.2 =1.3	基礎材の種類->再生切込砕石 砕石基礎厚さ(m) 砕石基礎面積(m2/箇所)		
D　ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ数量(m3/箇所) E　ﾓﾙﾀﾙ上塗り数量(m2/箇所)		=0.11 =0.73	ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ数量(m3/箇所) ﾓﾙﾀﾙ上塗り数量(m2/箇所)		

コンクリート

積算単価算出表

施工　第0-0027号内訳表

［規格１］無筋･鉄筋構造物　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　m3　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		特殊作業員				特殊作業員			
	R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		生ｺﾝｸﾘｰﾄ 高炉24-12-25(20) W/C=55%				生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-40BB 水ｾﾒﾝﾄ比60%以下			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	構造物種別	=1	無筋･鉄筋構造物						
	B	打設工法	=4	人力打設						
	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	=9	18-8+40BB[水ｾﾒﾝﾄ比 60%以下]						
	E	養生工の種類	=2	一般養生						
	G	現場内小運搬の有無	=2	無し						

施工単価表

施工　第0-0028号内訳表　　頁0-0073/0116

ﾓﾙﾀﾙ上塗工［ﾏﾝﾎｰﾙ用］

［規格１］配合1：2，厚 ２０㎜　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
モルタル練 高炉 混合比->1:2	0.020	m3			施工　第0-0029号内訳表
左官		人			
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	m2			
A　モルタル配合 B　モルタル厚（mm）		=2 =20	配合1：2 モルタル厚（mm）		

モルタル練

積算単価算出表

施工　第0-0029号内訳表

［規格１］高炉 混合比->1:2　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　m3　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		ｾﾒﾝﾄ 高炉B 25kg袋入				高炉ｾﾒﾝﾄ(B種) (袋物25kg入り)			
	Z2		砂 細目(洗い)				砂 洗砂			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A B C	ｾﾒﾝﾄ種別 砂種類 混合比	=3 =1 =2	高炉 洗砂 1:2						

施工単価表

施工　第0-0030号内訳表

防護コンクリート工

［規格１］Φ150　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
モルタル練 普通 混合比->1:1	0.003	m3			施工　第0-0031号内訳表
コンクリート 無筋･鉄筋構造物	0.01	m3			施工　第0-0032号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋･無筋構造物	0.07	m2			施工　第0-0033号内訳表
基礎砕石 砕石厚->7.5cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30,RC-40	0.1	m2			施工　第0-0034号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

モルタル練

積算単価算出表

施工　第0-0031号内訳表

［規格１］普通 混合比->1:1　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　m3　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		ｾﾒﾝﾄ 高炉B 25kg袋入				普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ (袋物25kg入り)			
	Z2		砂 細目(洗い)				砂 洗砂			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A B C	ｾﾒﾝﾄ種別 砂種類 混合比	=1 =1 =1	普通 洗砂 1:1						

コンクリート

積算単価算出表

施工　第0-0032号内訳表

［規格１］無筋･鉄筋構造物　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

標準単価		代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [ｸﾛｰﾗ型ｸﾚｰﾝ付] 超低騒音型･排出ｶﾞｽ対策型含			ﾊﾞｯｸﾎｳ(排出ｶﾞｽ対策型･超低騒音型含) 油圧式ｸﾛｰﾗ型ｸﾚｰﾝ付(2.9t) 山積0.80m3級			
	K							
	R1	特殊作業員			特殊作業員			
	R2	普通作業員			普通作業員			
	R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
	R4	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R							
	Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-12-20BB 水ｾﾒﾝﾄ比60%以下			
	Z2	軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			軽油			
	Z							
					計			
	積算単価 ＝							
	A 構造物種別	=1	無筋･鉄筋構造物					
	B 打設工法	=3	ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設					
	C ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	=10	18-12-20BB[水ｾﾒﾝﾄ比 60%以下]					
	E 養生工の種類	=2	一般養生					

型枠

積算単価算出表

施工　第0-0033号内訳表

［規格１］一般型枠　　［規格２］鉄筋･無筋構造物　　［ 摘要 ］　　1　　m2　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K									
	R1		型わく工				型わく工			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	型枠の種類	=1	一般型枠						
	B	構造物の種類	=1	鉄筋･無筋構造物						

基礎砕石

積算単価算出表

施工　第0-0034号内訳表

［規格１］砕石厚->7.5cm以下　［規格２］再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30,RC-40　［ 摘要 ］　1　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.8m3(平積0.6m3) [ｸﾛｰﾗ型] 排出ｶﾞｽ対策型含				ﾊﾞｯｸﾎｳ(排出ｶﾞｽ対策型･超低騒音型含) 油圧式ｸﾛｰﾗ型山積0.8m3級			
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		特殊作業員				特殊作業員			
	R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R4		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40				再生切込砕石 (0～30mm･0～40mm)			
	Z2		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価 ＝									
	A	砕石の厚さ	=1	7.5cm以下						
	B	砕石の種類	=1	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30,RC-40						

施工単価表

施工　第0-0035号内訳表

防護コンクリート工

［規格１］Φ200　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
モルタル練 普通 混合比->1:1	0.004	m3			施工　第0-0031号内訳表
コンクリート 無筋･鉄筋構造物	0.01	m3			施工　第0-0032号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋･無筋構造物	0.08	m2			施工　第0-0033号内訳表
基礎砕石 砕石厚->7.5cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30,RC-40	0.1	m2			施工　第0-0034号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0036号内訳表

防護コンクリート工

［規格１］Φ250　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
モルタル練 普通 混合比->1:1	0.005	m3			施工　第0-0031号内訳表
コンクリート 無筋･鉄筋構造物	0.01	m3			施工　第0-0032号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋･無筋構造物	0.09	m2			施工　第0-0033号内訳表
基礎砕石 砕石厚->7.5cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-30,RC-40	0.1	m2			施工　第0-0034号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0037号内訳表

内副管設置工

［規格１］Φ200-150　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
内副管取付工 落差1.0m未満	1	箇所			施工　第0-0038号内訳表
プレーンエンド直管 Φ150	0.04	本			
副管用９０°支管（塩ビ本管用） φ200×φ150	1	個			
カラー継手接着受口副管、取付管用 φ150	1	個			
９０°曲管　接着受口 φ150	1	個			
塩ビ内副管用金具 φ150用 ステンレス製	2	個			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0038号内訳表

内副管取付工

［規格１］落差1.0m未満　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0039号内訳表　　頁0-0084/0116

内副管設置工

［規格１］Φ150-100　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
内副管取付工 落差1.0m未満	1	箇所			施工　第0-0038号内訳表
プレーンエンド直管 Φ100	0.08	本			
副管用９０°支管（塩ビ本管用） φ150×φ100	1	個			
カラー継手接着受口副管、取付管用 Φ100	1	箇所			
９０°曲管　接着受口 Φ100	1	箇所			
塩ビ内副管用金具 φ100用	2	個			
単　位　当　り	1	箇所			

舗装版破砕積込(小規模土工)

積算単価算出表

施工　第0-0040号内訳表

[規格１]　[規格２]　[摘要]　1　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		小型ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.13m3(平積0.10m3) [ｸﾛｰﾗ型･排出ｶﾞｽ型(第2次基準値)]				小型ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) [標準型･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 0.13/0.10m3			
	K									
	R1		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R									
	Z1		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価	＝								

04-29452101-1

床掘り

積算単価算出表

施工　第0-0041号内訳表

［規格１］土砂 上記以外(小規模)　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型･排ｶﾞｽ(第2次)]				ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) [後方超小旋回型･排出ｶﾞｽ対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
	K									
	R1		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価 ＝									
	A B	土質 施工方法	=1 =5	土砂 上記以外(小規模)						

施工単価表

施工　第0-0042号内訳表

取付管布設および支管取付工

［規格１］管径 150mm，ｺﾝｸﾘｰﾄ製･陶製以外の管　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
取付管敷設工及び支管取付工 管径150mm		箇所			
単　位　当　り	1	箇所			
A　管径 B　1工事の施工規模(S) C　時間的制約(K1)		=3 =1 =1	管径 150mm 5箇所以上 時間的制約なし		
D　夜間作業(K2) E　平均取付管長(K3･4) F　本管の材質(K5)		=1 =1 =1	昼間作業 3m未満 ｺﾝｸﾘｰﾄ製･陶製以外の管		
G　可とう性支管の設置		=1	可とう性支管以外		

表層

積算単価算出表

施工　第0-0043号内訳表　　頁0-0088/0116

［規格１］ ｔ＝５０㎜　　［規格２］ 密粒度ｱｽｺﾝ［再］(13)　　［ 摘要 ］　　1　　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		振動ﾛｰﾗ(舗装用) 質量0.5～0.6t ［ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式］				振動ﾛｰﾗ(舗装用) ［ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式］ 0.5～0.6t			
	K2		振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ 質量40～60kg ［前進型］				振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ ［前進型］ 40～60kg			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13　t=40mm				再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13			
	Z2		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ				ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ			
	Z3		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)						
	B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)						
	C	材料	=6	密粒度ｱｽｺﾝ［再］(13)						
	D	夜間割増の有無	=1	無し						
	E	瀝青材料種類	=5	無し						

先行上層路盤

積算単価算出表

施工　第0-0044号内訳表

［規格１］粒調砕石 M-25,M-30,M-40　　［規格２］ ｔ＝１００mm　　［ 摘要 ］　　1　　m2　当り

標準単価		代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1	ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ ﾌﾞﾚｰﾄﾞ幅3.1m ［土工用･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)］			ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ ［土工用･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)］ 3.1m			
	K2	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ 質量10t ［ﾏｶﾀﾞﾑ･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)］			ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ ［ﾏｶﾀﾞﾑ･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)］ 10t			
	K3	ﾀｲﾔﾛｰﾗ 質量8～20t 排出ｶﾞｽ対策型含			ﾀｲﾔﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) 8～20t			
	K							
	R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R2	特殊作業員			特殊作業員			
	R3	普通作業員			普通作業員			
	R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
	R							
	Z1	再生粒度調整砕石 RM-40 全厚t=150mm			粒調砕石 (0～25mm･0～30mm･0～40mm)			
	Z2	軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			軽油			
	Z							
					計			
	積算単価　＝							
	A 材料	=3	粒調砕石 M-25,M-30,M-40					
	D 全仕上り厚(mm)	=100	全仕上り厚(mm)					
	E 施工区分	=1	1層施工					

舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)

積算単価算出表

施工　第0-0045号内訳表

［規格１］As舗装版厚->15cm以下　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ 切削深20cm級 [ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式]				ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ [ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式] 20cm級			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R3		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ) 径22ｲﾝﾁ				舗道版切断 ｶｯﾀｰﾌﾞﾚｰﾄﾞ 径22ｲﾝﾁ			
	Z2		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ				ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A B	舗装版種別 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚	=1 =1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下						

不陸整正

積算単価算出表

施工　第0-0046号内訳表

［規格１］補足材料->有り(29mm以上34mm未満)　［規格２］粒調砕石 M-25,M-30,M-40　［ 摘要 ］　1　m2　当り

標準単価		代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1	ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ ﾌﾞﾚｰﾄﾞ幅3.1m [土工用･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)]			ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ [土工用･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 3.1m			
	K2	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ 質量10t [ﾏｶﾀﾞﾑ･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)]			ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ [ﾏｶﾀﾞﾑ･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 10t			
	K3	ﾀｲﾔﾛｰﾗ 質量8～20t 排出ｶﾞｽ対策型含			ﾀｲﾔﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) 8～20t			
	K							
	R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R2	特殊作業員			特殊作業員			
	R3	普通作業員			普通作業員			
	R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
	R							
	Z1	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40			粒調砕石 (0～25mm･0～30mm･0～40mm)			
	Z2	軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			軽油			
	Z							
					計			
	積算単価　＝							
	A	補足材料の有無 =2	有り					
	B	補足材料平均厚さ =9	29mm以上34mm未満					
	C	補足材料 =3	粒調砕石 M-25,M-30,M-40					

表層(車道・路肩部)

積算単価算出表

施工　第0-0047号内訳表

[規格１]　ｔ＝５０mm　　[規格２] 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)　　[摘要]　　1　　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ 舗装幅2.3～6.0m [ﾎｲｰﾙ型] 排出ｶﾞｽ対策型含				ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ(排出ｶﾞｽ対策型含) ﾎｲｰﾙ型 舗装幅2.3～6.0m			
	K2		ﾀｲﾔﾛｰﾗ 質量8～20t 排出ｶﾞｽ対策型含				ﾀｲﾔﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) 8～20t			
	K3		ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ 質量10～12ｔ [ﾏｶﾀﾞﾑ] 排出ｶﾞｽ対策型含				ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) ﾏｶﾀﾞﾑ 10～12t			
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		特殊作業員				特殊作業員			
	R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R4		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		密粒度ｱｽｺﾝ TOP20　t=50mm				再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13			
	Z2		ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用				ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3(ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用)			
	Z3		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価	＝								

表層(車道・路肩部)

積算単価算出表

施工　第0-0047号内訳表

［規格１］ ｔ＝５０mm　　［規格２］ 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)　　［ 摘要 ］　　1　　m2　当り

標準単価		代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	A	平均幅員	=4	3.0m超					
	B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)					
	C	材料	=8	密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)					
	D	夜間割増の有無	=1	無し					
	E	瀝青材料種類	=2	ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					

暗渠排水管

積算単価算出表

施工　第0-0048号内訳表

［規格１］撤去　　［規格２］直管(200～400mm)　　［ 摘要 ］　　1　m　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	作業区分	=2	撤去						
	B	管種別	=1	直管						
	C	呼び径	=2	200～400mm						

暗渠排水管

積算単価算出表

施工　第0-0049号内訳表

［規格１］撤去　　［規格２］直管(50～150mm)　　［ 摘要 ］　　1　m　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	作業区分	=2	撤去						
	B	管種別	=1	直管						
	C	呼び径	=1	50～150mm						

人孔

積算単価算出表

施工　第0-0050号内訳表

［規格１］撤去 W=2000kg/基以下　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　基　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) [標準型･ｸﾚｰﾝ付排ｶﾞｽ(第1次)]				ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) [標準型･ｸﾚｰﾝ機能付･排ｶﾞｽ対策型(第1次)] 0.45/0.35m3			
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R4		特殊作業員				特殊作業員			
	R									
	Z1		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A B	作業区分 製品質量	=2 =1	撤去 2000kg/基以下						

施工単価表

施工　第0-0051号内訳表　　頁0-0097/0116

構造物とりこわし工

［規格１］鉄筋構造物　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
構造物とりこわし工（鉄筋）［昼間］ 制約無 機械施工		m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　構造物区分 B　時間的制約の有無 C　夜間作業の有無		=2 =1 =1	鉄筋構造物 時間的制約なし 昼間作業		
D　低騒音・低振動対策		=1	必要		

施工単価表

施工　第0-0052号内訳表　　頁0-0098/0116

ﾎﾟﾝﾌﾟ運転

［規格１］　［規格２］作業時排水　［ 摘要 ］　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
特殊作業員		人			1
工事用水中ﾎﾟﾝﾌﾟ運転（賃料） 作業時排水		日			1
発動発電機運転（賃料）		日			1
諸雑費		%			
<<1式当り(水替費)>>		式			
単　位　当　り	1	式			
A　排水方法 B　排水量(m3/ｈ) C　日数割増		=1 =1 =1	作業時排水 0～　40m3/ｈ未満 日数割増なし		

施工単価表

施工　第0-0055号内訳表　　頁0-0099/0116

ﾎﾟﾝﾌﾟ設置・撤去

［規格１］　［規格２］水替１箇所　［ 摘要 ］　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転（賃料）		日			
<<水　替　箇　所>>		箇所			
<<1式当り(配分額)>>		式			
単　位　当　り	1	式			
A　水替箇所(箇所) B　経費分配率		=1 =1	水替箇所(箇所) 経費分配率		

施工単価表

施工　第0-0057号内訳表

交通誘導警備員 B

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　人日　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
交通誘導警備員Ｂ		人			
単　位　当　り	1	人日			
A　交通誘導警備員区分 B　労務費調整係数		=2 =1	交通誘導警備員 B 労務費調整係数		

施工単価表

施工　第0-0058号内訳表　　頁0-0101/0116

交通誘導警備員 B

［規格１］交替要員　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　人日　当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員Ｂ		人			
単位当り	1	人日			
A 交通誘導警備員区分 B 労務費調整係数		=2 =1	交通誘導警備員 B 労務費調整係数		

施工単価表

施工　第0-0059号内訳表　　頁0-0102/0116

仮設材等の積込み・取卸し

［規格１］〔積込み取卸し(往復分)〕　［規格２］　［ 摘要 ］　1　t　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
積込み･取卸し費 仮設材		t			
単　位　当　り	1	t			
A　作業種別		=4	〔積込み取卸し(往復分)〕		

施工単価表

施工　第0-0060号内訳表

仮設材等の運搬

［規格１］製品長->12m以内　［規格２］　［ 摘要 ］　1　t　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬費	1.00	t			
単　位　当　り	1	t			
A　製品長 B　運搬距離　(km) C　深夜早朝割増		=1 =10 =1	製品長->12m以内 運搬距離　(km) 深夜早朝割増　なし		

施工単価表

施工　第0-0061号内訳表

試掘調査工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	6	m			施工　第0-0045号内訳表
舗装版破砕積込(小規模土工)	2	m2			施工　第0-0040号内訳表
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	2.9	m3			施工　第0-0062号内訳表
埋戻し 材->再生切込砕石	1.4	m3			施工　第0-0017号内訳表
埋戻し 小規模土工　材->砂	1.3	m3			施工　第0-0063号内訳表
殻運搬 舗装版破砕	0.1	m3			施工　第0-0001号内訳表
処分費 ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	1	式			施工　第0-0065号内訳表
土砂等運搬 土質->土砂(岩塊･玉石混り土含む)	2.9	m3			施工　第0-0008号内訳表
処分費 土 砂	1	式			施工　第0-0066号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 粒調砕石 M-25,M-30,M-40 ｔ＝１００mm	2.0	m2			施工　第0-0067号内訳表
表層(歩道部) ｔ＝５０mm 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)	2.0	m2			施工　第0-0068号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

床掘り

積算単価算出表

施工　第0-0062号内訳表

［規格１］土砂 上記以外(小規模)　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型･排ｶﾞｽ(第2次)]				ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) [後方超小旋回型･排出ｶﾞｽ対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
	K									
	R1		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価 ＝									
	A B	土質 施工方法	=1 =5	土砂 上記以外(小規模)						

施工単価表

施工　第0-0063号内訳表　　頁0-0106/0116

埋戻し

［規格１］　［規格２］小規模土工　材->砂　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
埋戻し 上記以外(小規模) 土砂	1	m3			施工　第0-0064号内訳表
砂 洗砂	1.2	m3			
単　位　当　り	1	m3			

埋戻し

積算単価算出表

施工　第0-0064号内訳表

［規格１］ 上記以外(小規模) 土砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　m3　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型･排ｶﾞｽ(第2次)]				ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) [後方超小旋回型･排出ｶﾞｽ対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
	K2		ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ 質量60～80kg				ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ [ﾗﾝﾏ] 60～80kg			
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		特殊作業員				特殊作業員			
	R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R									
	Z1		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z2		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ				ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ			
	Z									
							計			
	積算単価 ＝									
	A B	施工方法 土質	=5 =1	上記以外(小規模) 土砂						

施工単価表

施工　第0-0065号内訳表　　頁0-0108/0116

処分費

［規格１］ｱｽﾌｧﾙﾄ殻　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=2 =0.1 =	Ａｓ殻 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工　第0-0066号内訳表

処分費

［規格１］土 砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=1 =2.9 =	土砂 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

上層路盤(車道・路肩部)

積算単価算出表

施工　第0-0067号内訳表

［規格１］粒調砕石 M-25,M-30,M-40　　［規格２］ ｔ＝１００mm　　［ 摘要 ］　　1　　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ ﾌﾞﾚｰﾄﾞ幅3.1m ［土工用･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)］			ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ ［土工用･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)］ 3.1m			
	K2		ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ 質量10t ［ﾏｶﾀﾞﾑ･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)］			ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ ［ﾏｶﾀﾞﾑ･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)］ 10t			
	K3		ﾀｲﾔﾛｰﾗ 質量8～20t 排出ｶﾞｽ対策型含			ﾀｲﾔﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) 8～20t			
	K								
	R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R2		特殊作業員			特殊作業員			
	R3		普通作業員			普通作業員			
	R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R								
	Z1		再生粒度調整砕石 RM-40 全厚t=150mm			粒調砕石 (0～25mm･0～30mm･0～40mm)			
	Z2		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油			軽油			
	Z								
						計			
	積算単価 ＝								
	A	材料	=3	粒調砕石 M-25,M-30,M-40					
	D	全仕上り厚(mm)	=100	全仕上り厚(mm)					
	E	施工区分	=1	1層施工					

表層(歩道部)

積算単価算出表

施工　第0-0068号内訳表

[規格１]　ｔ＝５０㎜　　[規格２] 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)　　[摘要]　　1　　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		振動ﾛｰﾗ(舗装用) 質量0.5～0.6t [ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式]				振動ﾛｰﾗ(舗装用) [ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式] 0.5～0.6t			
	K2		振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ 質量40～60kg [前進型]				振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ [前進型] 40～60kg			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13　t=40mm				再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13			
	Z2		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ				ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ			
	Z3		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)						
	B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)						
	C	材料	=6	密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)						
	D	夜間割増の有無	=1	無し						
	E	瀝青材料種類	=5	無し						

施工単価表

施工　第0-0069号内訳表

埋戻し土(流用土)判定

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
粒度試験（２）	1	試料			施工　第0-0070号内訳表
含水比試験	1	試料			施工　第0-0071号内訳表
液性限界試験	1	試料			施工　第0-0072号内訳表
塑性限界試験	1	試料			施工　第0-0073号内訳表
締め固めた土のコーン指数試験	1	試料			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0070号内訳表　　頁0-0113/0116

粒度試験（２）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　試料　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
粒度試験(2) ふるい分析のみ(試料0.5kg未満)		試料			(ふるい分析のみ)
単　位　当　り	1	試料			
A　試験方法		=4	粒度試験(2)		

施工単価表

施工　第0-0071号内訳表　　頁0-0114/0116

含水比試験

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　試料　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
含水比試験 自然含水比測定		試料			（自然含水比測定）
単　位　当　り	1	試料			
A　試験方法		=2	含水比試験		

施工単価表

施工　第0-0072号内訳表

液性限界試験

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　試料　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
液性限界試験		試料			
単　位　当　り	1	試料			
A　試験方法		=5	液性限界試験		

施工単価表

施工　第0-0073号内訳表

塑性限界試験

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　試料　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
塑性限界試験		試料			
単　位　当　り	1	試料			
A　試験方法		=6	塑性限界試験		

位置図

明石市
荷山町
荷山公園
荷山町
県立明石高等学校
西朝霧
西朝霧丘
市立大蔵コミュニティ・センター
市立大蔵中学校
西朝霧丘
(366号線)
明石公園
太寺大野町
東野町
中朝霧丘
中朝霧丘
太寺大野町
東野町公園
東 P34 H-4
太寺 1丁目

工　事　設　計　図　書

年度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	老朽管整備事業費	
工事番号	04-2207							設計年月日	令和5年　1月12日
着工番号								精算年月日	令和5年　1月12日

施工理由			
施工箇所	明石市東野町地内	施工方法及び工事期限	(請負) 単価契約 令和5年9月29日まで
工事名称	東野町地内配水管布設替工事	支払い方法	前払金　あり（40%以内） 中間前払金　あり（20%以内） 部分払　あり（2回以内）
工事概要	配水管布設替工計　L=186.4m 配水管布設替工　φ75　L=127.5m　φ100　L=58.9m 仕切弁設置工　φ75　2箇所 消火栓設置工　φ75　2箇所 仮配水管布設撤去工　1式 既設管撤去工　1式 舗装復旧工　1式		

当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円
増減	円	増減	円	増減	円	増減	円

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
本工事費					
管路(開削)					
φ75管路					
φ75管布設工		式		1	
材料		式		1	
DGX-S 直管　φ　75×4000	ｺﾞﾑ輪・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ(ﾎﾙﾀﾞｰ含)	本		31	
DGX 挿し受片落管　φ100×　75	ロックリング含	個		1	
DGX 曲管　φ　75×45°	ロックリング含	個		3	
DGX 両受曲管　φ　75×45°	ロックリング含	個		1	
DGX ﾌﾗﾝｼﾞ付きT字管　φ　75×　75	ロックリング含	個		2	
DGX 継ぎ輪　φ　75	ロックリング含	個		1	
GX形ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁(受挿し)　φ　75	ロックリング含	基		2	
仕切弁室(明石Ｖ型)(H=840)	鉄蓋含む	組		2	
ｹﾚｯﾌﾟ式単口消火栓(浅埋形)　φ75×65	JWWA B 103,地下式,単口式,0.75MPa	基		2	
ﾌﾗﾝｼﾞ短管　φ　75×150	0.75MPa	個		2	
補修弁（ｷｬｯﾌﾟ式）φ75×100	JWWA B 126,0.75MPa	基		2	
ﾌﾗﾝｼﾞ接合補強具(LSP形)　φ　75	7.5K　LSPﾊﾟｯｷﾝ	組		6	
消火栓室(明石Ⅳ型・丸型)(H=740)	鉄蓋及び無収縮ﾓﾙﾀﾙ含む	組		2	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
GX形P-Linkｾｯﾄ φ 75	切管直管受用	組		1	
GX形G-Linkｾｯﾄ φ 75	切管異形管受用	組		6	
GX形接合ｾｯﾄ　φ 75	異形管・V用	組		7	
GX形ﾗｲﾅ φ 75	ﾗｲﾅﾎﾞｰﾄﾞ含	組		8	
DGX 帽 φ 75		個		2	
DGX 栓(異形管用) φ 75 (損料)		個		2	
表示帯		m		127.5	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ75	固定材料含む	m		127.5	
管明示ﾃｰﾌﾟ(幅50mm 1巻 20m)	年号入り	巻		9	
手間		式		1	
鋳鉄管吊込み据付 (機械力)	呼び径　75mm以下	m		126.5	
鋳鉄管(新設管)切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径75mm	口		5	
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置	縦型仕切弁　呼び径　100mm以下	基		2	
円形1号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=840)	鉄蓋設置含む	箇所		2	
消火栓(地下式 単口)設置工	機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む	箇所		2	
フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm)	ＪＷＷＡ 7.5Ｋ	口		4	
円形3号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=740)	鉄蓋設置含む	箇所		2	
ＧＸ継手接合(呼び径　75mm)	直管	口		30	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
ＧＸ継手接合(呼び径　75mm)	P-Linkの接合	口		1	
ＧＸ継手接合(呼び径　75mm)	G-Linkの接合	口		6	
ＧＸ継手接合(呼び径　75mm)	異形管	口		7	
栓設置・撤去工	異形管	口		2	
帽設置工	G-Linkの接合	口		2	
管明示シート工		m		127.5	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 75mm)		m		127.5	
管明示テープ工	φ75	m		127.5	
φ75管路土工		式		1	
土工		式		1	
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		250	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	m2		76	
掘削積込工		m3		80	
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)	〔中谷建材㈱〕	m3		4	
残塊処分工(土砂)	〔西川建材㈱〕	m3		80	
仮復旧工［密粒度[再](13)］	厚 5cm	m2		76	
路盤工(粒調砕石)	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	m2		76	
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）		m3		42	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）		m3		30	
φ100管路					
φ100管布設工		式		1	
材料		式		1	
DGX-S 直管　φ100×4000	ｺﾞﾑ輪・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ（ﾎﾙﾀﾞｰ含）	本		15	
DGX 二受T字管　φ100×　75	ロックリング含	個		1	
DGX 両受短管　φ100	ロックリング含	個		1	
特殊分岐管用中栓　φ100	中栓・栓（蓋）・中栓用特殊ゴム	組		1	
GX形P-Linkｾｯﾄ　φ100	切管直管受用	組		1	
GX形接合ｾｯﾄ　φ100	異形管・V用	組		3	
DGX 栓(異形管用)　φ100		個		1	
DGX 帽　φ100		個		1	
表示帯		m		58.9	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ100	固定材料含む	m		58.9	
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50mm 1巻 20m）	年号入り	巻		5	
手間		式		1	
鋳鉄管吊込み据付（機械力）	呼び径　100mm	m		58.9	
鋳鉄管(新設管)切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径100mm	口		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
ＧＸ継手接合(呼び径 100mm)	直管	口		15	
ＧＸ継手接合(呼び径 100mm)	P-Linkの接合	口		1	
ＧＸ継手接合(呼び径 100mm)	異形管	口		3	
特殊分岐管用中栓設置工　φ100	平日・昼間施工	基		1	
栓設置工　φ１００	異形管	口		1	
帽設置工　φ１００	G-Linkの接合	口		1	
管明示シート工		m		58.9	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 100mm)		m		58.9	
管明示テープ工（鋳鉄管布設工）	呼び径100mm×4000mm	m		58.9	
φ100管布設土工		式		1	
土工		式		1	
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		120	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	m2		35	
掘削積込工		m3		38	
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)	〔中谷建材㈱〕	m3		1.8	
残塊処分工(土砂)	〔西川建材㈱〕	m3		38	
仮復旧工［密粒度[再](13)］	厚 5cm	m2		35	
路盤工(粒調砕石)	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	m2		35	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）		m3		19	
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）		m3		14	
付帯工		式			
仮配管布設工		式		1	
仮配水管材料		式		1	
仮配管材(賃料)　φ50		m		12.4	
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ(賃料)　φ50		基		1	
仮消火栓(賃料)　φ50	仮消火栓,仮ﾁｰｽﾞ80X80,仮ﾚｼﾞｭｰｻｰ80X50 2個	基		1	
仮給水管取出(賃料)　φ50×φ20,φ25	仮取出短管	箇所		2	
仮給水管取出(賃料)　φ50×φ30,φ40,φ50	仮取出短管,仮V,仮MJ	箇所		1	
仮配管材(賃料)　φ80		m		106.8	
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ(賃料)　φ80		基		4	
仮消火栓(賃料)　φ80	仮消火栓,仮ﾁｰｽﾞ	基		2	
仮給水管取出(賃料)　φ80×φ20,φ25	仮取出短管	箇所		13	
仮ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=300)	鉄蓋含む	組		5	
仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=300)	鉄蓋含む	組		3	
仮配水管布設手間		式		1	
仮配水管布設撤去工φ50	継手工含む	m		12.4	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ設置撤去工φ50	継手工含む	基		1	
仮消火栓設置撤去工φ50	埋設用、継手工含む	基		1	
仮給水取出設置撤去工φ50×φ20,25	継手工含む	箇所		2	
仮給水取出設置撤去工φ50×φ30,40,50	仮ﾊﾞﾙﾌﾞ、仮ﾏﾙﾁｼﾞｮｲﾝﾄ、継手工含む	箇所		1	
仮配水管布設撤去工φ80	継手工含む	m		106.8	
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ設置撤去工φ80	継手工含む	基		4	
仮消火栓設置撤去工φ80	埋設用、継手工含む	基		2	
仮給水取出設置撤去工φ80×φ20,25	継手工含む	箇所		13	
仮ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=300)	鉄蓋設置撤去含む	箇所		5	
仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=300)	鉄蓋設置撤去含む	箇所		3	
仮配給水管土工		式		1	
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		340	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	m2		135	
掘削積込工		m3		22	
掘削積込工(補助的作業なし)		m3		12	
掘削(人力)	土砂 現場制約あり	m3		9	
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)	〔中谷建材㈱〕	m3		7	
残塊処分工(土砂)	〔西川建材㈱〕	m3		28	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
仮復旧工［密粒度[再](13)］	厚 5cm	m2		135	
路盤工(粒調砕石)	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	m2		68	
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）		m3		9	
埋戻工（埋戻し材->流用土）		m3		13	
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）		m3		12	
仮給水管切替工		式		1	
仮給水管材料		式		1	
仮給水切替材料φ20		箇所		15	
HIVP管　φ　20	JIS K 6742	m		42.3	
仮給水切替材料φ40		箇所		1	
HIVP管　φ　40	JIS K 6742	m		3	
仮給水管布設手間		式		1	
仮給水切替工φ20		箇所		15	
硬質塩化ビニル管 据付・撤去	呼び径　20mm	m		42.3	
仮給水切替工φ40		箇所		1	
硬質塩化ビニル管 据付・撤去	呼び径　40mm	m		3	
既設管撤去工		式		1	
既設管撤去手間		式		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
鋳鉄管吊込み撤去（機械力）	呼び径　75mm以下	m		56.9	
鋳鉄管吊込み撤去（機械力）	呼び径　100mm	m		53	
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径75mm	口		20	
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径100mm	口		19	
ＧＸ継手取外し(呼び径 100mm)	異形管	口		1	
鋳鉄製仕切弁(機械力)撤去	縦型仕切弁　呼び径　100mm以下	基		2	
既設円形1号ﾎﾞｯｸｽ撤去工	鉄蓋撤去含む	箇所		3	
消火栓(地下式 単口)撤去工	機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む	箇所		2	
既設円形3号ﾎﾞｯｸｽ撤去工	鉄蓋撤去含む	箇所		2	
現場発生品・支給品運搬	ｽｸﾗｯﾌﾟ処分	回		2	
現場発生品・支給品運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ処分	回		1	
処分費(廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類)		t		0.3	
ﾓﾙﾀﾙ充填工		m3		0.7	
舗装復旧工		式		1	
ｱｽﾌｧﾙﾄ1層式(車道)		式		1	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	m2		417	
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)	〔中谷建材㈱〕	m3		21	
不陸整正工(粒調砕石)	施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	m2		417	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
表層(車道・路肩部)	ｔ＝５０mm	m2		417	
県道　車道　As3層　t=20cm		式		1	
舗装版破砕(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)		m2		2	
掘削積込工		m3		0.2	
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)	〔中谷建材㈱〕	m3		2	
残塊処分工(土砂)	〔西川建材㈱〕	m3		0.2	
不陸整正工(粒調砕石)	施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	m2		9	
上層路盤(車道・路肩部)	瀝青安定処理材(再生材) TOP25	m2		9	
基層(車道・路肩部)	ｔ＝５０mm	m2		9	
表層(車道・路肩部)	ｔ＝５０mm	m2		9	
区画線工		式		1	
一般舗装部		式		1	
区画線設置［溶融式］	実線　15cm　t=1.5mm	m		4	
交通誘導員設置		式		1	
交通誘導警備員　B					
試掘調査		式		1	
試掘調査工					
通水試験費		式		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
通水試験費	給水車不要の場合	回		2	
スクラップ控除		式		1	
鉄屑	故銑 B	t		2.5	

特記仕様書
（令和4年度　東野町地内配水管布設替工事ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
1	一般共通事項

※　1　現場代理人の兼務

※　1　本合併工事については、本合併工事以外の工事の現場代理人の兼務を認めない。

※　2　合併工事

※　1　本工事は、下水道整備課発注工事との合併工事である。
施工前に工程を充分検討し、工事が円滑に進むよう調整すること。

※　3　近接工事

※　1　発注時に、確認している近接工事は無いが、近接工事が確認された場合は、
関連他業者との連絡を密にし、互いの工事の影響が少ないように工程管理すること。

※　4　占用関係

1　国道(　　)	②　県道(　有瀬大蔵線　　)
③　市道(　　)	4　法定外道路(　　)
5　港湾(　　)	6　河川(　　)

7　その他(　　)

上記のチェックが入っている占用について、監督員と協議して必要な書類を
提出すること。

※　5　協議関係(上記占用以外)

1　鉄道等(　　)
2　バス道等(　　)
※　3　学校関係(　　)
4　その他(　　)

上記1～4のいずれかにチェックが入っている場合は、各関係者に施工内容や時期を
報告し、場合によっては施工協議をする必要も出てくるので、監督員と充分協議すること。

※　6　工事の範囲

※　1　当該工事予定範囲について、地元要望等及び現地の状況により、施工範囲の
増減が生じる可能性がある。その場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。

※　7　交通誘導警備員

※　1　交通誘導警備員の人数は、下表のとおりとする。

種類	合計	布設替工事	給水管切替工事
A	0名	0名	0名
B	137名	119名	18名
合計	137名	119名	18名

※ 1日1現場当り4名(標準)

※ 1日1現場当りT字交差点部 5名
1日1現場当り十字交差点部6名
その他1日1現場当り追加　1名(バス停)

※ 道路管理者及び警察署との協議及び地元要望等に伴い、上記の配置員数に増減
が生じた場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。また、その配置を監督員と協議
すること。
なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおりとする。
交通誘導警備員A;警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する
警備員を言う。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条
第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に
係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員
交通誘導警備員B;警備業者の警備員で交通誘導警備員A以外の交通の誘導に

特記仕様書
（令和4年度　東野町地内配水管布設替工事ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	従事するもの ※　8　低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について ※　1　低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。 ※　9　断水作業及び管内清掃作業等に伴う弁栓類操作および放水作業について ※　1　受注者は、弁栓類操作および放水作業にかかる作業員を用意すること。 ※　2　上記作業については、監督員または水道局職員の指導のもと、受注者が行うものとする。 ※　3　上記作業に伴い濁水等が発生した場合は直ちに監督員に連絡の上、監督員の作業指示に従い、監督員と協力の上、濁水等の処理を行うこと。 ※　4　受注者は、上記作業に伴う放水用器具を1セット用意すること。 （放水用器具1セット：消火栓スタンド，バルブキー2本，放水用ホース） ※　10　工事日報について ※　1　工事日報は該当箇所作業後、該当箇所の日報を**2週間以内**にセンター監督員に提出すること。 ※　2　工事日報は以下の工種について提出するものとする。 ①　試掘工　②　仮配水管，仮給水管布設撤去工 ③　水道本管布設撤去工（残置処理配管共） ④　給水管布設工　⑤　水圧試験 ⑥　白紙様式3枚（検査合格報告書分） なお、提出工種に疑義が生じた場合は、監督員と協議の上、提出内容を決定すること。 ※　3　その他内容については、水道工事標準仕様書（6.提出書類）に基づくものとする。 ※　11　工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険の付保について ※　1　本工事において、受注者は発注者と受注者を被保険者とした「工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険」に付さなければならず、発注者においては（保険金額→対物500万円以上・保険期間→工期内）とすること。なお、上記保険については掛金相当額が諸経費の中に積算されているので、入札にあたってはこれを含めて積算すること。 また、明石市工事請負契約約款第51条（火災保険等）に基づき、保険契約を締結したのち、その証券等を発注者に提示すること。 ※　12　建設リサイクル法等に基づく手続きについて ※　1　受注者は、再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を提出するものとする。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県HPに掲載の様式を使用すること。 ※　13　その他事項 ※　1　設計図書とは、明石市水道局工事請負契約約款第1条に規定する設計図書及び工事設計書のことをいう。 ※　2　工期については、配水管布設替工事については契約締結日の翌日から令和5年9月29日まで、給水管切替工事については、令和5年 3月31日までとしている。 給水管切替工事の予算については、公営企業管理者による次年度への繰り越しが決定されたときは、令和5年9月 29日までとする工期延期を行う予定である。 また、令和5年9月29日以上の工期延期については、協議により決定するものとする。 ※　3　当該工事設計書は令和3年度水道施設整備費に係る歩掛表に基づいて積算している。 ※　4　間接工事費等の算定における管材費には、従来の材料に加えて仮配管も含めている。

特記仕様書
（令和4年度　東野町地内配水管布設替工事ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
2	管きょ工 ※　1　使用材料 ※　1　使用材料確認願（様式29-1）には、明石市水道工事標準仕様書4.1に記載している指定品及びその他土木工事等材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書、構造図（承認図）（不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ、割T字管（付属ﾊﾞﾙﾌﾞ）、特殊な仕切弁、消火栓、空気弁、補修弁、排泥弁、止水栓、ｻﾄﾞﾙ分水栓、その他監督員が必要と認める材料）とする。 ※　2　土木工事承諾願（様式30-1）には、指定品以外の水道材料及び受注者が監督員に承諾を求める材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、水道材料については、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書と構造図（承認図）またはそれらに替わる書類、土木工事等材料については、その性能等を証明する書類とする。 ※　3　水道使用材料納品後、立会願を提出し、監督員の材料確認状況及び材料のメーカーマークが分かる写真を工事写真帳に添付すること。 ※　4　在庫品を使用する場合、工事打合せ簿にて使用したい在庫品の一覧表を添付すること。 また、立会願いを提出し、監督員は在庫品を確認し、使用可能かを工事打合せ簿で回答すること。確認状況写真を工事写真帳に添付すること。 ※　2　一体化長さ ※　1　設計水圧0.75Mpa、摩擦係数0.3で設計している。 ※　2　上記の条件と管の各口径及び各土被りを考慮し一体化長さを確認し、ライナや特殊押輪の有無を適時確認して施工すること。 ※　3　管の据付 ※　1　管路の高さを調整する場合は、スクリーニングス等を詰めた土嚢を原則使用すること。 ※　2　木材を使用する場合には、防腐処理を施した材料を使用すること。 ※　4　消火栓・空気弁 ※　1　丸型消火栓ボックスを設置する箇所については、補修弁のバルブの位置を配水管法線から、90°の位置に設置すること。 ※　2　消火栓及び空気弁の口の高さは、GL－20cm±5に収まるようにフランジ短管で調節すること。 ※　3　フランジ部で使用するボルトは75㎜以上のSUS製とすること。 また、ナットについては、SUS製の緩み防止仕様を使用すること。 ※　5　水圧試験 ※　1　標準仕様書5.10（1）について以下の条件を全て満たす場合、試験水圧0.75MPa、試験時間10分間、低下率1.0％以内を許容限度とする。 ・材質は鋳鉄管　・口径は300㎜以下　・試験延長合計は100m未満 ※　6　現場発生品の処分 ※　1　既設鋳鉄管、鉄蓋関係の処分については、有価物として売却すること。その場合、金属くず商の許可証の写し、物品の受領を証明する書類、計量証明書などを監督員に提出することまた、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。なお、処分地はｱﾗｲﾒﾀﾙで運搬距離は7.6kmを計上している。ただし、上記書類等が整えば、別の処分地でも可能とする。 その場合は、設計変更の対象としない。 2　既設石綿管の撤去が発生した場合、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」（平成17年8月、厚生労働省健康局水道課）を参考として作業を行うこと。 その文章中のプラスチック袋等は、ポリエチレンスリーブ(2重包み)に置き換えて作業すること。処分地は特記仕様書(追記)のとおりとする。 ※　3　既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発生品については、その材質により適切に処分する

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章

こと。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター（播磨事業所）、運搬距離12.8km、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。
ただし、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。

※　7　スクラップの種類

※　1　撤去鋳鉄管関係については、故銑Bで計上している。

※　8　その他事項

※　1　本工事における仮配水管の供用日数について、31～60日までとして計上している。

3　土工事

1　重機

1　特殊車両（一般的制限値である幅2.5m、長さ12.0m、高さ3.8m、総重量20.0t等のいずれかを越える車両）を使用する工事なので、施工計画書に明記するとともに、施工時までに必要な書類をそろえ、監督員に提示できるようにしておくこと。

※　2　アスファルト切断

※　1　アスファルト切断は、乾式または吸引式を使用すること。

※　3　配水管布設時の掘削幅

※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000
NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000

※　2　矢板有の場合、単位は㎜

口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050
NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050
K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050

※　4　配水管布設時の掘削深

※　1　配水管布設時の掘削深は、土被り＋布設管外径（D2)+100を基本とする。

※　2　既設管を撤去し、その断面で新設管を布設する場合、既設管の管底まで掘削し、上記のように掘削深から100㎜程度上げた状態で管を布設することを基本とする。
ただし、近接する地下埋設物の状態や既設管の配管状況により、曲管等の異形管が極力増えないように土被りを検討すること。

※　3　会所掘箇所は、G-Link・P-Link・特殊押輪等の押しボルト設置箇所とする。

※　4　会所掘箇所の断面は、布設管口径がφ350㎜以下の場合、延長500㎜、深さ200㎜、φ400㎜以上の場合、延長800㎜、深さ500㎜とし、幅はそれぞれの掘削幅とする。

※　5　仮配水管・仮給水管の掘削幅・掘削深

※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400
幅	400	450	500	550	600	700
深さ	400	450	500	550	600	800

※　2　矢板有の場合の掘削幅、単位は㎜

口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400
幅	700	750	800	850	900	1000

※　3　仮給水管設置撤去時の掘削幅は400㎜、掘削深は300㎜とすること。

4　直轄国道に布設撤去する場合は深さ600㎜以上とすること。

※　6　既設管撤去の掘削幅

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章

※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ75～150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
幅	550	600	650	700	900	950	1000

※　2　矢板有の場合、単位は㎜

口径	φ75～150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
幅	850	850	850	850	950	1000	1050

※　7　給水管の掘削幅、掘削深、延長

※　1　分水穿孔部について、新設管布設後の場合は本管掘削幅、延長は600㎜、深さは新設管布設時の土被りとする。既設管から分岐する場合は、本管口径のK形を布設する場合の掘削幅、延長は600㎜、深さは既設管土被り＋既設管呼び径＋100㎜とする。

※　2　給水管部は、幅500㎜、延長は給水管延長（本管～止水栓距離）－分水穿孔部掘削幅/2、深さは本管土被り-100mmとする。

※　8　掘削・埋戻し

※　1　埋戻し一層厚さ20cm未満とする。

※　2　水圧がかかっている水道管周りを掘削するときは、必ず人力掘削すること。

※　3　管路布設後、管下を埋め戻す場合には、スクリーニングス等を使用し、きちんと胴締めすること。管路布設前に余掘り分を埋め戻す場合は、再生砕石等良質土を使用し、きちんと転圧すること。

※　9　残土・殻処分地

※　1　処分地は特記仕様書(追記)参照。

※　2　特記仕様書(追記)は積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。
ただし、特記仕様書(追記)の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

※　10　各種試験

※　1　「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。

※　上層路盤の現場密度の測定・・・埋戻土及び管路掘削箇所について省略する。

11　仮設材の運搬

1　仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。
なお、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更を行わない。

※　12　その他事項

※　1　工事範囲内にある各種鉄蓋の表面を汚さないよう処置をとること。

4　舗装工

※　1　舗装前準備

※　1　既設構造物(側溝、街渠等)等に損傷を与えていないか、動いていないか等を確認し、異常がある場合は、適正な方法を検討し、監督員と協議すること。

※　2　下水道の鉄蓋で古い鉄蓋(コンクリート蓋、コンクリート巻鉄蓋等)がある場合は、舗装復旧前に下水道室が取り替えることがあるので、位置が分かるものと現況写真を提出すること。

※　3　他の地下埋設物の鉄蓋で高さ調整が必要なものは、位置が分かるものと現況写真と高さ調整の程度（＋○cm等）が分かるものを提出すること。

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	※　4　舗装復旧内に古い消火栓蓋、空気弁蓋、仕切弁蓋がある場合は、取替するかどうか監督員と協議すること。 5　切削オーバーレイで施工を予定している。 土木工事共通仕様書（兵庫県県土整備部監修）及び土木工事施工管理基準（兵庫県県土整備部監修）に記載のとおり、測量し計画書を作成し、監督員の承諾を得たのち、施工すること。 ※　2　不陸整正工 ※　1　補充材の有無を確認し、路床面の不陸を整正すること。 ※　2　既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分は、入念に清掃すること。 ※　3　乳剤散布 ※　1　ムラにならないよう、均一に散布すること。 ※　2　既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分等にも散布すること。 ※　4　アスファルト舗装工 ※　1　当日舗装版撤去した範囲について、表層まで復旧出来ない場合は監督員と協議すること。その場合は、周辺住民によく周知し、既設構造物、各種鉄蓋の箇所が歩行者、二輪車、自動車等の交通車両に危険が無いよう、すり合わせし、段差有の看板を立てるなど注意喚起すること。 ※　5　区画線工 1　インターロッキング舗装等のブロック舗装範囲に消火栓を設置した際の消火栓周り(黄色)の区画線は設置しないこと。 ※　2　施工直前に施工箇所を清掃し、プライマーを塗布すること。 ※　3　ガラスビーズを配合すること。 ※　6　各種試験 ※　1　「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める必要な試験等について、試験位置、試験方法等を事前に監督員に報告すること。 ※　2　「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。 ※　1　アスファルトの現場密度の測定・・・同一配合のアスファルト施工面積500m2未満について省略する。 ※　2　アスファルトコア採取・・・同一配合のアスファルト施工面積1箇所20m2以上500m2未満の箇所についてコア採取は1箇所とする。また、20m2未満については省略する。 ※　3　表層の平坦性・・・省略する ※　4　既設管充填処理に使用するモルタル等の強度試験・・・省略する。 7　その他事項 ※　1　舗装面積について、下水道整備課と按分した面積となっている。施工管理、成果物等の提出について舗装工着手前に監督員と協議すること。

特記仕様書（追記）

1　建設発生土の搬出先

品目	建設発生土
施設の名称	西川建材㈱
所在地	加古川市志方町広尾字大谷88
運搬距離	16.5km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

2　特定建設資材の分別解体等・再資源化等

1）分別解体等の方法

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有　□無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

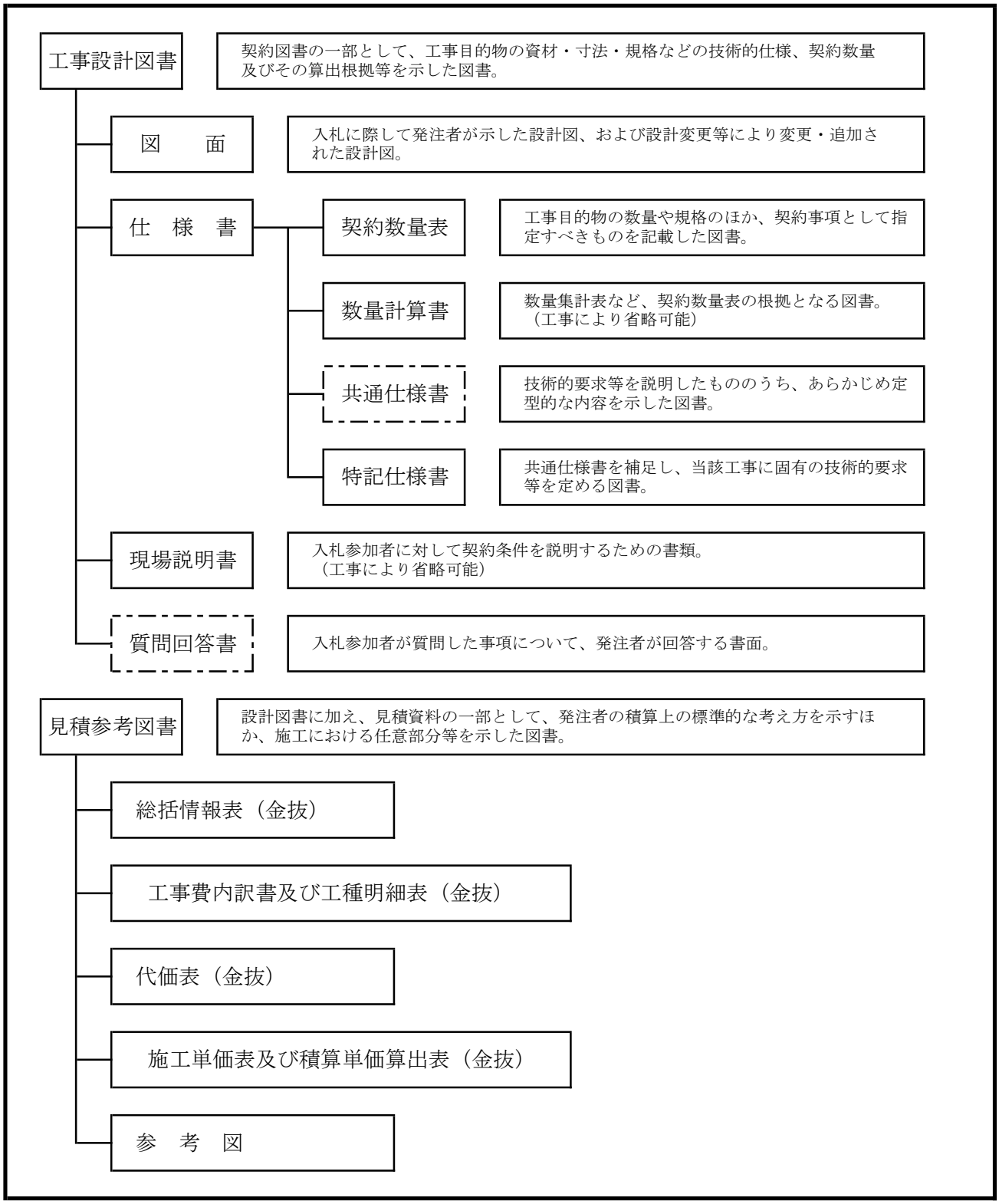
2）再資源化等をする施設の名称及び所在地

品目	アスファルト塊
施設の名称	中谷建材㈱
所在地	高砂市梅井5-2-10
運搬距離	16.7km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

３ 仕様書

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款　第１条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。

本工事の内容については、契約数量表・数量計算書・設計図面のうち、契約数量表を優先する。



水 道 工 事 標 準 仕 様 書

1　総　則

1.1（適　用）

1　水道工事標準仕様書（以下「標準仕様書」という。）は、明石市水道局が発注する水道管（導水・送水・配水）を布設する工事及び給水管工事（以下「工事」という。）に係る工事請負契約書（頭書を含み以下「契約書」という。）及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。

2　契約書及び仕様書・契約数量表・設計図（以下「設計図書」（標準仕様書を除く）という。）に記載された事項は、この標準仕様書に優先する。

3　本工事は、契約書及び設計図書のほか、水道工事標準仕様書(日本水道協会)・給水装置工事施行基準（明石市水道局）及びその他関係図書による。ただし、土木工事共通仕様書（兵庫県県土整備部監修）の水道編の第 2 章第 2 節については、適用しない。

1.2（法令等の厳守）

本工事の施工にあたっては、工事に関する関係法令等を厳守し、安全に行わなければならない。

1.3（書類の提出）

1　受注者は、明石市及び明石市水道局の定める様式による書類を提出すること。

2　提出した書類に変更が生じたときは、速やかに変更の書類を提出すること。

1.4（監督員）

1　監督員とは、水道法第 12 条により、水道局が指定した当該工事を監督する職員（主任監督員及び監督員）をいう。

1.5（工事実績データの登録）

水道工事を 2 件以上合併で発注している工事については、工事請負代金合計額が 500 万円以上の場合に一括の内容で登録すること。

1.6（目的物の引渡し）

工事目的物の引渡しは、工事完成届兼（引渡書）を水道局に提出し完成検査に合格したときをもって完了とする。

2　安全管理

2.1（事故防止）

1　工事中、不明管が出てきた場合には、監督員に連絡し、監督員の指示に従って、他の地下埋設物管理者に確認したうえ、適切に処理すること。

2　掘削及び埋戻工事中、他の構造物及び地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、その場で監督員に連絡し、指示を受けること。その際には写真撮影し、関係部署に報告できるようにしておくこと。

また、当該施工範囲内で道路構造物や他の地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、遅滞なく監督員に連絡すること。

3　受注者は熱中症対策等について充分に注意し、作業員に水分補給・塩分補給・休憩等を十分とらせること。

2.2（事故発生時の措置）

事故等緊急非常事態が発生した時は、第三者及び作業員等の人命救助、人命の安全確保を最優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、監督員及び関係各部署へ連絡しなければならない。また、軽微な事故等についても速やかに監督員に事故報告書等で報告するとともに、その指示を受けるものとする。

2.3（現場の整理整頓）

1　受注者は工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度、整理整頓し、現場内及びその付近は常に清潔に保つこと。その際に、機械器具等を無断で家の敷地に置いたり、壁等に立て掛けたりしないこと。

2　受注者は、日々の現場作業終了時には、固定している看板類及び必要な安全施設等以外の工事関係物は仮設事務所等に持ち帰り、適切に保管すること。

3　工事施工

3.1（一般事項）

1　受注者は、工事に先立ち、施工条件等を十分に把握したうえで、設計図書及び事前調査結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を記載した施工計画書を提出し、これに基づき、工事の適正な施工管理を行うこと。なお、施工計画書作成に当たっては、監督員と十分打合せを行うこと。

また、施工時において事前検討の条件と実際の施工条件との相違又は新たに生じた状況等により施工計画書に記載した内容に変更が生じるときは、監督員と協議し、速やかに施工計画書を追加及び変更すること。

2　施工期限が定められた箇所がある場合は、監督員と十分協議し、工程の進行を図ること。

3　受注者は、監督員が常に施工状況の確認が取れるように日報等の必要な資料を速やかに提出すること。

3.2（現場立会、架線・地下埋設物調査及び現地調査）

1　近接構造物（家屋含む）の事前調査を行い、損傷等の有無を撮影し、関係者に提出すること。

2　施工範囲内の道路上の境界ピン・境界杭の有無を調査し報告すること。ある場合は監督員と協議し、その対応を検討すること。

3　当該工事付近に公共基準点がある場合は、明石市公共基準点管理保全要領に定めるところにより、必要な申請書等を作成するほか、公共基準点を保持するための測量をすること。

4　給水管切替工事がある場合、施工前に今回給水管を切替する家屋に漏水が無いかの確認及び給水管口径の確認をし、報告すること。

5　その他設計図書に対する疑義がある場合は、工事打合せ簿にて協議をすること。

3.3（地元説明）

1　受注者は、工事着手前に所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行をはかること。

2　工事のため騒音を発し、付近住民の日常生活・業務等を妨害しないように配慮すること。

3　施工について営業等に支障があると思われる時は、監督員並びに付近住民と協議の上で、できるだけこれの軽減に努めること。

4　工事範囲内に自治会がある場合、当該自治会長に第 1 項と同様の工事説明を行うとともに、必要に応じて、工事広報の配布を行い工事同意書の提出を求めること。

5　受注者は施工前及び施工中(断水・濁水などの可能性がある場合)には、関係家屋にビラ等を配布し、周知すること。

6　給水管の切替等で個人の敷地内に入り、量水器または散水栓等から空気を抜く作業等を行う場合は、その旨を事前に説明し、トラブルが起こらないようにすること。

3.4（試掘調査）

試掘調査前に事前立会等で確認した試掘位置、試掘目的を工事打合簿にて報告すること。また、試掘調査後は、以下の項目について速やかに結果をまとめ、工事打合簿にて報告または協議すること。

・試掘断面の地下埋設物の状況　　・既設舗装構成
・設計図書通りの撤去・埋設が可能か　　・既設管の外面腐食等の異常の有無
・接続部がインチ管の場合、既設管外周長さを測定し、インチ管であることの確認
・その他試掘調査結果で判明した協議事項

3.5（夜間工事）

夜間工事をする場合は、十分な照明を行うとともに保安設備を施すこと。また、付近住民に工事のお知らせビラを配布し、説明するとともに協力を依頼すること。施工中は極力騒音・照明等により迷惑をかけないよう十分配慮すること。騒音対策には、管切断時のロールカッターの使用や防音シートの使用も検討すること。

3.6（立会）

下記の項目について事前に立会願を提出し、立会を行うものとする。

・材料納入時（在庫品使用時含む）の材料検収
・通常配管及び不断水工事箇所の水圧試験
・その他監督員が必要と判断した事項

3.7（工事関係書類の整備）

受注者は監督員の点検を随時受けられるよう、工事及び安全に関する書類を整備しておくこと。

4　材料

4.1（水道材料の規格）

本工事に使用する水道材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー（別添使用材料登録業者一覧表及び給水装置工事施行基準参照）の製品（以下「指定品」という。）を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合については、監督員の承諾を得た後、使用すること。

設計書及び特記仕様書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。

(1)　K形ゴム輪は、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。

(2)　特殊押輪、耐震補強金具等は耐震型(離脱防止性能 3DkN 以上)を使用すること。

(3)　K形管のT頭ボルト・ナットは、酸化被膜製と同等品以上とすること。

(4)　フランジボルト・ナットは SUS 製を使用すること。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部におけるフランジ継手に使用するフランジナットは SUS304 製(緩み防止仕様)を使用すること。

(5)　フランジ部の紛体塗装面に接触する箇所には、ワッシャー(SUS 製)を使用すること。

(6)　弁栓類等で使用するフランジの規格は２種（0.75MPa）とする。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部に使用するフランジ継手材はフランジ接合補強具(LSP 形)を使用すること。

(7)　仕切弁・消火栓・補修弁の開閉方向は左開きとする。

(8)　鉄蓋・受枠・ボックスは、明石市水道局性能規定書による製品とする。特に円形消火栓（空気弁）鉄蓋は耐スリップ車道用又は歩道用とする。

(9)　割T字管の分岐口径φ150 以下について、密着コアを使用すること。

(10)　サドル分水栓穿孔箇所については、密着コアを使用すること。

(11)　直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。

(12)　表示帯(管明示シート)は、15cm 幅 2 倍折の水道を明記したエコマーク認定品を使用すること。

(13)　管明示テープは、5 cm幅の水道用(青色)、年号(工事発注年度)を明記したエコマーク認定品を使用すること。(導水管は黄色無地を併用)

4.2（土木材料の規格）

本工事に使用する土木材料は、以下に示す規格及び設計図書に品質規格を規定されたものを除き、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に示す品質規格に適合したもの、またはこれと同等以上の品質を有するものとする。

(1)　スクリーニングスは、JIS　A5001　F-2.5 とする。ただし、監督員と協議のうえ、砂を使用する場合は、海砂(洗砂)とする。

(2)　再生砕石は、路盤部分は RC-30 とし、その他は RC-40 とする。

(3)　粒調砕石は、M-30 とする。

(4)　再生密粒度アスファルトは、最大粒径 13 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

(5)　再生粗粒度アスファルトは、最大粒径 20 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

(6)　再生アスファルト安定処理混合物は、最大粒径 25 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

4.3（水道材料の確認）

1　受注者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。

2　現地確認・試験掘削の結果等を十分反映させ、購入するものとする。

3　仮給水管切替は、現地確認により既設給水管の口径等を十分把握し、反映させるものとする。

4　支給材料については、監督員と受注者が確認した後、受領し、支給品受領書(様式 15) を提出すること。

5　管布設工事

5.1（配管技能者）

1　受注者は、鋳鉄管布設工事に先立ち、当該工事に適する下記の配管技能者の登録証、受講証等を施工体制台帳に添付すること。配管技能者とは、日本水道協会の配水管技能登録者(一般登録・耐震登録・大口径)又は、各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者とする。日本水道協会の配管技能登録者の場合、一般登録はＴ・Ｋ形管等の一般継手（φ450 ㎜以下)、耐震登録はＮＳ・ＧＸ形管等の耐震継手（φ450 ㎜以下)、大口径は一般継手と耐震継手（全口径）を配管出来る技能を有するものとする。各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者の場合、管種・口径を指定している受講証については、その管種・口径とし、ＮＳ形・耐震管の受講証については、その口径のＮＳ・ＧＸ形管等の耐震継手及び一般継手を配管出来る技能を有するものとする。

2　受注者は、鋳鉄管を布設するときには、上記の配管技能者が、当該工事で使用する管種・口径の施工要領等に従って施工すること。

3　受注者は、給水管の施工がある場合には、明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施行基準（明石市水道局）に基づき監督・指導すること。

4　受注者は、上記以外の管種（配水用ポリエチレン管・鋼管等）の施工、または、管更生等が含まれる場合、それぞれの資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。

5.2（工種の制限）

工事の確実性、周辺への水の濁り等を考慮して、金曜日、土曜日及び祝日の前日には、工種を制限しているので監督員と協議し施工すること。

5.3（断水を伴う連絡工事）

1　断水を伴う連絡工事箇所は、監督員立会の上、試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を確認すること。

2　断水を伴う連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を監督員と調整の上行うこと。ただし、断水時間は 13 時 30 分から 16 時を基本とすること。断水時間を極力短縮するために必要な諸設備・機械器具及び車輌等を十分点検し、経験豊富な技術者と作業員を配置すること。

3　断水作業及び管内洗浄作業等に必要な弁栓類操作は、監督員または水道局職員の指導のもと、受注業者及び下請業者が行う、そのために必要な人員を監督員と協議し、確保すること。

4　万が一、連絡工事箇所周辺で濁水及び漏水が起こったときには、水道局職員の指示により周辺家屋への対応をすること。

5.4（広報活動）

1　断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査した資料と、断水のビラを監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。

2　断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水のおそれがある場合は、配布する家屋等を監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の濁水のビラを監督員

が確認したあと、当該家屋に配布すること。

3　上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。

4　受水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

5.5（ボルトの締め付け）

1 ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。

2 インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの 7 割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。

3 トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。

5.6（使用機材）

内面粉体塗装管の分水栓穿孔作業をするときは､先端角度が90°から100°､ねじれ角度が20°から30°の電動式穿孔機を使用すること。

5.7（管の明示）

1　管の識別を明確にするために、管明示テープを使用して、上水道管であることを明らかにすること。

2　表示帯（管明示シート）は、管天より 40cm の位置に丁寧に設置すること。

5.8（仮消火栓）

仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

5.9（仮舗装復旧）

本工事において仮舗装復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。また、水道の仮舗装箇所と分かるように水色塗料で水道マーク表示を行うこと。

5.10（水圧試験）

1　水道管の水圧試験は、水道局職員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。

(1)　通常配管（以下の特殊箇所以外）の場合、試験水圧を 0.75MPa とする。30 分間以上の経過後、低下率 1.0%以内を許容限度とする。

(2)　不断水工事の割Ｔ字管箇所は、試験水圧を 1.25MPa とする。ただし、既設管の状態が悪い場合（ＦＣ管又は表面の腐食等が激しい場合）・ＡＣＰ管・ＶＰ管の場合は、最高試験水圧は 1.0MPa 以下でもよい。5 分間以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

(3)　中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧 0.50MPa を負荷して 5 分経過後に 0.40MPa 以上保持することを確認するものとする。

(4)　管更生の場合は、管更生区間のみで水圧試験を(1)の方法で行い、その後、その区間を含めた仕切弁から仕切弁の水圧試験を再度(1)の方法で行うものとする。ただし、管更生区間

のみの水圧試験にかかる材料（栓、押輪等）等は設計で計上するものとする。

(5)　配水用ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧及び方法を決定する。

2　給水管の水圧試験は、サドル分水栓部分のみ1.75MPaまで加圧し、1分間以上のその状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

5.11（水道メーターの確認）

仮給水管、給水管切替後は水道メーターの逆付けをしてないか確認すること。

6　提出書類

受注者は、工事請負契約に必要な書類を明石市水道局の入札・契約情報のホームページ及び土木請負工事必携(兵庫県県土整備部監修)に記載されている書類を関係部署に提出するほか、下記の書類を監督員に提出すること。ただし、監督員が必要でないと認めた場合は、この限りでない。

1　工事日報

受注者は、契約日から竣工日までの日々の作業において、必要な工種に対して工事日報を作成し、監督員にすみやかに提出しなければならない。工事日報に記入する項目は、表側に年月日、曜日、天気、工事名、工事場所、当初設計延長（口径別)、出来形延長（口径別、日毎延長、累計延長)、作業内容、使用材料（品名、形質、数量等）を、裏側に日毎の作業内容の図示（下記竣工図(水道管)・(給水管)と同様）とする。また、白色ケント紙110kg（Ａ４サイズ）で作成すること。

2　竣工図(水道管)

受注者は、竣工図（兼出来形図）を作成し、工事完成図書に添えて提出すること。竣工図（兼出来形図）には次にあげるものをもって構成する。

(1)　配水管平面図（他の埋設管等で切り回している箇所等は別途詳細図）は、布設位置、標準断面図、土被り、延長（管種・口径毎)、防護工等を以下のことに注意して記入すること。

a. 必ず方位を記入すること。

b. 直管、切管、異形管、弁栓類等の種別及び材質を表示すること。切管等の数値はmm表示とし、整数１位を四捨五入とし、２位表示とすること。

c. 特殊押輪、普通押輪、G-Link、ライナの区別を表示すること。

d.配管材料記号、引出線及び部材名等を赤色で表示すること。

(2)　消火栓、空気弁、仕切弁、その他監督員の指示する箇所等についてはオフセット測量し、撤去されるおそれの無いマンホールの中心点や地先境界の角、その他３点以上の照点を定め水平距離を測定し記入する。

(3)　仕切弁・バタフライ弁・消火栓・空気弁・補修弁・不断水等の弁栓類関係について、使用したメーカー名を記入すること。

(4)　掘削断面に他企業埋設管（下水管，ガス管等）が出てきた箇所については、竣工図の断面箇所図に他企業埋設管の位置，口径がわかるように図示すること。

3　竣工図(給水管)

受注者は、竣工図を作成し、白色ケント紙110kg（Ａ３サイズ）を工事完成図書に添えて提出すること。竣工図には次にあげるものをもって構成する。

平面図には、口径、延長、家屋番号を、表には家屋番号、水道番号、家屋名、サドル分水栓、

本管深さ、ＰＰユニオン、ＰＰエルボ、ＶＰユニオン、止水栓、ボックス、ＰＰパイプ、本管止水距離、備考（接続した管種）を記入すること。

４　その他提出書類

書類名	提出時期	提出部数	備考
施工計画書	工事実工程着手前	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
使用材料確認願 土木工事承諾願	工事実工程着手前	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
施工体制台帳	下請負契約後速やかに	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
工事日報	施工日以後速やかに	1 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成
竣工図(原図)	竣工時	1 部	JPEG(A1・カラー・解像度 200dpi 以上)で保存した CD を提出
竣工図(焼き図)(原則 A1 サイズ)	竣工時	4 部	上記竣工図折図で提出 白紙(カラー)・折図(横 15cm×縦 23cm)

その他明石市水道事業工事検査規程及び明石市水道事業施設等工事検査要綱に基づき必要書類を提出すること。CD 及び DVD で提出するものは、工事名・内容が分かるようにすること。

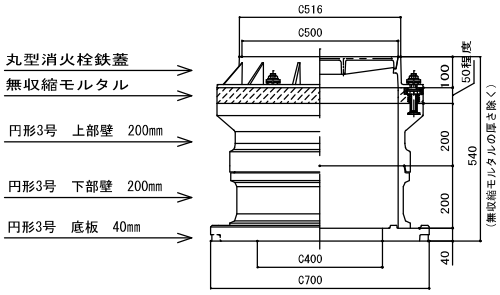
＊　竣工図書は、Ｂ４Ａ４サイズの文書保存箱で工事名･施工年度等を明示して納品すること。

（施行期日）

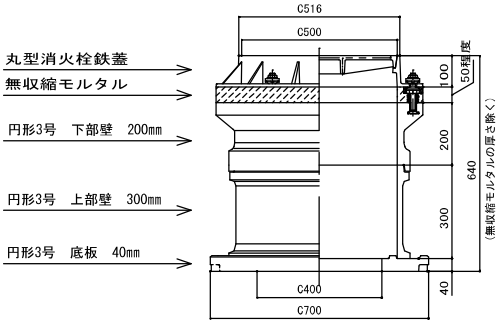
この仕様書は、2022 年 9 月 1 日より施行する。

円形3号ボックス組合せ図(標準図)

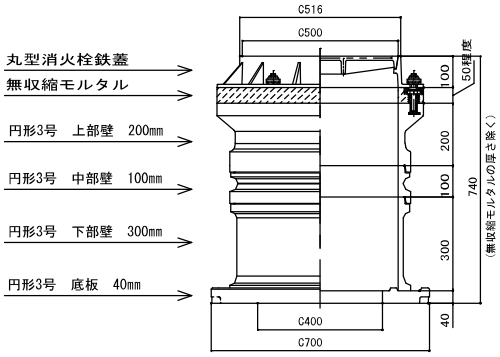
製品高さ　Ｈ＝５４０



製品高さ　Ｈ＝６４０



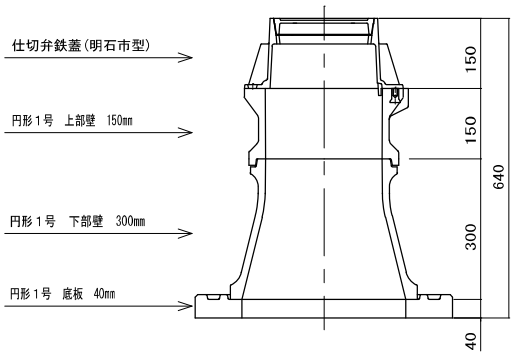
製品高さ　Ｈ＝７４０



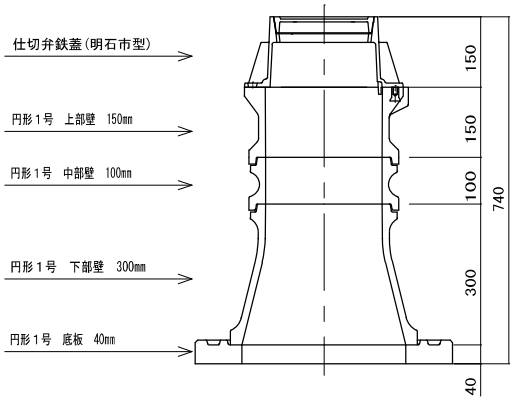
図名	組合せ図(標準図)
種類	円形3号ボックス
明石市水道部	

円形1号ﾎﾞｯｸｽ組合せ図(標準図)

製品高さH=640



製品高さH=740



図名	組合せ図(標準図)
種類	円形1号ボックス
明石市水道部	

使用材料登録業者一覧表

材料分類	適用規格等	登録業者名
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管直管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	GX形S種管(溝切するときは1種管) NS形1種管	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱、㈱ハズ、 ㈱岡本、朝日鋳工㈱、梅原工業㈱、九州鋳鉄管㈱、 大成機工㈱、クロダイト工業㈱、㈱イトー鋳造
水道用ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JIS B 2062又はJWWA B 120 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、内ねじ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、角田鉄工㈱、宮部鉄工㈱
水道用ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 138 (内面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、前澤工業㈱、 ㈱清水鐵工所、㈱清水合金製作所、清水工業㈱、
水道用地下式消火栓 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 103 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ケレップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用急速空気弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 137 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112)	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 千代田工業㈱、宮部鉄工㈱、 協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用補修弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 126 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ボール式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、角田鉄工㈱、協和工業㈱
伸縮可とう管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、クロダイト工業㈱、 日本ヴィクトリック㈱
不断水割T字管及び不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ (接水部ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研
特殊継輪 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
特殊押輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
K形ゴム輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱
ゴム輪(K形以外)、パッキン(LSP形以外)		大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱、㈱クボタ ㈱栗本鐵工所、興和ｺﾞﾑ工業㈱、三報ゴム㈱、 日本鋳鉄管㈱、サンエス護謨工業㈱、協和工業(株)
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材(LSP形)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
ボルト・ナット(緩み防止仕様以外) (GX形、NS形、ﾌﾗﾝｼﾞ形はｽﾃﾝﾚｽ製 、K形は酸化被膜製)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱岡本、クロダイト工業㈱、 ㈱水研、㈱田中、㈱エスティム、日本鋳鉄管㈱、協和工業㈱ 日本鋲螺㈱
ボルト・ナット(SUS304製　緩み防止仕様)		協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管用 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ 明示テープ(エコ認定製品)	JWWA K 158 JDPA Z 2005	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、三報ゴム㈱、 サンエス護謨工業㈱、ヨツギ㈱
鉄蓋・受枠	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、長島鋳物㈱、スズテック㈱、 ㈱ダイモン
ボックス(ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製)	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、三国プラスチック㈱、長島鋳物㈱ スズキ鋳鉄工業㈱、㈱ダイモン
仮配管	SUS管	明和工業㈱、㈱多久製作所
	PE管	㈱光明製作所

φ75配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)		本数	延長	備考
直管	(L= 4.0 m)	28	112.000	
切管使用本数		3	11.500	
甲切管	DGX-P-S	1	1.000	
	DGX-G-S	1	2.100	
乙切管①	DGX-G-S	3	7.400	
乙切管 ②	DG-G-S	1	1.000	

名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
DGX-S	直管関係	φ75		31	123.500	
DGX	挿受片落管	φ100×φ75	0.410	1	0.410	
DGX	曲管	φ75×45°	0.397	3	1.191	
DGX	両受曲管	φ75×45°	0.137	1	0.137	
DGX	ﾌﾗﾝｼﾞ付きT字管	φ75×φ75	0.440	2	0.880	
DGX	継ぎ輪	φ75	0.190	1	0.190	
GX形	ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁(受挿し)	φ75	0.490	2	0.980	
	仕切弁室(明石V型)	H=840		2		
	ｹﾚｯﾌﾟ式単口消火栓(浅埋形)	φ75×φ65		2		
	ﾌﾗﾝｼﾞ短管	φ75×150		2		
	補修弁(ｷｬｯﾌﾟ式)	φ75×100		2		
	ﾌﾗﾝｼﾞ接合補強具(LSP形)	φ75		6		消火栓
	消火栓室(明石Ⅳ型・丸型 車道)	H=740		2		
GX形	P-Linkｾｯﾄ	φ75	0.180	1	0.180	
GX形	G-Linkｾｯﾄ	φ75		6		
GX形	接続部品	φ75		7		
GX形	ライナ	φ75		8		
DGX	帽	φ75		2		
DGX	栓(異形管用)(損料)	φ75		2		
	表示帯			127.5		
	ポリエチレンスリーブ	φ75		127.5		
	管明示テープ(区間距離×1.33／20＝)			9		
管材料延長計				127.468		

DGX-S φ75切管調書

直管 4.0 m

切管番号	延長	甲切管	乙切管②			乙切管 ①	管延長	残管延長	切断数	G-Link	P-Link	特殊押輪	
			1	2	3							K形	A形
1	4.00	DGX-P 1.00	DG- G 1.00			DGX-G 1.70	3.70	0.30	3	3	1		
2	4.00	DGX-G 2.10				DGX-G 1.90	4.00		1	2			
3	4.00					DGX-G 3.80	3.80	0.20	1	1			
						既設管接続箇所							
計							11.50	0.50	5	6	1		

φ75配水管(手間)

名称・形質等		数量	摘要
鋳鉄管吊込み据付工	φ75	126.5 m	区間距離-仕切弁延長計
鋳鉄管切断工	φ75	5 口	
仕切弁設置工	φ75	2 箇所	
仕切弁ﾎﾞｯｸｽ設置工	H=840	2 箇所	
消火栓設置工		2箇所	フランジ継手工φ75 1口含む
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75	4 口	消火栓箇所
消火栓ﾎﾞｯｸｽ設置工	H=740	2 箇所	
GX継手工(直管接合)	φ75	30 口	
GX継手工(異形管接合 P-Link使用)	φ75	1 口	
GX継手工(異形管接合 G-Link使用)	φ75	6 口	
GX継手工(異形管接合)	φ75	7 口	
栓設置撤去工	φ75	2 口	
帽設置工	φ75	2 口	
管明示シート工		127.5 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ75	127.5 m	
管明示テープ工	φ75	127.5 m	

φ75配水管土工集計表

	全体	土工無	土工1
延長 箇所等	127		127.0
会所掘 箇所	12		12

工　　種	合計 数量	**採用 数量**	単位	土工1
舗装版切断（As） t≦15cm	254.00	**250**	m	254.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	76.20	**76**	m2	76.20
掘削積込工	79.75	**80**	m3	79.75
残塊処分工(As)	3.81	**4**	m3	3.81
残塊処分工(土砂)	79.75	**80**	m3	79.75
仮復旧工(密粒度(再)(13))	76.20	**76**	m2	76.20
路盤工(粒調砕石） t=10cm	76.20	**76**	m2	76.20
埋戻工(再生砕石）	41.91	**42**	m3	41.91
埋戻工(スクリーニングス)	30.31	**30**	m3	30.31

φ75配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石　10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-Sφ75	0.093	0.007

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
127.0	0.60	0.90	0.05	12	1.10	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鋳鉄管φ75	56.9	0.093	0.007
鋳鉄管φ100	53.0	0.118	0.011

工種	施工厚	計算式						数量
		幅等		厚		延長	箇所等	
舗装版切断（As）　t≦15cm	0.05					127.0	× 2	254.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.60			×	127.0		76.20
掘削積込工	1.05	0.60	×	1.05	×	127.0		79.75
		＋ 0.60	×	0.20	×	0.50	× 12	
(管断面控除)		ー 0.007			×	56.9		
		ー 0.011			×	53.0		
残塊処分工(As)		76.20	×	0.05				3.81
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量						79.75
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60			×	127.0		76.20
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.60			×	127.0		76.20
埋戻工(再生砕石)	0.55	0.60	×	0.55	×	127.0		41.91
埋戻工(スクリーニングス)	0.40	0.60	×	0.40	×	127.0		30.31
		＋ 0.60	×	0.20	×	0.50	× 12	
(管断面控除)		ー 0.007			×	127.0		

φ100配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)			本数	延長	備考
直管	(L= 4.0 m)		14	56.000	
切管使用本数			1	2.300	
甲切管	DGX-P-S		1	2.300	

名称・形質等			管長	当初 数量	当初 延長	備考
DGX-S	直管関係	φ100		15	58.300	
DGX	二受T字管	φ100×φ75	0.440	1	0.440	
DGX	両受短管	φ100	0.020	1	0.020	
	特殊分岐管用中栓	φ100		1		
GX形	P-Linkｾｯﾄ	φ100	0.180	1	0.180	
GX形	接続部品	φ100		3		
DGX	栓(異形管用)	φ100		1		
DGX	帽	φ100		1		
	表示帯			58.9		
	ポリエチレンスリーブ	φ100		58.9		
	管明示テープ(区間距離×1.42／20＝)			5		
管材料延長計				58.940		

DGX-Sφ100切管調書

直管　4.0 m

切管番号	延長	甲切管	乙切管②			乙切管 ①	管延長	残管延長	切断数	G-Link	P-Link	特殊押輪	
			1	2	3							K形	A形
1	4.00	DGX-P　2.30					2.30	1.70	1		1		
						既設管接続箇所							
計							2.30	1.70	1		1		

φ100配水管(手間)

名称・形質等		数量	摘要
鋳鉄管吊込み据付工	φ100	58.9 m	区間距離-仕切弁延長計
鋳鉄管切断工	φ100	1 口	
GX継手工(直管接合)	φ100	15 口	
GX継手工(異形管接合 P-Link使用)	φ100	1 口	
GX継手工(異形管接合)	φ100	3 口	
中栓設置工	φ100	1 口	特殊分岐管
栓設置工	φ100	1 口	
帽設置工	φ100	1 口	
管明示シート工		58.9 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ100	58.9 m	
管明示テープ工	φ100	58.9 m	

φ100配水管土工集計表

	全体	土工無	土工1
延長 箇所等	58.9		58.9
会所掘 箇所	3		3

工　　種	合計 数量	**採用 数量**	単位	土工1
舗装版切断（As） t≦15cm	117.80	**120**	m	117.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	35.34	**35**	m2	35.34
掘削積込工	37.99	**38**	m3	37.99
残塊処分工(As)	1.77	**1.8**	m3	1.77
残塊処分工(土砂)	37.99	**38**	m3	37.99
仮復旧工(密粒度(再)(13))	35.34	**35**	m2	35.34
路盤工(粒調砕石） t=10cm	35.34	**35**	m2	35.34
埋戻工(再生砕石）	19.44	**19**	m3	19.44
埋戻工(スクリーニングス）	14.37	**14**	m3	14.37

φ100配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石　10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-Sφ100	0.118	0.011

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
58.9	0.60	0.90	0.05	3	1.12	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断（As）　t≦15cm	0.05			58.9 ×	2	117.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.60	×	58.9		35.34
掘削積込工	1.07	0.60 ×	1.07 ×	58.9		37.99
		＋ 0.60 ×	0.20 ×	0.50 ×	3	
(管断面控除)						
残塊処分工(As)		35.34 ×	0.05			1.77
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				37.99
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	58.9		35.34
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.60	×	58.9		35.34
埋戻工(再生砕石)	0.55	0.60 ×	0.55 ×	58.9		19.44
埋戻工(スクリーニングス)	0.42	0.60 ×	0.42 ×	58.9		14.37
		＋ 0.60 ×	0.20 ×	0.50 ×	3	
(管断面控除)		ー 0.011	×	58.9		

仮配水管数量計算書(材料・手間)1

仮配水管総延長及び使用個数

口径別	総延長（土工延長）（m）	仮バルブ（個）	仮消火栓（個）	仮給水管取出(箇所)						仮マルチジョイント(個)
				20	25	30	40	50	75	
全口径	124.0	5	3	15			1			
50	13.7	1	1	2			1			
80	110.3	4	2	13						
既設鋳鉄管等より仮給水取出										

口径別材料(賃料)及び設置撤去手間

種類	口径	材料			手間	
					設置	撤去
仮配管材	φ50	12.4			12.4	12.4
仮バルブ	φ50	0.210	1	0.210	1	1
仮消火栓	φ50	0.612	1	0.612	1	1
仮給水管取出し	φ50×20、25	0.150	2	0.300	2	2
	φ50×30、40、50	0.180	1	0.180	1	1
仮配管材	φ80	106.8			106.8	106.8
仮バルブ	φ80	0.269	4	1.076	4	4
仮消火栓	φ80	0.226	2	0.452	2	2
仮給水管取出し	φ80×20、25	0.150	13	1.950	13	13

仮給水管(材料・手間)

仮給水管切替材料

箇所数計	16

口径	箇所数	手間		備考
		設置	撤去	
20	15	15	15	
40	1	1	1	

HIVP管(損料)

延長計 (m)	45.3

口径	延長	採用 数量	手間	
			設置	撤去
20	42.30	42.3	42.3	42.3
40	3.00	3.0	3.0	3.0

仮給水管個別集計表

箇所数	仮給水管 水平延長	土工延長
16	45.3	45.3

	当初						
家屋 番号	仮給水元 管種	口径		仮給水管 水平延長 (m)	土工 延長 (m)	道路種別	備考
		仮給 水元	仮給 水管				
7	仮配水管	80	20	2.8	2.8	市車5	
8	仮配水管	80	20	4.1	4.1	市車5	
9	仮配水管	80	20	4.1	4.1	市車5	
10	仮配水管	80	20	4.1	4.1	市車5	
11	仮配水管	80	20	4.1	4.1	市車5	
12	仮配水管	50	20	4.2	4.2	市車5	
13	仮配水管	50	40	3.0	3.0	市車5	
14	仮配水管	50	20	1.3	1.3	市車5	
15	仮配水管	80	20	2.5	2.5	市車5	
16	仮配水管	80	20	2.5	2.5	市車5	
17	仮配水管	80	20	2.0	2.0	市車5	
18	仮配水管	80	20	2.8	2.8	市車5	
19	仮配水管	80	20	0.9	0.9	市車5	
20	仮配水管	80	20	2.8	2.8	市車5	
21	仮配水管	80	20	2.8	2.8	市車5	
22	仮配水管	80	20	1.3	1.3	市車5	

仮配水管土工種別表

分岐元口径	延長（m）	As1層(市車) As5cm	
合計	124.0	124.0	
50		土工1	
	13.7	13.7	
80		土工2	
	110.3	110.3	

仮給水管土工種別表

合計		土工1	
		市車道As5cm計	
箇所	延長	箇所	延長
16	45.3	16	45.3

仮配水管・仮給水管土工集計表

工　　種	合計数量	採用数量	単位	小計	
				設置	撤去
舗装版切断（As）t≦15cm	338.60	**340**	m	338.60	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	135.44	**135**	m2	67.72	67.72
掘削積込工	21.89	**22**	m3	21.89	
掘削積込工(補助的作業なし)	11.97	**12**	m3		11.97
掘削(人力)	9.34	**9**	m3		9.34
残塊処分工(As)	6.78	**7**	m3	3.39	3.39
残塊処分工(土砂)	28.41	**28**	m3	21.89	6.52
仮復旧工(密粒度(再)(13))	135.44	**135**	m3	67.72	67.72
路盤工(粒調砕石) t=10cm	67.72	**68**	m2		67.72
埋戻工(再生砕石)	9.25	**9**	m3	9.25	
埋戻工(流用土)	13.31	**13**	m3		13.31
埋戻工(スクリーニングス)	12.06	**12**	m3	12.06	

工　　種	設置											
	小計	仮配水管							仮給水管			
		土工1	土工2	土工3	土工4	土工5			土工1	土工2	土工3	土工4
舗装版切断（As）　t≦15cm	338.60	27.40	220.60						90.60			
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	67.72	5.48	44.12						18.12			
掘削積込工	21.89	1.92	15.44						4.53			
残塊処分工(As)	3.39	0.27	2.21						0.91			
残塊処分工(土砂)	21.89	1.92	15.44						4.53			
仮復旧工(密粒度(再)(13))	67.72	5.48	44.12						18.12			
埋戻工(再生砕石)	9.25	0.82	6.62						1.81			
埋戻工(スクリーニングス)	12.06	1.07	8.27						2.72			

	撤去											
工　　種	小計	仮配水管							仮給水管			
		土工1	土工2	土工3	土工4	土工5			土工1	土工2	土工3	土工4
舗装版取壊し積込工　t≦10cm	67.72	5.48	44.12						18.12			
掘削積込工(補助的作業なし)	11.97	0.82	6.62						4.53			
掘削(人力)	9.34	1.07	8.27									
残塊処分工(As)	3.39	0.27	2.21						0.91			
残塊処分工(土砂)	6.52	0.37	2.63						3.52			
仮復旧工(密粒度(再)(13))	67.72	5.48	44.12						18.12			
路盤工(粒調砕石) t=10cm	67.72	5.48	44.12						18.12			
埋戻工(流用土)	13.31	1.37	11.03						0.91			

仮配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石 10cm	

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ50	0.002	13.7	0.40	0.40	0.05	0.20	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≦15cm	0.05			13.7 ×	2	27.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.40	×	13.7		5.48
掘削積込工	0.35	0.40 ×	0.35 ×	13.7		1.92
残塊処分工(As)		5.48 ×	0.05			0.27
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				1.92
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40	×	13.7		5.48
埋戻工(再生砕石)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	13.7		0.82
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.40 × － 0.002	0.20 × ×	13.7 13.7		1.07

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.40	×	13.7		5.48
掘削積込工(補助的作業なし)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	13.7		0.82
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.40 × － 0.002	0.20 × ×	13.7 13.7		1.07
残塊処分工(As)		5.48 ×	0.05			0.27
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		0.82 ＋	1.07 －	1.37 ÷	0.9	0.37
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40	×	13.7		5.48
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.40	×	13.7		5.48
埋戻工(流用土)	0.25	0.40 ×	0.25 ×	13.7		1.37

仮配水管(土工2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石 10cm	

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ80	0.005	110.3	0.40	0.40	0.05	0.20	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≦15cm	0.05			110.3 ×	2	220.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.40	×	110.3		44.12
掘削積込工	0.35	0.40 ×	0.35 ×	110.3		15.44
残塊処分工(As)		44.12 ×	0.05			2.21
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				15.44
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40	×	110.3		44.12
埋戻工(再生砕石)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	110.3		6.62
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.40 × － 0.005	0.20 × ×	110.3 110.3		8.27

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.40	×	110.3		44.12
掘削積込工(補助的作業なし)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	110.3		6.62
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.40 × － 0.005	0.20 × ×	110.3 110.3		8.27
残塊処分工(As)		44.12 ×	0.05			2.21
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		6.62 ＋	8.27 －	11.03 ÷	0.9	2.63
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40	×	110.3		44.12
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.40	×	110.3		44.12
埋戻工(流用土)	0.25	0.40 ×	0.25 ×	110.3		11.03

仮給水管　土工1

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調砕石　10cm	

掘削断面

仮給水延長	仮給掘削幅	掘削深(H)	スクリーニングス厚	既設舗装厚
45.3	0.40	0.30	0.15	0.05

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As)　t≦15cm	0.05	45.3 ×	2			90.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.40	×	45.3		18.12
掘削積込工	0.25	0.40 ×	0.25 ×	45.3		4.53
残塊処分工(As)		18.12 ×	0.05			0.91
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				4.53
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40	×	45.3		18.12
埋戻工(再生砕石)	0.10	0.40 ×	0.10 ×	45.3		1.81
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	45.3		2.72

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.40	×	45.3		18.12
掘削積込工(補助的作業なし)	0.25	0.40 ×	0.25 ×	45.3		4.53
残塊処分工(As)		18.12 ×	0.05			0.91
残塊処分工(土砂)　　(流用土控除)		4.53	ー	0.91 ÷	0.9	3.52
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40	×	45.3		18.12
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.40	×	45.3		18.12
埋戻工(流用土)	0.05	0.40 ×	0.05 ×	45.3		0.91

既設管撤去

鋳鉄管吊込み撤去工

口径	延長 (m)	撤去重量 (t)	土工延長 計						充填工 (㎥)
合計	109.9	2.3							0.7
75 0.018 t/m	56.9	1.03							0.1
100 0.023 t/m	53.0	1.22							0.6

鋳鉄管(既設管)撤去切断工

口径	切断箇所 計 (口)	既設管と 切断にて接 続箇所(口)	既設管連 続場所の 切断箇所 (口)	計算式
75	20	1	19	56.9/3
100	19	1	18	53/3

継手取り外し工

口径	特殊押輪	異形管(GX)
100		1

仕切弁関係

口径	仕切弁 (不断水バルブ) (基)	仕切弁ﾎﾞｯｸｽ (箇所)
75	1	2
100	1	1
合計	2	3

鉄蓋受枠部14kg/箇所
ﾎﾞｯｸｽ部41kg/箇所

消火栓関係

口径	消火栓 (基)	消火栓 ﾎﾞｯｸｽ(箇 所)
75	1	1
100	1	1
合計	2	2

鉄蓋受枠部50kg/箇所
ﾎﾞｯｸｽ部92kg/箇所

	管類	仕切弁関係	消火栓関係	計(t)	運搬回数
スクラップ処分	2.3	0.028	0.100	2.5	2
廃プラスチック類		0.123	0.184	0.3	1

舗装復旧関係

※採用面積について下水道整備課と按分する

市道車道As1層(t=5cm)

施工面積	採用面積
842.3	417

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	417.0	417.0	**417**	m2
残塊処分工(As)		417.0 × 0.05	20.85	**21**	m3
不陸整正工(粒調砕石)	0.03	417.0	417.0	**417**	m2
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-3)	0.05	417.0	417.0	**417**	m2

県道車道As3層式20cm

施工面積	採用面積	仮復旧面積
8.50	9	1.0

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版破砕（As）15＜t≦35cm	0.2	9.0 × 0.20	1.8	**2**	m3
掘削積込工	0.15	1.0 × 0.15	0.15	**0.2**	m3
残塊処分工(As)		(9.0−1.0) × 0.20 + 1.0 × 0.05	1.7	**2**	m3
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量	0.15	**0.2**	m2
不陸整正工(補充材あり)		9.0	9.0	**9**	m2
舗装工(瀝青安定処理(再)(25)、PK−3)	0.10	9.0	9.0	**9**	m2
舗装工(粗粒度(再)(20)、PK−3)	0.05	9.0	9.0	**9**	m2
舗装工(密粒度(再)(13)、PK−4)	0.05	9.0	9.0	**9**	m2

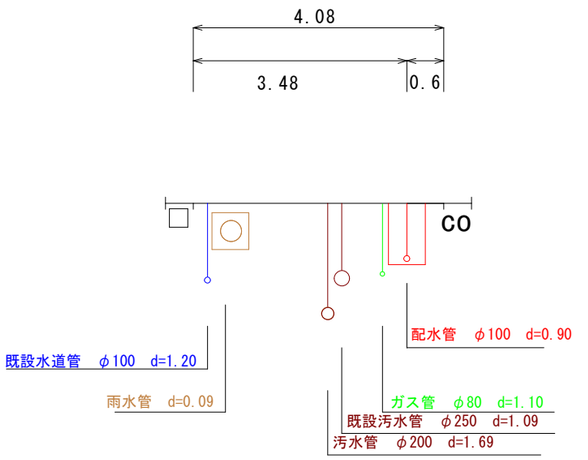
区画線関係

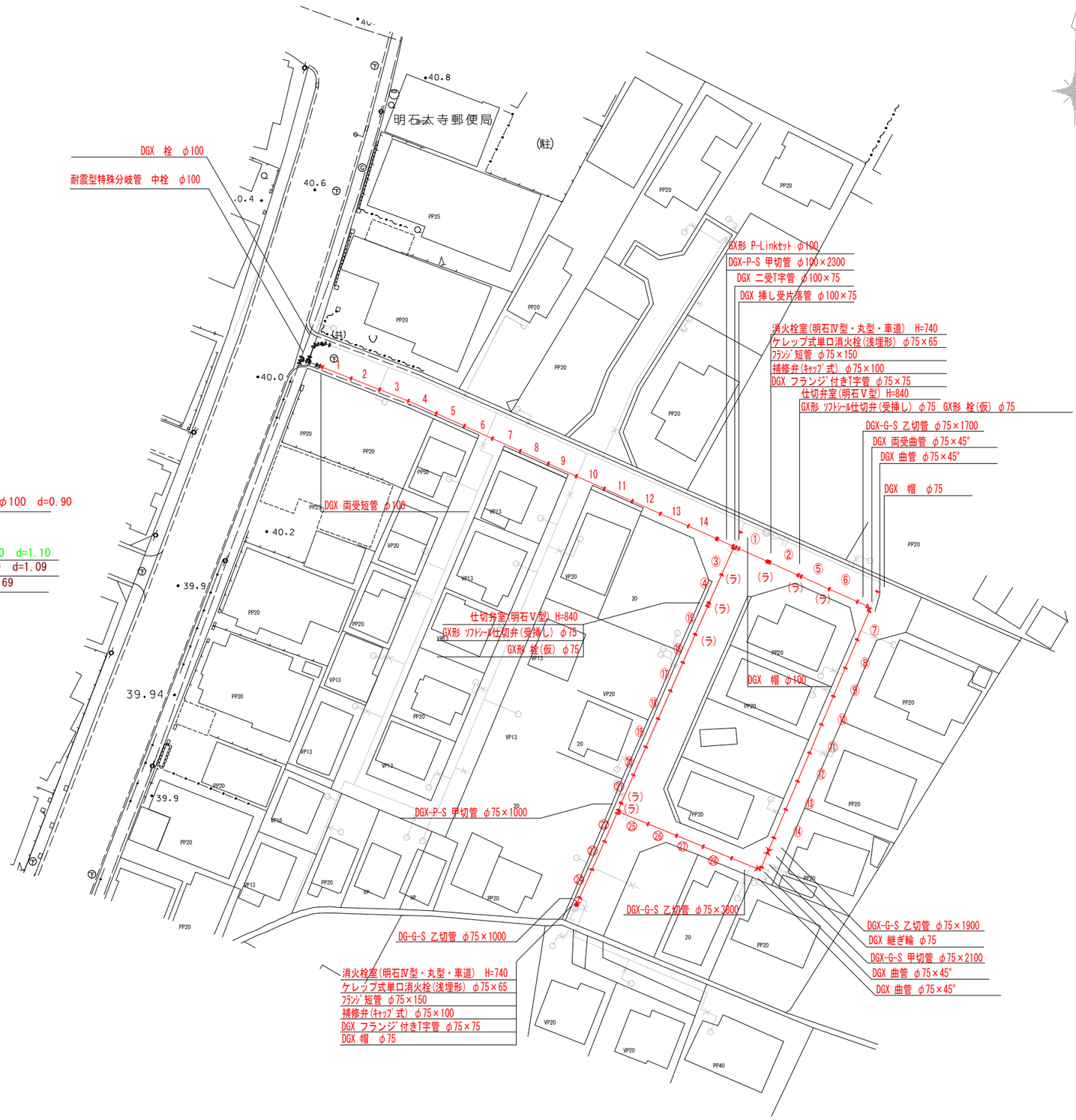
舗装部

工種	細別	計算式	数量	採用数量	単位
実線 W=15cm　黄	消火栓廻り	2.2 × 2	4.4	4	m
			合計延長	4	m

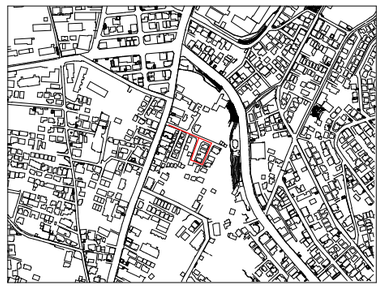
配水管布設替平面図　S=1/300

標準断面図 1/50





位 置 図　S = 1/ 5000

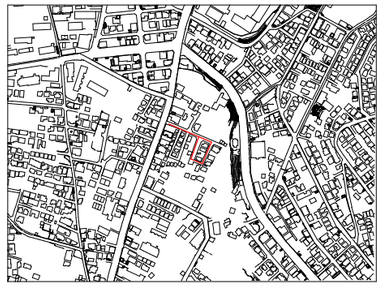


DCIP-GX-S	φ 75	127.5m
DCIP-GX-S	φ100	58.9m

図　番	1 / 4		令和4年度
工 事 名	東野町地内配水管布設替工事		
図　種	位置図・断面図 配水管布設替平面図		
場　所	明石市東野町地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

仮配水管平面図　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000



仮配水管布設工　総括

口径	As1層部	合計(m)
φ50	13.7	13.7
φ80	110.3	110.3

仮給水管切替　総括

口径	As1層部	合計(箇所)
φ50×φ20	2	2
φ50×φ40	1	1
φ80×φ20	13	13
総計	16	16

図　　番	2 / 4		令和4年度
工 事 名	東野町地内配水管布設替工事		
図　　種	位置図・仮配水管平面図		
場　　所	明石市東野町地内		
縮　　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

既設管撤去平面図　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000

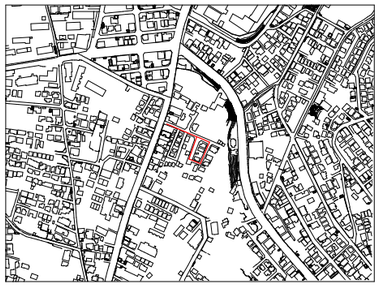
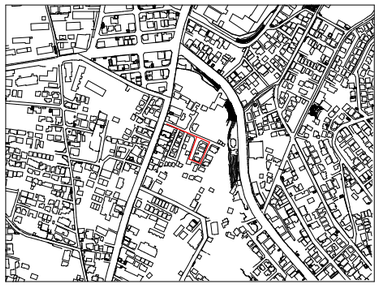


図　　番	3 / 4	施工年度	令和4年度
工 事 名	東野町地内配水管布設替工事		
図　　種	位置図・既設管撤去平面図		
場　　所	明石市東野町地内		
縮　　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

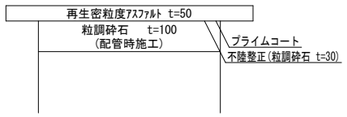
舗装復旧平面図　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000



市道車道 As1層式5cm	
1-1	380.0
1-2	462.3
計	842.3

市道車道
As1層式5cm



県道車道 As3層式20cm	
2-1	8.5
計	8.5

県道車道
As3層式20cm
(舗装復旧時)

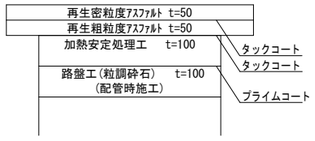
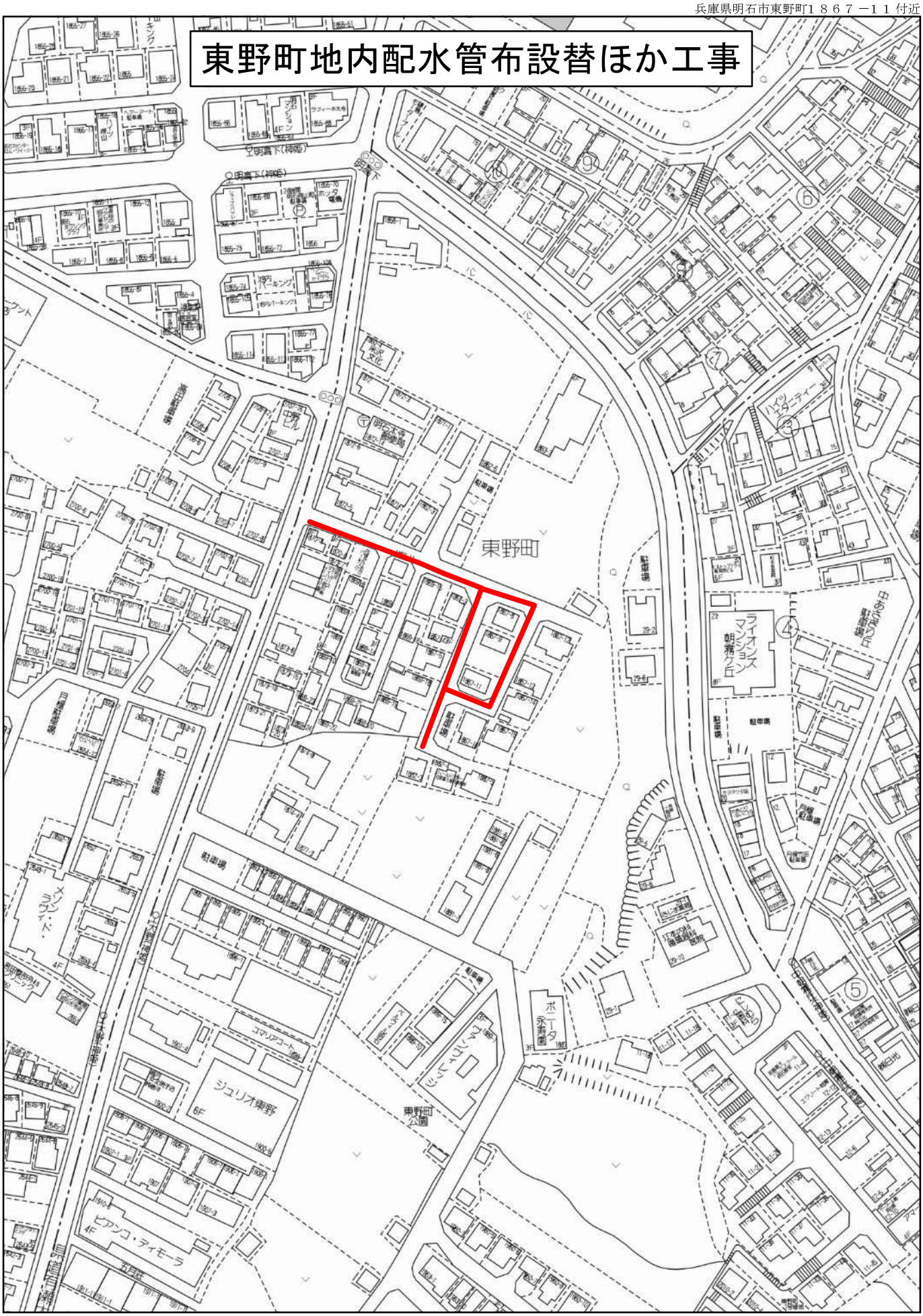


図　番	4 / 4	施工年度	令和4年度
工 事 名	東野町地内配水管布設替工事		
図　種	位置図・舗装復旧平面図		
場　所	明石市東野町地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

兵庫県明石市東野町１８６７－１１付近

東野町地内配水管布設替ほか工事



７０ｍ

禁無断複写複製
明石市役所

Copyright(C)2022 ZENRIN CO., LTD.

見　積　参　考　図　書

年　度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	老朽管整備事業費	
工事番号	04-2207							設計年月日	令和5年　1月12日
着工番号								精算年月日	令和5年　1月12日

施工理由	
施工箇所	明石市東野町地内
工事名称	東野町地内配水管布設替工事
工事概要	配水管布設替工計　L=186.4m 配水管布設替工　φ75　L=127.5m　φ100　L=58.9m 仕切弁設置工　φ75　2箇所 消火栓設置工　φ75　2箇所 仮配水管布設撤去工　1式 既設管撤去工　1式 舗装復旧工　1式

施工方法及び工事期限	(請負)　単価契約 令和5年9月29日まで
支払い方法	前払金　あり（40%以内） 中間前払金　あり（20%以内） 部分払　あり（2回以内）

当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円
増　減	円	増　減	円	増　減	円	増　減	円

総 括 情 報 表

単価適用年月日	0-05.01.01(0)	
	今　　回	前　　回
工種区分 施工地域区分	01　開削工事及び小口推進工事 23　一般交通影響あり（２）	

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
本工事費					
管路(開削)					
φ75管路					
φ75管布設工	1	式			工種　第0001号明細表
φ75管路土工	1	式			工種　第0004号明細表
φ100管路					
φ100管布設工	1	式			工種　第0006号明細表
φ100管布設土工	1	式			工種　第0009号明細表
付帯工		式			

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮配管布設工	1	式			工種　第0011号明細表
仮給水管切替工	1	式			工種　第0015号明細表
既設管撤去工	1	式			工種　第0018号明細表
舗装復旧工	1	式			工種　第0020号明細表
区画線工	1	式			工種　第0023号明細表
交通誘導員設置	1	式			工種　第0025号明細表
直接工事費計					
共通仮設費計					
準備費		式			

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
試掘調査	1	式			工種　第0028号明細表
技術管理費		式			
通水試験費	1	式			工種　第0029号明細表
共通仮設費率分		式			
純工事費計					
現場管理費		式			
工事原価計					
一般管理費等		式			
スクラップ控除		式			

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
スクラップ控除	1	式			工種　第0030号明細表
工事価格計					
消費税相当額		式			
総　計					

φ75管布設工

工 種 明 細 表

工種　第0001号明細表

名称・規格		数量	単位	単価	金額	備考
材料		(　1　)	式			工種　第0002号明細表
手間		(　1　)	式			工種　第0003号明細表
	合計	1	式			

材料

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
DGX-S 直管 φ 75×4000 ｺﾞﾑ輪・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ(ﾎﾙﾀﾞｰ含) 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	31	本			K 管材費
DGX 挿し受片落管 φ100× 75 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 曲管 φ 75×45° ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	3	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ 75×45° ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX ﾌﾗﾝｼﾞ付きT字管 φ 75× 75 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX 継ぎ輪 φ 75 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費
GX形ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁(受挿し) φ 75 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装	2	基			K 管材費
仕切弁室(明石Ｖ型)(H=840) 鉄蓋含む	2	組			施工　第0-0023号内訳表
ｹﾚｯﾌﾟ式単口消火栓(浅埋形) φ75×65 JWWA B 103,地下式,単口式,0.75MPa FCD 内外面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	基			K 管材費

材料

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾌﾗﾝｼﾞ短管　φ　75×150 0.75MPa 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	個			K 管材費
補修弁（ｷｬｯﾌﾟ式）φ75×100 JWWA B 126,0.75MPa FCD 内外面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	基			K 管材費
ﾌﾗﾝｼﾞ接合補強具(LSP形)　φ　75 7.5K　LSPﾊﾟｯｷﾝ ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ(SUS304製)緩み防止仕様	6	組			K 管材費
消火栓室(明石Ⅳ型・丸型)(H=740) 鉄蓋及び無収縮ﾓﾙﾀﾙ含む 耐スリップ用　車道	2	組			施工　第0-0024号内訳表
GX形P-Linkｾｯﾄ　φ　75 切管直管受用	1	組			K 管材費
GX形G-Linkｾｯﾄ　φ　75 切管異形管受用	6	組			
GX形接合ｾｯﾄ　φ　75 異形管・V用	7	組			
GX形ﾗｲﾅ　φ　75 ﾗｲﾅﾎﾞｰﾄﾞ含	8	組			K 管材費
DGX 帽　φ　75 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	個			K 管材費

材料

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
DGX 栓(異形管用) φ 75 (損料) 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	2	個			K 管材費
表示帯	127.5	m			
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ75 固定材料含む	127.5	m			施工　第0-0025号内訳表
管明示ﾃｰﾌﾟ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り ｴｺﾏｰｸ認定品	9	巻			
合　　計	1	式			

手間

工 種 明 細 表

工種　第0003号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
鋳鉄管吊込み据付（機械力） 呼び径　75mm以下	126.5	m			施工　第0-0026号内訳表
鋳鉄管(新設管)切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ) ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径75mm	5	口			施工　第0-0028号内訳表
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁　呼び径　100mm以下	2	基			施工　第0-0029号内訳表
円形1号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=840) 鉄蓋設置含む	2	箇所			施工　第0-0030号内訳表
消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む	2	箇所			施工　第0-0036号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm) ＪＷＷＡ 7.5Ｋ	4	口			施工　第0-0037号内訳表
円形3号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=740) 鉄蓋設置含む	2	箇所			施工　第0-0038号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径　75mm) 直管	30	口			施工　第0-0044号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径　75mm) P-Linkの接合	1	口			施工　第0-0045号内訳表

手間

工 種 明 細 表

工種　第0003号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ＧＸ継手接合(呼び径　75mm) G-Linkの接合	6	口			施工　第0-0046号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径　75mm) 異形管	7	口			施工　第0-0047号内訳表
栓設置・撤去工 異形管	2	口			施工　第0-0048号内訳表
帽設置工 G-Linkの接合	2	口			施工　第0-0049号内訳表
管明示シート工	127.5	m			施工　第0-0050号内訳表
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 75mm)	127.5	m			施工　第0-0051号内訳表
管明示テープ工 φ75	127.5	m			施工　第0-0052号内訳表
合　　計	1	式			

φ75管路土工

工 種 明 細 表

工種　第0004号明細表

名称・規格		数量	単位	単価	金額	備考
土工		(　1　)	式			工種　第0005号明細表
	合　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0005号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	250	m			施工　第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	76	m2			施工　第0-0002号内訳表
掘削積込工	80	m3			施工　第0-0053号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔中谷建材㈱〕 運搬距離　L=16.7km	4	m3			施工　第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材㈱〕 運搬距離　L=16.5km	80	m3			施工　第0-0020号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	76	m2			施工　第0-0013号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	76	m2			施工　第0-0011号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->再生切込砕石)	42	m3			施工　第0-0010号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ)	30	m3			施工　第0-0007号内訳表

土工

工 種 明 細 表

工種　第0005号明細表

	名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
	合　　計	1	式			

φ100管布設工

工 種 明 細 表

工種　第0006号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
材料	(1)	式			工種　第0007号明細表
手間	(1)	式			工種　第0008号明細表
合　　計	1	式			

材料

工 種 明 細 表

工種　第0007号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
DGX-S 直管 φ100×4000 ｺﾞﾑ輪・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ(ﾎﾙﾀﾞｰ含) 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	15	本			K 管材費
DGX 二受T字管 φ100× 75 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 両受短管 φ100 ロックリング含 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費
特殊分岐管用中栓　φ100 中栓・栓（蓋）・中栓用特殊ゴム	1	組			K 管材費
GX形P-Linkｾｯﾄ φ100 切管直管受用	1	組			K 管材費
GX形接合ｾｯﾄ　φ100 異形管・V用	3	組			
DGX 栓(異形管用) φ100 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 帽 φ100 内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装	1	個			K 管材費
表示帯	58.9	m			

材料

工 種 明 細 表

工種　第0007号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ100 固定材料含む	58.9	m			施工　第0-0054号内訳表
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50mm 1巻 20m） 年号入り ｴｺﾏｰｸ認定品	5	巻			
合　　計	1	式			

手間

工 種 明 細 表

工種　第0008号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
鋳鉄管吊込み据付（機械力） 呼び径　100mm	58.9	m			施工　第0-0055号内訳表
鋳鉄管(新設管)切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ) ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径100mm	1	口			施工　第0-0056号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径 100mm) 直管	15	口			施工　第0-0057号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径 100mm) P-Linkの接合	1	口			施工　第0-0058号内訳表
ＧＸ継手接合(呼び径 100mm) 異形管	3	口			施工　第0-0059号内訳表
特殊分岐管用中栓設置工　φ100 平日・昼間施工	1	基			
栓設置工　φ１００ 異形管	1	口			施工　第0-0060号内訳表
帽設置工　φ１００ G-Linkの接合	1	口			施工　第0-0061号内訳表
管明示シート工	58.9	m			施工　第0-0050号内訳表

手間

工 種 明 細 表

工種　第0008号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 100mm)	58.9	m			施工　第0-0062号内訳表
管明示テープ工（鋳鉄管布設工） 呼び径100mm×4000mm	58.9	m			施工　第0-0063号内訳表
合　　計	1	式			

φ100管布設土工

工 種 明 細 表

工種　第0009号明細表

名称・規格		数量	単位	単価	金額	備考
土工		(　1　)	式			工種　第0010号明細表
	合　計	1	式			

土工

工 種 明 細 表

工種　第0010号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	120	m			施工　第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	35	m2			施工　第0-0002号内訳表
掘削積込工	38	m3			施工　第0-0053号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔中谷建材㈱〕 運搬距離　L=16.7km	1.8	m3			施工　第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材㈱〕 運搬距離　L=16.5km	38	m3			施工　第0-0020号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	35	m2			施工　第0-0013号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	35	m2			施工　第0-0011号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->再生切込砕石)	19	m3			施工　第0-0010号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ)	14	m3			施工　第0-0007号内訳表

土工

工 種 明 細 表

工種　第0010号明細表

	名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
	合　　計	1	式			

仮配管布設工

工 種 明 細 表

工種　第0011号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮配水管材料	(　1　)	式			工種　第0012号明細表
仮配水管布設手間	(　1　)	式			工種　第0013号明細表
仮配給水管土工	(　1　)	式			工種　第0014号明細表
合　　計	1	式			

仮配水管材料

工 種 明 細 表

工種　第0012号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮配管材(賃料)　φ50	12.4	m			K 管材費
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ(賃料)　φ50	1	基			K 管材費
仮消火栓(賃料)　φ50 仮消火栓,仮ﾁｰｽﾞ80X80,仮ﾚｼﾞｭｰｻｰ80X50 2個	1	基			K 管材費
仮給水管取出(賃料)　φ50×φ20,φ25 仮取出短管	2	箇所			K 管材費
仮給水管取出(賃料)　φ50×φ30,φ40,φ50 仮取出短管,仮V,仮MJ	1	箇所			K 管材費
仮配管材(賃料)　φ80	106.8	m			K 管材費
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ(賃料)　φ80	4	基			K 管材費
仮消火栓(賃料)　φ80 仮消火栓,仮ﾁｰｽﾞ	2	基			K 管材費
仮給水管取出(賃料)　φ80×φ20,φ25 仮取出短管	13	箇所			K 管材費

仮配水管材料

工 種 明 細 表

工種　第0012号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=300) 鉄蓋含む	5	組			施工　第0-0064号内訳表
仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=300) 鉄蓋含む	3	組			施工　第0-0065号内訳表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0013号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮配水管布設撤去工φ50 継手工含む	12.4	m			施工　第0-0066号内訳表
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ設置撤去工φ50 継手工含む	1	基			施工　第0-0069号内訳表
仮消火栓設置撤去工φ50 埋設用、継手工含む	1	基			施工　第0-0071号内訳表
仮給水取出設置撤去工φ50×φ20,25 継手工含む	2	箇所			施工　第0-0074号内訳表
仮給水取出設置撤去工φ50×φ30,40,50 仮ﾊﾞﾙﾌﾞ、仮ﾏﾙﾁｼﾞｮｲﾝﾄ、継手工含む	1	箇所			施工　第0-0076号内訳表
仮配水管布設撤去工φ80 継手工含む	106.8	m			施工　第0-0078号内訳表
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ設置撤去工φ80 継手工含む	4	基			施工　第0-0080号内訳表
仮消火栓設置撤去工φ80 埋設用、継手工含む	2	基			施工　第0-0082号内訳表
仮給水取出設置撤去工φ80×φ20,25 継手工含む	13	箇所			施工　第0-0083号内訳表

仮配水管布設手間

工 種 明 細 表

工種　第0013号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=300) 鉄蓋設置撤去含む	5	箇所			施工　第0-0085号内訳表
仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=300) 鉄蓋設置撤去含む	3	箇所			施工　第0-0088号内訳表
合　　計	1	式			

仮配給水管土工

工 種 明 細 表

工種　第0014号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	340	m			施工　第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	135	m2			施工　第0-0002号内訳表
掘削積込工	22	m3			施工　第0-0053号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	12	m3			施工　第0-0004号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	9	m3			施工　第0-0091号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔中谷建材㈱〕 運搬距離　L=16.7km	7	m3			施工　第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材㈱〕 運搬距離　L=16.5km	28	m3			施工　第0-0020号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	135	m2			施工　第0-0013号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	68	m2			施工　第0-0011号内訳表

仮配給水管土工

工 種 明 細 表

工種　第0014号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）	9	m3			施工　第0-0010号内訳表
埋戻工（埋戻し材->流用土）	13	m3			施工　第0-0092号内訳表
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）	12	m3			施工　第0-0007号内訳表
合　　計	1	式			

仮給水管切替工

工 種 明 細 表

工種　第0015号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮給水管材料	(　1　)	式			工種　第0016号明細表
仮給水管布設手間	(　1　)	式			工種　第0017号明細表
合　　計	1	式			

仮給水管材料

工 種 明 細 表

工種　第0016号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮給水切替材料φ20	15	箇所			施工　第0-0093号内訳表
HIVP管　φ 20 JIS K 6742	42.3	m			K 管材費
仮給水切替材料φ40	1	箇所			施工　第0-0094号内訳表
HIVP管　φ 40 JIS K 6742	3.0	m			K 管材費
合　　計	1	式			

仮給水管布設手間

工 種 明 細 表

工種　第0017号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮給水切替工φ20	15	箇所			施工　第0-0095号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付・撤去 呼び径　20mm	42.3	m			施工　第0-0097号内訳表
仮給水切替工φ40	1	箇所			施工　第0-0098号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付・撤去 呼び径　40mm	3.0	m			施工　第0-0101号内訳表
合　　計	1	式			

既設管撤去工

工 種 明 細 表

工種　第0018号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
既設管撤去手間	(　　1　　)	式			工種　第0019号明細表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0019号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径　75mm以下	56.9	m			施工　第0-0102号内訳表
鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径　100mm	53.0	m			施工　第0-0103号内訳表
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ) ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径75mm	20	口			施工　第0-0104号内訳表
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ) ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径100mm	19	口			施工　第0-0105号内訳表
ＧＸ継手取外し(呼び径 100mm) 異形管	1	口			施工　第0-0106号内訳表
鋳鉄製仕切弁(機械力)撤去 縦型仕切弁　呼び径　100mm以下	2	基			施工　第0-0107号内訳表
既設円形1号ﾎﾞｯｸｽ撤去工 鉄蓋撤去含む	3	箇所			
消火栓(地下式 単口)撤去工 機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む	2	箇所			施工　第0-0114号内訳表
既設円形3号ﾎﾞｯｸｽ撤去工 鉄蓋撤去含む	2	箇所			

工 種 明 細 表

工種　第0019号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
現場発生品・支給品運搬 ｽｸﾗｯﾌﾟ処分	2	回			施工　第0-0121号内訳表
現場発生品・支給品運搬 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ処分	1	回			施工　第0-0122号内訳表
処分費(廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類)	0.3	t			
ﾓﾙﾀﾙ充填工	0.7	m3			施工　第0-0123号内訳表
合　　計	1	式			

舗装復旧工

工 種 明 細 表

工種　第0020号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ｱｽﾌｧﾙﾄ1層式(車道)	(1)	式			工種　第0021号明細表
県道　車道　As3層　t=20cm	(1)	式			工種　第0022号明細表
合　　計	1	式			

工 種 明 細 表

工種　第0021号明細表

	名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
	舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	417	m2			施工　第0-0002号内訳表
	残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔中谷建材㈱〕 運搬距離　L=16.7km	21	m3			施工　第0-0016号内訳表
	不陸整正工(粒調砕石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	417	m2			施工　第0-0125号内訳表
	表層(車道・路肩部) ｔ＝５０mm 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)	417	m2			施工　第0-0127号内訳表
	合　　計	1	式			

県道 車道 As3層 t=20cm

工 種 明 細 表

工種　第0022号明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破砕(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) 撤去厚->15cmを超え35cm以下	2	m2			施工　第0-0128号内訳表
掘削積込工	0.2	m3			施工　第0-0053号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔中谷建材㈱〕 運搬距離　L=16.7km	2	m3			施工　第0-0016号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材㈱〕 運搬距離　L=16.5km	0.2	m3			施工　第0-0020号内訳表
不陸整正工(粒調砕石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	9	m2			施工　第0-0125号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 瀝青安定処理材(再生材) TOP25 ｔ＝１００mm	9	m2			施工　第0-0129号内訳表
基層(車道・路肩部) ｔ＝５０mm 粗粒度ｱｽｺﾝ[再](20)	9	m2			施工　第0-0130号内訳表
表層(車道・路肩部) ｔ＝５０mm 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)	9	m2			施工　第0-0131号内訳表
合　　計	1	式			

区画線工

工 種 明 細 表

工種　第0023号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
一般舗装部	(1)	式			工種　第0024号明細表
合　　計	1	式			

一般舗装部

工 種 明 細 表

工種　第0024号明細表

	名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
	区画線設置［溶融式］ 実線　15cm　t=1.5mm	4	m			施工　第0-0132号内訳表
	合　　計	1	式			

交通誘導員設置

工 種 明 細 表

工種　第0025号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導員	(　　1　　)	式			工種　第0026号明細表
合　　計	1	式			

交通誘導員

工 種 明 細 表

工種　第0026号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導員設置	(　　1　　)	式			工種　第0027号明細表
合　　計	1	式			

交通誘導員設置

工 種 明 細 表

工種　第0027号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導警備員 B	119	人日			施工　第0-0135号内訳表
合　　計	1	式			

試掘調査

工 種 明 細 表

工種　第0028号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
試掘調査工	6	箇所			代価　第0001号内訳表
合　　計	1	式			

通水試験費

工 種 明 細 表

工種　第0029号明細表

	名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
	通水試験費 給水車不要の場合	2	回			施工　第0-0136号内訳表
	合　　計	1	式			

スクラップ控除

工 種 明 細 表

工種　第0030号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
鉄屑 故銑 B	2.5	t			
合　　計	1	式			

試掘調査工

代 価 表

代価　第0001号内訳表

1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	6.0	m			施工　第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	2.0	m2			施工　第0-0002号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	1.9	m3			施工　第0-0004号内訳表
掘削(人力) 土砂	1.0	m3			施工　第0-0006号内訳表
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ)	1.0	m3			施工　第0-0007号内訳表
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石)	1.7	m3			施工　第0-0010号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	2.0	m2			施工　第0-0011号内訳表
仮復旧工［密粒度[再](13)］ 厚 5cm	2.0	m2			施工　第0-0013号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔中谷建材㈱〕 運搬距離　L=16.7km	0.1	m3			施工　第0-0016号内訳表

試掘調査工

代 価 表

代価　第0001号内訳表

1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
残塊処分工(土砂) 〔西川建材㈱〕 運搬距離　L=16.5km	2.9	m3			施工　第0-0020号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)

積算単価算出表

施工　第0-0001号内訳表

［規格１］As舗装版厚->15cm以下　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ 切削深20cm級 [ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式]				ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ [ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式] 20cm級			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R3		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ) 径22ｲﾝﾁ				舗道版切断 ｶｯﾀｰﾌﾞﾚｰﾄﾞ 径22ｲﾝﾁ			
	Z2		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ				ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A B	舗装版種別 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚	=1 =1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下						

施工単価表

施工　第0-0002号内訳表　　頁0-0050/0175

舗装版取壊し積込工

［規格１］舗装厚⇒0cm越え　10cm以下　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			
A　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 B　舗装厚		=3 =1	山積0.28m3 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下		

施工単価表

施工　第0-0004号内訳表　　頁0-0051/0175

掘削積込工(補助的作業なし)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			

掘削(人力)

積算単価算出表

施工　第0-0006号内訳表

［規格１］土砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　m3　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	土質	=1	土砂						
	B	施工方法	=6	現場制約あり						

施工単価表

施工　第0-0007号内訳表

埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ （0～2.5mm）		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=6 =3	ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ ﾊﾞｯｸﾎｳ　山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0010号内訳表　　頁0-0054/0175

埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 （0～30mm･0～40mm）		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=5 =3	再生切込砕石 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0011号内訳表　　頁0-0055/0175

路盤工(粒調砕石)

［規格１］上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm ［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
粒調砕石 （0～25mm･0～30mm･0～40mm）		m3			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			
A　路盤工種別 B　施工幅 C　路盤材の種類		=1 =1 =2	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 粒調砕石		
D　仕上り厚		=6	10cm		

施工単価表

施工　第0-0013号内訳表　　頁0-0056/0175

仮復旧工 ［密粒度[再](13)］

［規格１］厚 5cm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m2　当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13		t			
振動ﾛｰﾗ運転		日			1
振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ運転		日			1
諸雑費		%			
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			

施工単価表

施工　第0-0016号内訳表　　頁0-0057/0175

残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)

［規格１］〔中谷建材㈱〕　［規格２］運搬距離　L=16.7km　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬 処理対象->As塊・Co塊（無筋）	1	m3			施工　第0-0017号内訳表
処分費 ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	1	式			施工　第0-0019号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

施工単価表

施工　第0-0017号内訳表　　頁0-0058/0175

運搬

［規格１］処理対象->As塊・Co塊（無筋）　［規格２］　［ 摘要 ］　10　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転 路面：良好		日			
合　計	10	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ダンプトラック規格 B　積込機械・規格 C　土質区分		=2 =3 =2	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t積 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3 As塊・Co塊（無筋）	（平積0.20m3）	
D　運搬距離(km) E　DID区間 F　路面状態		=16.7 =2 =1	運搬距離(km) DID有 路面：良好		

施工単価表

施工　第0-0019号内訳表　　頁0-0059/0175

処分費

［規格１］ｱｽﾌｧﾙﾄ殻　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=2 =1 =	Ａｓ殻 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工　第0-0020号内訳表

残塊処分工(土砂)

［規格１］〔西川建材㈱〕　［規格２］運搬距離　L=16.5km　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬 処理対象->土砂	1	m3			施工　第0-0021号内訳表
処分費 土 砂	1	式			施工　第0-0022号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

施工単価表

施工　第0-0021号内訳表　　頁0-0061/0175

運搬

［規格１］処理対象->土砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転 路面：良好		日			
合　計	10	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ダンプトラック規格 B　積込機械・規格 C　土質区分		=2 =3 =1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t積 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3 土砂	(平積0.20m3)	
D　運搬距離(km) E　DID区間 F　路面状態		=16.5 =2 =1	運搬距離(km) DID有 路面：良好		

施工単価表

施工　第0-0022号内訳表　　頁0-0062/0175

処分費

［規格１］土 砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=1 =1 =	土砂 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工　第0-0023号内訳表

仕切弁室(明石Ｖ型)(H=840)

［規格１］鉄蓋含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　組　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仕切弁鉄蓋(円形1号) 明石市型	1	個			
ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄM12×110 3ｹｾｯﾄ	1	組			
円形1号BOX 上部壁H=150	1	個			
円形1号BOX 中部壁H=200	1	個			
円形1号BOX 下部壁H=300	1	個			
円形1号BOX 底版H=40	1	個			
単　位　当　り	1	組			

施工単価表

施工　第0-0024号内訳表　　頁0-0064/0175

消火栓室(明石Ⅳ型・丸型)(H=740)

[規格１]鉄蓋及び無収縮ﾓﾙﾀﾙ含む　　[規格２]耐スリップ用　車道　　[摘要]　　1　組　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
消火栓鉄蓋(円形3号) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1	個			
ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄM16×150 3ｹｾｯﾄ	1	個			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ(25kg)	1	個			
円形3号BOX 上部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 中部壁H=100	1	個			
円形3号BOX 下部壁H=300	1	個			
円形3号BOX 底版H=40	1	個			
単　位　当　り	1	組			

施工単価表

施工　第0-0025号内訳表　　頁0-0065/0175

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ75

［規格１］固定材料含む　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾎﾟﾘｽﾘｰﾌﾞ φ 75 粉体塗装管用	150	m			
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50㎜） 年号入り ｴｺﾏｰｸ認定製品 ｴｺﾏｰｸ認定品	51.0	m			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0026号内訳表

鋳鉄管吊込み据付（機械力）

［規格１］呼び径　75mm以下　［規格２］　［ 摘要 ］　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径 C　現場状況		=1 =1 =2	据付 呼び径　75mm以下 普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0028号内訳表　　頁0-0067/0175

鋳鉄管(新設管)切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)

[規格１]ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径75mm　　[規格２]　　[摘要]　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ(新設管) ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ φ75～φ500		日			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径 B　作業区分 C　管の種類		=2 =1 =2	75mm 新設管 ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管		
D　ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ種別		=2	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ		

施工単価表

施工　第0-0029号内訳表　　頁0-0068/0175

鋳鉄製仕切弁(機械力)設置

［規格１］縦型仕切弁　呼び径　100mm以下　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
単　位　当　り	1	基			
A　作業区分 B　仕切弁種別 C　呼び径		=1 =1 =1	設置 縦型仕切弁 呼び径　100mm以下		
D　現場状況		=2	普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0030号内訳表

円形1号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=840)

［規格１］鉄蓋設置含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄蓋設置工(円形1号　内径250)	1	個			施工　第0-0031号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形1号　内径250 上部壁 高さ 150mm	1	個			施工　第0-0032号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形1号　内径250 中部壁 高さ 200mm	1	個			施工　第0-0033号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形1号　内径250 下部壁 高さ 300mm	1	個			施工　第0-0034号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形1号　内径250 底版	1	個			施工　第0-0035号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0031号内訳表

鉄蓋設置工(円形1号　内径250)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=1 =1	設置 円形1号　内径250		

施工単価表

施工　第0-0032号内訳表　　頁0-0071/0175

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形1号　内径250 上部壁 高さ 150mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =1 =2	設置 1号　内径250 上部壁		
D　高さ		=3	高さ 150mm		

施工単価表

施工　第0-0033号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形1号　内径250 中部壁 高さ 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =1 =3	設置 1号　内径250 中部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0034号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形1号　内径250 下部壁 高さ 300mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =1 =4	設置 1号　内径250 下部壁		
D　高さ		=5	高さ 300mm		

施工単価表

施工　第0-0035号内訳表　　頁0-0074/0175

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形1号　内径250 底版　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =1 =5	設置 1号　内径250 底版		

施工単価表

施工　第0-0036号内訳表　　頁0-0075/0175

消火栓(地下式 単口)設置工

［規格１］機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　作業区分		=1	設置		
B　施工方法		=1	機械施工		
C　消火栓種類		=1	地下式		
D　消火栓口種類		=1	単口		

施工単価表

施工　第0-0037号内訳表　　頁0-0076/0175

フランジ継手 接合(呼び径　75(80)mm)

［規格１］ＪＷＷＡ 7.5K　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　口　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　規格 C　呼び径		=1 =1 =2	接合 ＪＷＷＡ 7.5K 呼び径　75(80)mm		

施工単価表

施工　第0-0038号内訳表

円形3号ﾎﾞｯｸｽ設置工(H=740)

［規格１］鉄蓋設置含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄蓋設置工(円形3号　内径500)	1	個			施工　第0-0039号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm	1	個			施工　第0-0040号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形3号　内径500 中部壁 高さ 100mm	1	個			施工　第0-0041号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形3号　内径500 下部壁 高さ 300mm	1	個			施工　第0-0042号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形） 円形3号　内径500 底版	1	個			施工　第0-0043号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0039号内訳表

鉄蓋設置工(円形3号　内径500)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=1 =3	設置 円形3号　内径500		

施工単価表

施工　第0-0040号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =3 =2	設置 3号　内径500 上部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0041号内訳表　　頁0-0080/0175

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形3号　内径500 中部壁 高さ 100mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =3 =3	設置 3号　内径500 中部壁		
D　高さ		=2	高さ 100mm		

施工単価表

施工　第0-0042号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形3号　内径500 下部壁 高さ 300mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =3 =4	設置 3号　内径500 下部壁		
D　高さ		=5	高さ 300mm		

施工単価表

施工　第0-0043号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置（円形）

［規格１］円形3号　内径500 底版　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=1 =3 =5	設置 3号　内径500 底版		

施工単価表

施工　第0-0044号内訳表　　頁0-0083/0175

ＧＸ継手接合(呼び径　75mm)

［規格１］直管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			(接合) 2
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =1 =1	接合 呼び径　75mm 直管		

施工単価表

施工　第0-0045号内訳表　　頁0-0084/0175

ＧＸ継手接合(呼び径　75mm)

[規格１]P-Linkの接合　　[規格２]　　[摘要]　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			(接合) 2
P-Linkの接合による割増し		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =1 =3	接合 呼び径　75mm P-Linkの接合		
D　★★割増係数(%)		=	★★割増係数(%)		

施工単価表

施工　第0-0046号内訳表　　頁0-0085/0175

ＧＸ継手接合(呼び径　75mm)

[規格１]G-Linkの接合　　[規格２]　　[摘要]　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			(接合) 2
G-Linkの接合による割増し		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =1 =4	接合 呼び径　75mm G-Linkの接合		

施工単価表

施工　第0-0047号内訳表　　頁0-0086/0175

ＧＸ継手接合(呼び径　75mm)

［規格１］異形管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			(接合) 2
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =1 =2	接合 呼び径　75mm 異形管		

施工単価表

施工　第0-0048号内訳表　　頁0-0087/0175

栓設置・撤去工

［規格１］異形管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			(接合) 2
配管工		人			(取外し) 3
普通作業員		人			(取外し) 3
諸雑費		%			(取外し)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=3 =1 =2	接合・取外し 呼び径　75mm 異形管		

施工単価表

施工　第0-0049号内訳表　　頁0-0088/0175

帽設置工

［規格１］G-Linkの接合　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　口　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			(接合)　12
普通作業員		人			(接合)　12
諸雑費		%			(接合)　2
G-Linkの接合による割増し		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =1 =4	接合 呼び径　75mm G-Linkの接合		

施工単価表

施工　第0-0050号内訳表　　頁0-0089/0175

管明示シート工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0051号内訳表　　頁0-0090/0175

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 75mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　呼び径		=1	呼び径 75mm		

施工単価表

施工　第0-0052号内訳表

管明示テープ工

［規格１］φ75　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　呼び径・寸法(mm)		=2	呼び径75mm×4000mm		

施工単価表

施工　第0-0053号内訳表　　頁0-0092/0175

掘削積込工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=3	ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0054号内訳表　　頁0-0093/0175

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ φ100

［規格１］固定材料含む　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾎﾟﾘｽﾘｰﾌﾞ φ100 粉体塗装管用	150	m			
管明示ﾃｰﾌﾟ（幅50㎜） 年号入り ｴｺﾏｰｸ認定製品 ｴｺﾏｰｸ認定品	51.0	m			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0055号内訳表　　頁0-0094/0175

鋳鉄管吊込み据付（機械力）

［規格１］呼び径　100mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径 C　現場状況		=1 =2 =2	据付 呼び径　100mm 普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0056号内訳表　　頁0-0095/0175

鋳鉄管(新設管)切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)

[規格１]ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径100mm　　[規格２]　　[摘要]　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ(新設管) ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ φ75～φ500		日			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径 B　作業区分 C　管の種類		=3 =1 =2	100mm 新設管 ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管		
D　ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ種別		=2	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ		

施工単価表

施工　第0-0057号内訳表　　頁0-0096/0175

ＧＸ継手接合(呼び径 100mm)

［規格１］直管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			(接合) 2
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =2 =1	接合 呼び径 100mm 直管		

施工単価表

施工　第0-0058号内訳表　　頁0-0097/0175

ＧＸ継手接合(呼び径 100mm)

[規格１]P-Linkの接合　　[規格２]　　[摘要]　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			(接合) 2
P-Linkの接合による割増し		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =2 =3	接合 呼び径 100mm P-Linkの接合		
D　★★割増係数(%)		=	★★割増係数(%)		

施工単価表

施工　第0-0059号内訳表　　頁0-0098/0175

ＧＸ継手接合(呼び径 100mm)

［規格１］異形管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			(接合) 2
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =2 =2	接合 呼び径 100mm 異形管		

施工単価表

施工　第0-0060号内訳表　　頁0-0099/0175

栓設置工　φ１００

［規格１］異形管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			(接合) 2
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =2 =2	接合 呼び径 100mm 異形管		

施工単価表

施工　第0-0061号内訳表　　頁0-0100/0175

帽設置工　φ１００

［規格１］G-Linkの接合　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			(接合) 2
G-Linkの接合による割増し		%			(接合)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=1 =2 =4	接合 呼び径 100mm G-Linkの接合		

施工単価表

施工　第0-0062号内訳表　　頁0-0101/0175

ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ被覆(呼び径 100mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　呼び径		=2	呼び径 100mm		

施工単価表

施工　第0-0063号内訳表

管明示テープ工（鋳鉄管布設工）

［規格１］呼び径100mm×4000mm　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　呼び径・寸法(mm)		=3	呼び径100mm×4000mm		

施工単価表

施工　第0-0064号内訳表

仮ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=300)

[規格１]鉄蓋含む　[規格２]　[摘要]　1　組　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仕切弁鉄蓋(円形1号)　(損料) 明石市型	1	個			
円形1号BOX 上部壁H=150(損料)	1	個			
単　位　当　り	1	組			

施工単価表

施工　第0-0065号内訳表

仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ(損料)(H=300)

［規格１］鉄蓋含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　組　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
消火栓鉄蓋(円形3号) (損料) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1	個			
円形3号BOX 上部壁H=200(損料)	1	個			
単　位　当　り	1	組			

施工単価表

施工　第0-0066号内訳表

仮配水管布設撤去工φ50

［規格１］継手工含む　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮配管工φ50 布設撤去	100	m			施工　第0-0067号内訳表
仮配管継手工φ50 設置撤去	33	口			施工　第0-0068号内訳表
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0067号内訳表　　頁0-0106/0175

仮配管工φ50

［規格１］布設撤去　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0068号内訳表

仮配管継手工φ50

［規格１］設置撤去　［規格２］　［ 摘要 ］　10　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	口			
単　位　当　り	1	口			

施工単価表

施工　第0-0069号内訳表

仮ﾊﾞﾙﾌﾞ設置撤去工φ50

［規格１］継手工含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ工φ50 設置撤去	1	基			施工　第0-0070号内訳表
仮配管継手工φ50 設置撤去	1	口			施工　第0-0068号内訳表
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0070号内訳表

仮ﾊﾞﾙﾌﾞ工φ50

［規格１］設置撤去　［規格２］　［ 摘要 ］　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0071号内訳表

仮消火栓設置撤去工φ50

［規格１］埋設用、継手工含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮消火栓工 設置撤去 単口 継手工1口含む	1	基			施工　第0-0072号内訳表
仮配管継手工φ80(75) 設置撤去	2	口			施工　第0-0073号内訳表
仮配管継手工φ50 設置撤去	1	口			施工　第0-0068号内訳表
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0072号内訳表　　頁0-0111/0175

仮消火栓工

［規格１］設置撤去 単口 継手工1口含む　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0073号内訳表　　頁0-0112/0175

仮配管継手工φ80(75)

［規格１］設置撤去　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　　口　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　　計	10	口			
単　位　当　り	1	口			

施工単価表

施工　第0-0074号内訳表

仮給水取出設置撤去工φ50×φ20,25

［規格１］継手工含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮取出短管工φ50 設置撤去	1	箇所			施工　第0-0075号内訳表
仮配管継手工φ50 設置撤去	1	口			施工　第0-0068号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0075号内訳表　　頁0-0114/0175

仮取出短管工φ50

［規格１］設置撤去　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
合　計	10	箇所			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0076号内訳表　　頁0-0115/0175

仮給水取出設置撤去工φ50×φ30,40,50

［規格１］仮ﾊﾞﾙﾌﾞ、仮ﾏﾙﾁｼﾞｮｲﾝﾄ、継手工含む　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
仮配管継手工φ50 設置撤去	1	口			施工　第0-0068号内訳表
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ工φ50 設置撤去	1	基			施工　第0-0070号内訳表
仮ﾏﾙﾁｼﾞｮｲﾝﾄ工φ50 設置撤去	1	箇所			施工　第0-0077号内訳表
仮配管継手工φ50 設置撤去	3	口			施工　第0-0068号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0077号内訳表　　頁0-0116/0175

仮ﾏﾙﾁｼﾞｮｲﾝﾄ工φ50

［規格１］設置撤去　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0078号内訳表

仮配水管布設撤去工φ80

［規格１］継手工含む　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮配管工φ80(75) 布設撤去	100	m			施工　第0-0079号内訳表
仮配管継手工φ80(75) 設置撤去	33	口			施工　第0-0073号内訳表
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0079号内訳表　　頁0-0118/0175

仮配管工φ80(75)

［規格１］布設撤去　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0080号内訳表

仮ﾊﾞﾙﾌﾞ設置撤去工φ80

［規格１］継手工含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮ﾊﾞﾙﾌﾞ工φ80(75) 設置撤去	1	基			施工　第0-0081号内訳表
仮配管継手工φ80(75) 設置撤去	1	口			施工　第0-0073号内訳表
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0081号内訳表

仮ﾊﾞﾙﾌﾞ工φ80(75)

［規格１］設置撤去　［規格２］　［ 摘要 ］　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0082号内訳表

仮消火栓設置撤去工φ80

［規格１］埋設用、継手工含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮消火栓工 設置撤去 単口 継手工1口含む	1	基			施工　第0-0072号内訳表
仮配管継手工φ80(75) 設置撤去	1	口			施工　第0-0073号内訳表
単　位　当　り	1	基			

施工単価表

施工　第0-0083号内訳表

仮給水取出設置撤去工φ80×φ20,25

［規格１］継手工含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
仮取出短管工φ80(75) 設置撤去	1	箇所			施工　第0-0084号内訳表
仮配管継手工φ80(75) 設置撤去	1	口			施工　第0-0073号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0084号内訳表　　頁0-0123/0175

仮取出短管工φ80(75)

［規格１］設置撤去　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
合　　計	10	箇所			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0085号内訳表

仮ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=300)

［規格１］鉄蓋設置撤去含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄蓋設置・撤去工(円形1号　内径250)	1	個			施工　第0-0086号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形） 円形1号　内径250 上部壁 高さ 150mm	1	個			施工　第0-0087号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0086号内訳表

鉄蓋設置・撤去工(円形1号　内径250)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=3 =1	設置・撤去 円形1号　内径250		

施工単価表

施工　第0-0087号内訳表　　頁0-0126/0175

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形）

［規格１］円形1号　内径250 上部壁 高さ 150mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=3 =1 =2	設置・撤去 1号　内径250 上部壁		
D　高さ		=3	高さ 150mm		

施工単価表

施工　第0-0088号内訳表

仮消火栓ﾎﾞｯｸｽ設置撤去工(H=300)

［規格１］鉄蓋設置撤去含む　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄蓋設置・撤去工(円形3号　内径500)	1	個			施工　第0-0089号内訳表
ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形） 円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm	1	個			施工　第0-0090号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0089号内訳表

鉄蓋設置・撤去工(円形3号　内径500)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=3 =3	設置・撤去 円形3号　内径500		

施工単価表

施工　第0-0090号内訳表　　頁0-0129/0175

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ設置･撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=3 =3 =2	設置・撤去 3号　内径500 上部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

掘削(人力)

積算単価算出表

施工　第0-0091号内訳表

［規格１］土砂 現場制約あり　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	土質	=1	土砂						
	B	施工方法	=6	現場制約あり						

施工単価表

施工　第0-0092号内訳表　　頁0-0131/0175

埋戻工（埋戻し材->流用土）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
流用土		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=2 =3	流用土 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0093号内訳表　　頁0-0132/0175

仮給水切替材料φ20

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
HI TS給水ｿｹｯﾄ(損料) φ20	1	個			
HI ｴﾙﾎﾞ(損料) φ 20 JIS K 6743	2	個			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0094号内訳表　　頁0-0133/0175

仮給水切替材料φ40

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
HI 異径ｿｹｯﾄ(損料) φ 50×40 JIS K 6743	1	個			
HI ｴﾙﾎﾞ(損料) φ 40 JIS K 6743	2	個			
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0095号内訳表

仮給水切替工φ20

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　20mm)	6	口			施工　第0-0096号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0096号内訳表　　頁0-0135/0175

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　20mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=3	呼び径　20mm		

施工単価表

施工　第0-0097号内訳表　　頁0-0136/0175

硬質塩化ビニル管 据付・撤去

［規格１］呼び径　20mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=3 =3	据付・撤去 呼び径　20mm		

施工単価表

施工　第0-0098号内訳表

仮給水切替工φ40

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　40mm)	5	口			施工　第0-0099号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　50mm)	1	口			施工　第0-0100号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0099号内訳表

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　40mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=6	呼び径　40mm		

施工単価表

施工　第0-0100号内訳表

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　50mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=7	呼び径　50mm		

施工単価表

施工　第0-0101号内訳表　　頁0-0140/0175

硬質塩化ビニル管 据付・撤去

［規格１］呼び径　40mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=3 =6	据付・撤去 呼び径　40mm		

施工単価表

施工　第0-0102号内訳表　　頁0-0141/0175

鋳鉄管吊込み撤去（機械力）

［規格１］呼び径　75mm以下　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径 C　現場状況		=2 =1 =2	撤去 呼び径　75mm以下 普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0103号内訳表　　頁0-0142/0175

鋳鉄管吊込み撤去（機械力）

［規格１］呼び径　100mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径 C　現場状況		=2 =2 =2	撤去 呼び径　100mm 普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0104号内訳表　　頁0-0143/0175

鋳鉄管(既設管)撤去切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)

［規格１］ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径75mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ(既設管) ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ φ75～φ500		日			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径 B　作業区分 C　管の種類		=2 =2 =2	75mm 既設管 ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管		
D　ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ種別		=2	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ		

施工単価表

施工　第0-0105号内訳表　　頁0-0144/0175

鋳鉄管(既設管)撤去切断工(ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ)

［規格１］ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　呼び径100mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ(既設管) ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ φ75～φ500		日			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径 B　作業区分 C　管の種類		=3 =2 =2	100mm 既設管 ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管		
D　ｴﾝｼﾞﾝｶｯﾀｰ種別		=2	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰﾄﾞ		

施工単価表

施工　第0-0106号内訳表　　頁0-0145/0175

ＧＸ継手取外し(呼び径 100mm)

［規格１］異形管　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			(取外し) 3
普通作業員		人			(取外し) 3
諸雑費		%			(取外し)
単　位　当　り	1	口			
A　作業区分 B　呼び径 C　接合の種類		=2 =2 =2	取外し 呼び径 100mm 異形管		

施工単価表

施工　第0-0107号内訳表　　頁0-0146/0175

鋳鉄製仕切弁(機械力)撤去

［規格１］縦型仕切弁　呼び径　100mm以下　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　基　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
単　位　当　り	1	基			
A　作業区分 B　仕切弁種別 C　呼び径		=2 =1 =1	撤去 縦型仕切弁 呼び径　100mm以下		
D　現場状況		=2	普通（係数　1.2）		

施工単価表

施工　第0-0109号内訳表

鉄蓋撤去工(円形1号　内径250)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=2 =1	撤去 円形1号　内径250		

施工単価表

施工　第0-0110号内訳表　　頁0-0148/0175

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形1号　内径250 上部壁 高さ 150mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分		=2	撤去		
B　規格		=1	1号　内径250		
C　調整箇所		=2	上部壁		
D　高さ		=3	高さ 150mm		

施工単価表

施工　第0-0111号内訳表　　頁0-0149/0175

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形1号　内径250 中部壁 高さ 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分		=2	撤去		
B　規格		=1	1号　内径250		
C　調整箇所		=3	中部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0112号内訳表　　頁0-0150/0175

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形1号　内径250 下部壁 高さ 300mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=2 =1 =4	撤去 1号　内径250 下部壁		
D　高さ		=5	高さ 300mm		

施工単価表

施工　第0-0113号内訳表　　頁0-0151/0175

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形1号　内径250 底版　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=2 =1 =5	撤去 1号　内径250 底版		

施工単価表

施工　第0-0114号内訳表　　頁0-0152/0175

消火栓(地下式 単口)撤去工

[規格１]機械施工　ﾌﾗﾝｼﾞ接合1口含む　　[規格２]　　[摘要]　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
ﾄﾗｯｸ(ｸﾚｰﾝ装置付)運転		時間			
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　作業区分		=2	撤去		
B　施工方法		=1	機械施工		
C　消火栓種類		=1	地下式		
D　消火栓口種類		=1	単口		

施工単価表

施工　第0-0116号内訳表

鉄蓋撤去工(円形3号　内径500)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　鉄蓋種類		=2 =3	撤去 円形3号　内径500		

施工単価表

施工　第0-0117号内訳表　　頁0-0154/0175

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 上部壁 高さ 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=2 =3 =2	撤去 3号　内径500 上部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0118号内訳表　　頁0-0155/0175

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 中部壁 高さ 200mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=2 =3 =3	撤去 3号　内径500 中部壁		
D　高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工　第0-0119号内訳表　　頁0-0156/0175

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 下部壁 高さ 300mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=2 =3 =4	撤去 3号　内径500 下部壁		
D　高さ		=5	高さ 300mm		

施工単価表

施工　第0-0120号内訳表

ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾎﾞｯｸｽ撤去（円形）

［規格１］円形3号　内径500 底版　［規格２］　［ 摘要 ］　1　個　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
単　位　当　り	1	個			
A　作業区分 B　規格 C　調整箇所		=2 =3 =5	撤去 3号　内径500 底版		

現場発生品・支給品運搬

積算単価算出表

施工　第0-0121号内訳表

［規格１］ｽｸﾗｯﾌﾟ処分　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　回　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾄﾗｯｸ ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積 2.0t吊 [ｸﾚｰﾝ装置付]				ﾄﾗｯｸ [ｸﾚｰﾝ装置付] 2t級 2.0t吊			
	K									
	R1		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	ﾄﾗｯｸ機種	=1	ｸﾚｰﾝ装置付2t積2t吊						
	B	片道運搬距離(km)	=3	9.0km以下						
	C	1回当り平均積載質量(t)	=8	1.5t超2.0t以下						

現場発生品・支給品運搬

積算単価算出表

施工　第0-0122号内訳表

［規格１］廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ処分　［規格２］　［ 摘要 ］　1　回　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ﾄﾗｯｸ ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積 2.0t吊 [ｸﾚｰﾝ装置付]				ﾄﾗｯｸ [ｸﾚｰﾝ装置付] 2t級 2.0t吊			
	K									
	R1		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	ﾄﾗｯｸ機種	=1	ｸﾚｰﾝ装置付2t積2t吊						
	B	片道運搬距離(km)	=4	14.0km以下						
	C	1回当り平均積載質量(t)	=8	1.5t超2.0t以下						

施工単価表

施工　第0-0123号内訳表

ﾓﾙﾀﾙ充填工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
ﾓﾙﾀﾙ(配合1：3)	1.04	m3			1
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車運転		時間			1
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	m3			

施工単価表

施工　第0-0125号内訳表　　頁0-0161/0175

不陸整正工(粒調砕石)

[規格１]施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm　　[規格２]　　[摘要]　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
粒調砕石 (0～25mm･0～30mm･0～40mm)		m3			
振動ﾛｰﾗ運転（賃料）		日			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			
A　施工幅 B　補足材の種類 C　補足材厚		=2 =2 =3	施工幅：1.8m 以上 粒調砕石 3cm		

表層(車道・路肩部)

積算単価算出表

施工　第0-0127号内訳表

[規格１]　ｔ＝５０mm　　[規格２] 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)　　[摘要]　　1　　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ 舗装幅2.3～6.0m [ﾎｲｰﾙ型] 排出ｶﾞｽ対策型含				ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ(排出ｶﾞｽ対策型含) ﾎｲｰﾙ型 舗装幅2.3～6.0m			
	K2		ﾀｲﾔﾛｰﾗ 質量8～20t 排出ｶﾞｽ対策型含				ﾀｲﾔﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) 8～20t			
	K3		ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ 質量10～12ｔ [ﾏｶﾀﾞﾑ] 排出ｶﾞｽ対策型含				ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) ﾏｶﾀﾞﾑ 10～12t			
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		特殊作業員				特殊作業員			
	R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R4		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		密粒度ｱｽｺﾝ TOP20　t=50mm				再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13			
	Z2		ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用				ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3(ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用)			
	Z3		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価	＝								

表層(車道・路肩部)

積算単価算出表

施工　第0-0127号内訳表

［規格１］ ｔ＝５０mm　　［規格２］ 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)　　［ 摘要 ］　　1　　m2　当り

標準単価		代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	A	平均幅員	=4	3.0m超					
	B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)					
	C	材料	=8	密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)					
	D	夜間割増の有無	=1	無し					
	E	瀝青材料種類	=2	ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					

舗装版破砕(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)

積算単価算出表

施工　第0-0128号内訳表

［規格１］　［規格２］撤去厚->15cmを超え35cm以下　［ 摘要 ］　1　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｺﾝｸﾘｰﾄ圧砕機(単体) [大割機]開口幅735～850mm破砕力550～980kN				ﾊﾞｯｸﾎｳ用ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ [ｺﾝｸﾘｰﾄ圧砕装置(大割機)] 開口幅735～850mm 破砕力550～980kN			
	K2		ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.45m3(平積0.35m3) [ｸﾛｰﾗ型] 排出ｶﾞｽ対策型含				ﾊﾞｯｸﾎｳ(排出ｶﾞｽ対策型含) 油圧式ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3級			
	K									
	R1		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	舗装版種別	=1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版						
	B	障害等の有無	=1	無し						
	C	騒音振動対策	=2	必要						
	D	舗装版厚	=3	15cmを超え35cm以下						
	F	積込作業の有無	=1	有り						

上層路盤(車道・路肩部)

積算単価算出表

施工　第0-0129号内訳表

［規格１］瀝青安定処理材(再生材) TOP25　　［規格２］ ｔ＝１００mm　　［ 摘要 ］　　1　　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ 舗装幅1.4～3.0m [ﾎｲｰﾙ型] 排出ｶﾞｽ対策型含				ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ(排出ｶﾞｽ対策型含) ﾎｲｰﾙ型 舗装幅1.4～3.0m			
	K2		振動ﾛｰﾗ(舗装用) 質量3～4t [搭乗ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ式] 排出ｶﾞｽ対策型含				振動ﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) 搭乗式ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型 3～4t			
	K3		ﾀｲﾔﾛｰﾗ 質量3～4t 排出ｶﾞｽ対策型含				ﾀｲﾔﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) 3～4t			
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		特殊作業員				特殊作業員			
	R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R4		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(安定処理材) AS安定処理(40) t=80mm				瀝青安定処理(再生材)			
	Z2		ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用				ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3(ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用)			
	Z3		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価 ＝									

上層路盤(車道・路肩部)

積算単価算出表

施工　第0-0129号内訳表

［規格１］瀝青安定処理材(再生材) TOP25　　［規格２］ ｔ＝１００mm　　［ 摘要 ］　　1　　m2　当り

標準単価		代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	A	材料	=2	瀝青安定処理材(再生材) TOP25					
	B	平均幅員	=3	1.4m以上3.0m以下					
	C	1層当り平均仕上り厚(mm)	=100	1層当り平均仕上り厚(mm)					
	F	夜間割増の有無	=1	無し					
	G	瀝青材料種類	=2	ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					

基層(車道・路肩部)

積算単価算出表

施工　第0-0130号内訳表

[規格１]　ｔ＝５０mm　　[規格２] 粗粒度ｱｽｺﾝ[再](20)　　[摘要]　　1　　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ 舗装幅1.4～3.0m [ﾎｲｰﾙ型] 排出ｶﾞｽ対策型含				ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ(排出ｶﾞｽ対策型含) ﾎｲｰﾙ型 舗装幅1.4～3.0m			
	K2		振動ﾛｰﾗ(舗装用) 質量3～4t [搭乗ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ式] 排出ｶﾞｽ対策型含				振動ﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) 搭乗式ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型 3～4t			
	K3		ﾀｲﾔﾛｰﾗ 質量3～4t 排出ｶﾞｽ対策型含				ﾀｲﾔﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) 3～4t			
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		特殊作業員				特殊作業員			
	R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R4		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		再生粗粒度ｱｽｺﾝ TOP20　t=50mm				再生粗粒度ｱｽｺﾝ TOP20			
	Z2		ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-4 ﾀｯｸｺｰﾄ用				ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-4(ﾀｯｸｺｰﾄ用)			
	Z3		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価 ＝									

積算単価算出表

施工　第0-0130号内訳表

基層(車道・路肩部)

［規格１］ ｔ＝５０mm　　［規格２］ 粗粒度ｱｽｺﾝ[再](20)　　［ 摘要 ］　　1　　m2　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	A	平均幅員	=3	1.4m以上3.0m以下						
	B	1層当り平均仕上り厚	=50	1層当り平均仕上り厚						
	C	材料	=2	粗粒度ｱｽｺﾝ[再](20)						
	D	夜間割増の有無	=2	有り						
	E	瀝青材料種類	=1	ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4						

表層(車道・路肩部)

積算単価算出表

施工　第0-0131号内訳表

[規格１]　ｔ＝５０mm　　[規格２] 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)　　[摘要]　　1　　m2　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ 舗装幅1.4～3.0m [ﾎｲｰﾙ型] 排出ｶﾞｽ対策型含				ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ(排出ｶﾞｽ対策型含) ﾎｲｰﾙ型 舗装幅1.4～3.0m			
	K2		振動ﾛｰﾗ(舗装用) 質量3～4t [搭乗ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ式] 排出ｶﾞｽ対策型含				振動ﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) 搭乗式ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型 3～4t			
	K3		ﾀｲﾔﾛｰﾗ 質量3～4t 排出ｶﾞｽ対策型含				ﾀｲﾔﾛｰﾗ(排出ｶﾞｽ対策型含) 3～4t			
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		特殊作業員				特殊作業員			
	R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R4		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		密粒度ｱｽｺﾝ TOP20　t=50mm				再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13			
	Z2		ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-4 ﾀｯｸｺｰﾄ用				ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-4(ﾀｯｸｺｰﾄ用)			
	Z3		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油				軽油			
	Z									
							計			
	積算単価 ＝									

04-29452687-1

表層(車道・路肩部)

積算単価算出表

施工　第0-0131号内訳表

［規格１］ ｔ＝５０mm　　［規格２］ 密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)　　［ 摘要 ］　　1　　m2　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	A	平均幅員	=3	1.4m以上3.0m以下						
	B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)						
	C	材料	=8	密粒度ｱｽｺﾝ[再](13)						
	D	夜間割増の有無	=1	無し						
	E	瀝青材料種類	=1	ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4						

施工単価表

施工　第0-0132号内訳表

区画線設置［溶融式］

［規格１］実線　15cm　t=1.5mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
区画線設置［溶融式］　機械・労務		m			施工　第0-0133号内訳表
区画線設置［溶融式］　材料		m			施工　第0-0134号内訳表
単　位　当　り	1	m			
A　夜間作業の有無 B　規格・仕様区分 C　時間的制約の有無		=1 =1 =1	昼間作業 実線　15cm 時間的制約なし		
D　排水性舗装の補正 E　未供用区間の補正 F　塗布厚		=1 =1 =1	一般舗装 供用区間 t=1.5mm		
G　塗料区分 H　プライマー規格 I　１日未満で完了する作業		=2 =1 =1	黄 アスファルト舗装用 適用しない		

施工単価表

施工　第0-0133号内訳表　　頁0-0172/0175

区画線設置［溶融式］　機械・労務

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
区画線設置工 溶融式(手動) ［昼間］ 実線15cm 豪雪無 制約無 供用区間		m			
単　位　当　り	1	m			
A　夜間作業の有無 B　規格・仕様区分 C　時間的制約の有無		=1 =1 =1	昼間作業 実線　15cm 時間的制約なし		
D　排水性舗装の補正 E　未供用区間の補正		=1 =1	一般舗装 供用区間		

施工単価表

施工　第0-0134号内訳表　　頁0-0173/0175

区画線設置［溶融式］　材料

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1000　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 黄 ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ含有量15～18% 比重2.0 鉛･ｸﾛﾑﾌﾘｰ		kg			1
ｶﾞﾗｽﾋﾞｰｽﾞ 1号(0.106～0.850mm)		kg			1
接着用ﾌﾟﾗｲﾏｰ 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			
合　　計		m			
単　位　当　り	1	m			
A　規格・仕様区分 B　排水性舗装の補正 C　未供用区間の補正		=1 =1 =1	実線15cm 一般舗装 供用区間		
D　塗布厚 E　塗料区分 F　プライマー規格		=1 =2 =1	t=1.5mm 黄 アスファルト舗装用		

施工単価表

施工　第0-0135号内訳表

交通誘導警備員 B

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　人日　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
交通誘導警備員Ｂ		人			
単　位　当　り	1	人日			
A　交通誘導警備員区分 B　労務費調整係数		=2 =1	交通誘導警備員 B 労務費調整係数		

施工単価表

施工　第0-0136号内訳表　　頁0-0175/0175

通水試験費

［規格１］給水車不要の場合　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　4　回　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
合　計	4	回			
単　位　当　り	1	回			

工　事　設　計　図　書

年度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	配水及び給水費	
工事番号	04-5609							設計年月日	令和5年　1月12日
着工番号								精算年月日	令和5年　1月12日

施工理由			
施工箇所	明石市東野町地内	施工方法及び工事期限	(請負) 単価契約 令和5年3月31日まで
工事名称	東野町地内配水管布設替に伴う給水管切替工事	支払い方法	前払金　あり（40%以内） 中間前払金　あり（20%以内） 部分払　なし
工事概要	給水管切替工計　22箇所 φ20　給水管切替工　19箇所 φ40　給水管切替工　1箇所 φ50　給水管切替工　2箇所		

当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円
増減	円	増減	円	増減	円	増減	円

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
本工事費					
管路（開削）					
給水管					
給水管布設工		式		1	
管材		式		1	
PP管　φ20	二層管,1種(軟質)	m		43.1	
給水管切替φ20（材料）	ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	箇所		19	
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ　75×20	密着コア込	個		15	
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ100×20	密着コア込	個		4	
PP管　φ40	二層管,1種(軟質)	m		2.2	
給水管切替φ40（材料）	ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	箇所		1	
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ　75×40	密着コア込	個		1	
PP管　φ50	二層管,1種(軟質)	m		2.6	
給水管切替φ50（材料）	ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	箇所		2	
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ100×50	密着コア込	個		2	
表示帯		m		47.9	
管明示ﾃｰﾌﾟ(幅50㎜ 1巻 20m)	年号入り	巻		3	
手間		式		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
ポリエチレン管 据付	呼び径　20mm	m		43.1	
給水管切替工(φ75～150×φ20)		箇所		19	
ポリエチレン管 据付	呼び径　40mm	m		2.2	
給水管切替工(φ75～150×φ40)		箇所		1	
ポリエチレン管 据付	呼び径　50mm	m		2.6	
給水管切替工(φ75～150×φ50)		箇所		2	
管明示シート工		m		47.9	
管明示テープ工(ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管)	呼び径φ50mm以下	m		47.9	
給水管布設土工		式		1	
土工		式		1	
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		83	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	m2		29	
掘削積込工		m3		15	
掘削積込工(補助的作業なし)		m3		5	
掘削(人力)	土砂 現場制約あり	m3		2	
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)	〔中谷建材㈱〕	m3		1	
残塊処分工(土砂)	〔西川建材㈱〕	m3		22	
仮復旧工［密粒度[再](13)］	厚 5cm	m2		29	

契約数量表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
路盤工(粒調砕石)	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	m2		29	
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）		m3		8	
埋戻工（埋戻し材->流用土）		m3		4	
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）		m3		5	
交通誘導員設置		式		1	
交通誘導警備員 B					

特記仕様書
（令和4年度　東野町地内配水管布設替工事ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
1	一般共通事項

※　1　現場代理人の兼務

※　1　本合併工事については、本合併工事以外の工事の現場代理人の兼務を認めない。

※　2　合併工事

※　1　本工事は、下水道整備課発注工事との合併工事である。
施工前に工程を充分検討し、工事が円滑に進むよう調整すること。

※　3　近接工事

※　1　発注時に、確認している近接工事は無いが、近接工事が確認された場合は、
関連他業者との連絡を密にし、互いの工事の影響が少ないように工程管理すること。

※　4　占用関係

1　国道(　　)	②　県道(　有瀬大蔵線　　)
③　市道(　　)	4　法定外道路(　　)
5　港湾(　　)	6　河川(　　)

7　その他(　　)

上記のチェックが入っている占用について、監督員と協議して必要な書類を
提出すること。

※　5　協議関係(上記占用以外)

1　鉄道等(　　)
2　バス道等(　　)
※　3　学校関係(　　)
4　その他(　　)

上記1～4のいずれかにチェックが入っている場合は、各関係者に施工内容や時期を
報告し、場合によっては施工協議をする必要も出てくるので、監督員と充分協議すること。

※　6　工事の範囲

※　1　当該工事予定範囲について、地元要望等及び現地の状況により、施工範囲の
増減が生じる可能性がある。その場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。

※　7　交通誘導警備員

※　1　交通誘導警備員の人数は、下表のとおりとする。

種類	合計	布設替工事	給水管切替工事
A	0名	0名	0名
B	137名	119名	18名
合計	137名	119名	18名

※ 1日1現場当り4名(標準)

※ 1日1現場当りT字交差点部 5名
1日1現場当り十字交差点部6名
その他1日1現場当り追加　1名(バス停)

※ 道路管理者及び警察署との協議及び地元要望等に伴い、上記の配置員数に増減
が生じた場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。また、その配置を監督員と協議
すること。
なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおりとする。
交通誘導警備員A;警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する
警備員を言う。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条
第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に
係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員
交通誘導警備員B;警備業者の警備員で交通誘導警備員A以外の交通の誘導に

特記仕様書
（令和4年度　東野町地内配水管布設替工事ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	従事するもの ※　8　低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について ※　1　低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。 ※　9　断水作業及び管内清掃作業等に伴う弁栓類操作および放水作業について ※　1　受注者は、弁栓類操作および放水作業にかかる作業員を用意すること。 ※　2　上記作業については、監督員または水道局職員の指導のもと、受注者が行うものとする。 ※　3　上記作業に伴い濁水等が発生した場合は直ちに監督員に連絡の上、監督員の作業指示に従い、監督員と協力の上、濁水等の処理を行うこと。 ※　4　受注者は、上記作業に伴う放水用器具を1セット用意すること。 （放水用器具1セット：消火栓スタンド，バルブキー2本，放水用ホース） ※　10　工事日報について ※　1　工事日報は該当箇所作業後、該当箇所の日報を**2週間以内**にセンター監督員に提出すること。 ※　2　工事日報は以下の工種について提出するものとする。 ①　試掘工　②　仮配水管，仮給水管布設撤去工 ③　水道本管布設撤去工（残置処理配管共） ④　給水管布設工　⑤　水圧試験 ⑥　白紙様式3枚（検査合格報告書分） なお、提出工種に疑義が生じた場合は、監督員と協議の上、提出内容を決定すること。 ※　3　その他内容については、水道工事標準仕様書（6.提出書類）に基づくものとする。 ※　11　工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険の付保について ※　1　本工事において、受注者は発注者と受注者を被保険者とした「工事の施工に伴い第三者に与えた損害を賠償する保険」に付さなければならず、発注者においては（保険金額→対物500万円以上・保険期間→工期内）とすること。なお、上記保険については掛金相当額が諸経費の中に積算されているので、入札にあたってはこれを含めて積算すること。 また、明石市工事請負契約約款第51条（火災保険等）に基づき、保険契約を締結したのち、その証券等を発注者に提示すること。 ※　12　建設リサイクル法等に基づく手続きについて ※　1　受注者は、再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を提出するものとする。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県HPに掲載の様式を使用すること。 ※　13　その他事項 ※　1　設計図書とは、明石市水道局工事請負契約約款第1条に規定する設計図書及び工事設計書のことをいう。 ※　2　工期については、配水管布設替工事については契約締結日の翌日から令和5年9月29日まで、給水管切替工事については、令和5年 3月31日までとしている。 給水管切替工事の予算については、公営企業管理者による次年度への繰り越しが決定されたときは、令和5年9月 29日までとする工期延期を行う予定である。 また、令和5年9月29日以上の工期延期については、協議により決定するものとする。 ※　3　当該工事設計書は令和3年度水道施設整備費に係る歩掛表に基づいて積算している。 ※　4　間接工事費等の算定における管材費には、従来の材料に加えて仮配管も含めている。

特記仕様書
（令和4年度　東野町地内配水管布設替工事ほか工事）

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
2	管きょ工 ※　1　使用材料 ※　1　使用材料確認願（様式29-1）には、明石市水道工事標準仕様書4.1に記載している指定品及びその他土木工事等材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書、構造図（承認図）（不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ、割T字管（付属ﾊﾞﾙﾌﾞ）、特殊な仕切弁、消火栓、空気弁、補修弁、排泥弁、止水栓、ｻﾄﾞﾙ分水栓、その他監督員が必要と認める材料）とする。 ※　2　土木工事承諾願（様式30-1）には、指定品以外の水道材料及び受注者が監督員に承諾を求める材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、水道材料については、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書と構造図（承認図）またはそれらに替わる書類、土木工事等材料については、その性能等を証明する書類とする。 ※　3　水道使用材料納品後、立会願を提出し、監督員の材料確認状況及び材料のメーカーマークが分かる写真を工事写真帳に添付すること。 ※　4　在庫品を使用する場合、工事打合せ簿にて使用したい在庫品の一覧表を添付すること。 また、立会願いを提出し、監督員は在庫品を確認し、使用可能かを工事打合せ簿で回答すること。確認状況写真を工事写真帳に添付すること。 ※　2　一体化長さ ※　1　設計水圧0.75Mpa、摩擦係数0.3で設計している。 ※　2　上記の条件と管の各口径及び各土被りを考慮し一体化長さを確認し、ライナや特殊押輪の有無を適時確認して施工すること。 ※　3　管の据付 ※　1　管路の高さを調整する場合は、スクリーニングス等を詰めた土嚢を原則使用すること。 ※　2　木材を使用する場合には、防腐処理を施した材料を使用すること。 ※　4　消火栓・空気弁 ※　1　丸型消火栓ボックスを設置する箇所については、補修弁のバルブの位置を配水管法線から、90°の位置に設置すること。 ※　2　消火栓及び空気弁の口の高さは、GL－20cm±5に収まるようにフランジ短管で調節すること。 ※　3　フランジ部で使用するボルトは75㎜以上のSUS製とすること。 また、ナットについては、SUS製の緩み防止仕様を使用すること。 ※　5　水圧試験 ※　1　標準仕様書5.10（1）について以下の条件を全て満たす場合、試験水圧0.75MPa、試験時間10分間、低下率1.0％以内を許容限度とする。 ・材質は鋳鉄管　・口径は300㎜以下　・試験延長合計は100m未満 ※　6　現場発生品の処分 ※　1　既設鋳鉄管、鉄蓋関係の処分については、有価物として売却すること。その場合、金属くず商の許可証の写し、物品の受領を証明する書類、計量証明書などを監督員に提出することまた、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。なお、処分地はｱﾗｲﾒﾀﾙで運搬距離は7.6kmを計上している。ただし、上記書類等が整えば、別の処分地でも可能とする。 その場合は、設計変更の対象としない。 2　既設石綿管の撤去が発生した場合、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」（平成17年8月、厚生労働省健康局水道課）を参考として作業を行うこと。 その文章中のプラスチック袋等は、ポリエチレンスリーブ(2重包み)に置き換えて作業すること。処分地は特記仕様書(追記)のとおりとする。 ※　3　既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発生品については、その材質により適切に処分する

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章

こと。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター（播磨事業所）、運搬距離12.8km、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。
ただし、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。

※　7　スクラップの種類

※　1　撤去鋳鉄管関係については、故銑Bで計上している。

※　8　その他事項

※　1　本工事における仮配水管の供用日数について、31～60日までとして計上している。

3　土工事

1　重機

1　特殊車両（一般的制限値である幅2.5m、長さ12.0m、高さ3.8m、総重量20.0t等のいずれかを越える車両）を使用する工事なので、施工計画書に明記するとともに、施工時までに必要な書類をそろえ、監督員に提示できるようにしておくこと。

※　2　アスファルト切断

※　1　アスファルト切断は、乾式または吸引式を使用すること。

※　3　配水管布設時の掘削幅

※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000
NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000

※　2　矢板有の場合、単位は㎜

口径	φ75	φ100	φ150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050
NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050
K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050

※　4　配水管布設時の掘削深

※　1　配水管布設時の掘削深は、土被り＋布設管外径（D2)+100を基本とする。

※　2　既設管を撤去し、その断面で新設管を布設する場合、既設管の管底まで掘削し、上記のように掘削深から100㎜程度上げた状態で管を布設することを基本とする。
ただし、近接する地下埋設物の状態や既設管の配管状況により、曲管等の異形管が極力増えないように土被りを検討すること。

※　3　会所掘箇所は、G-Link・P-Link・特殊押輪等の押しボルト設置箇所とする。

※　4　会所掘箇所の断面は、布設管口径がφ350㎜以下の場合、延長500㎜、深さ200㎜、φ400㎜以上の場合、延長800㎜、深さ500㎜とし、幅はそれぞれの掘削幅とする。

※　5　仮配水管・仮給水管の掘削幅・掘削深

※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400
幅	400	450	500	550	600	700
深さ	400	450	500	550	600	800

※　2　矢板有の場合の掘削幅、単位は㎜

口径	φ100以下	φ150	φ200	φ250	φ300	φ400
幅	700	750	800	850	900	1000

※　3　仮給水管設置撤去時の掘削幅は400㎜、掘削深は300㎜とすること。

4　直轄国道に布設撤去する場合は深さ600㎜以上とすること。

※　6　既設管撤去の掘削幅

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章

※　1　矢板無の場合、単位は㎜

口径	φ75～150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
幅	550	600	650	700	900	950	1000

※　2　矢板有の場合、単位は㎜

口径	φ75～150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450
幅	850	850	850	850	950	1000	1050

※　7　給水管の掘削幅、掘削深、延長

※　1　分水穿孔部について、新設管布設後の場合は本管掘削幅、延長は600㎜、深さは新設管布設時の土被りとする。既設管から分岐する場合は、本管口径のK形を布設する場合の掘削幅、延長は600㎜、深さは既設管土被り＋既設管呼び径＋100㎜とする。

※　2　給水管部は、幅500㎜、延長は給水管延長（本管～止水栓距離）－分水穿孔部掘削幅/2、深さは本管土被り-100mmとする。

※　8　掘削・埋戻し

※　1　埋戻し一層厚さ20cm未満とする。

※　2　水圧がかかっている水道管周りを掘削するときは、必ず人力掘削すること。

※　3　管路布設後、管下を埋め戻す場合には、スクリーニングス等を使用し、きちんと胴締めすること。管路布設前に余掘り分を埋め戻す場合は、再生砕石等良質土を使用し、きちんと転圧すること。

※　9　残土・殻処分地

※　1　処分地は特記仕様書(追記)参照。

※　2　特記仕様書(追記)は積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。
ただし、特記仕様書(追記)の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

※　10　各種試験

※　1　「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。

※　上層路盤の現場密度の測定・・・埋戻土及び管路掘削箇所について省略する。

11　仮設材の運搬

1　仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。
なお、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更を行わない。

※　12　その他事項

※　1　工事範囲内にある各種鉄蓋の表面を汚さないよう処置をとること。

4　舗装工

※　1　舗装前準備

※　1　既設構造物(側溝、街渠等)等に損傷を与えていないか、動いていないか等を確認し、異常がある場合は、適正な方法を検討し、監督員と協議すること。

※　2　下水道の鉄蓋で古い鉄蓋(コンクリート蓋、コンクリート巻鉄蓋等)がある場合は、舗装復旧前に下水道室が取り替えることがあるので、位置が分かるものと現況写真を提出すること。

※　3　他の地下埋設物の鉄蓋で高さ調整が必要なものは、位置が分かるものと現況写真と高さ調整の程度（＋○cm等）が分かるものを提出すること。

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	※　4　舗装復旧内に古い消火栓蓋、空気弁蓋、仕切弁蓋がある場合は、取替するかどうか監督員と協議すること。 5　切削オーバーレイで施工を予定している。 土木工事共通仕様書（兵庫県県土整備部監修）及び土木工事施工管理基準（兵庫県県土整備部監修）に記載のとおり、測量し計画書を作成し、監督員の承諾を得たのち、施工すること。 ※　2　不陸整正工 ※　1　補充材の有無を確認し、路床面の不陸を整正すること。 ※　2　既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分は、入念に清掃すること。 ※　3　乳剤散布 ※　1　ムラにならないよう、均一に散布すること。 ※　2　既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分等にも散布すること。 ※　4　アスファルト舗装工 ※　1　当日舗装版撤去した範囲について、表層まで復旧出来ない場合は監督員と協議すること。その場合は、周辺住民によく周知し、既設構造物、各種鉄蓋の箇所が歩行者、二輪車、自動車等の交通車両に危険が無いよう、すり合わせし、段差有の看板を立てるなど注意喚起すること。 ※　5　区画線工 1　インターロッキング舗装等のブロック舗装範囲に消火栓を設置した際の消火栓周り(黄色)の区画線は設置しないこと。 ※　2　施工直前に施工箇所を清掃し、プライマーを塗布すること。 ※　3　ガラスビーズを配合すること。 ※　6　各種試験 ※　1　「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める必要な試験等について、試験位置、試験方法等を事前に監督員に報告すること。 ※　2　「土木工事施工管理基準」（兵庫県県土整備部監修）に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。 ※　1　アスファルトの現場密度の測定・・・同一配合のアスファルト施工面積500m2未満について省略する。 ※　2　アスファルトコア採取・・・同一配合のアスファルト施工面積1箇所20m2以上500m2未満の箇所についてコア採取は1箇所とする。また、20m2未満については省略する。 ※　3　表層の平坦性・・・省略する ※　4　既設管充填処理に使用するモルタル等の強度試験・・・省略する。 7　その他事項 ※　1　舗装面積について、下水道整備課と按分した面積となっている。施工管理、成果物等の提出について舗装工着手前に監督員と協議すること。

特記仕様書（追記）

1　建設発生土の搬出先

品目	建設発生土
施設の名称	西川建材㈱
所在地	加古川市志方町広尾字大谷88
運搬距離	16.5km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

2　特定建設資材の分別解体等・再資源化等

1）分別解体等の方法

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有　□無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

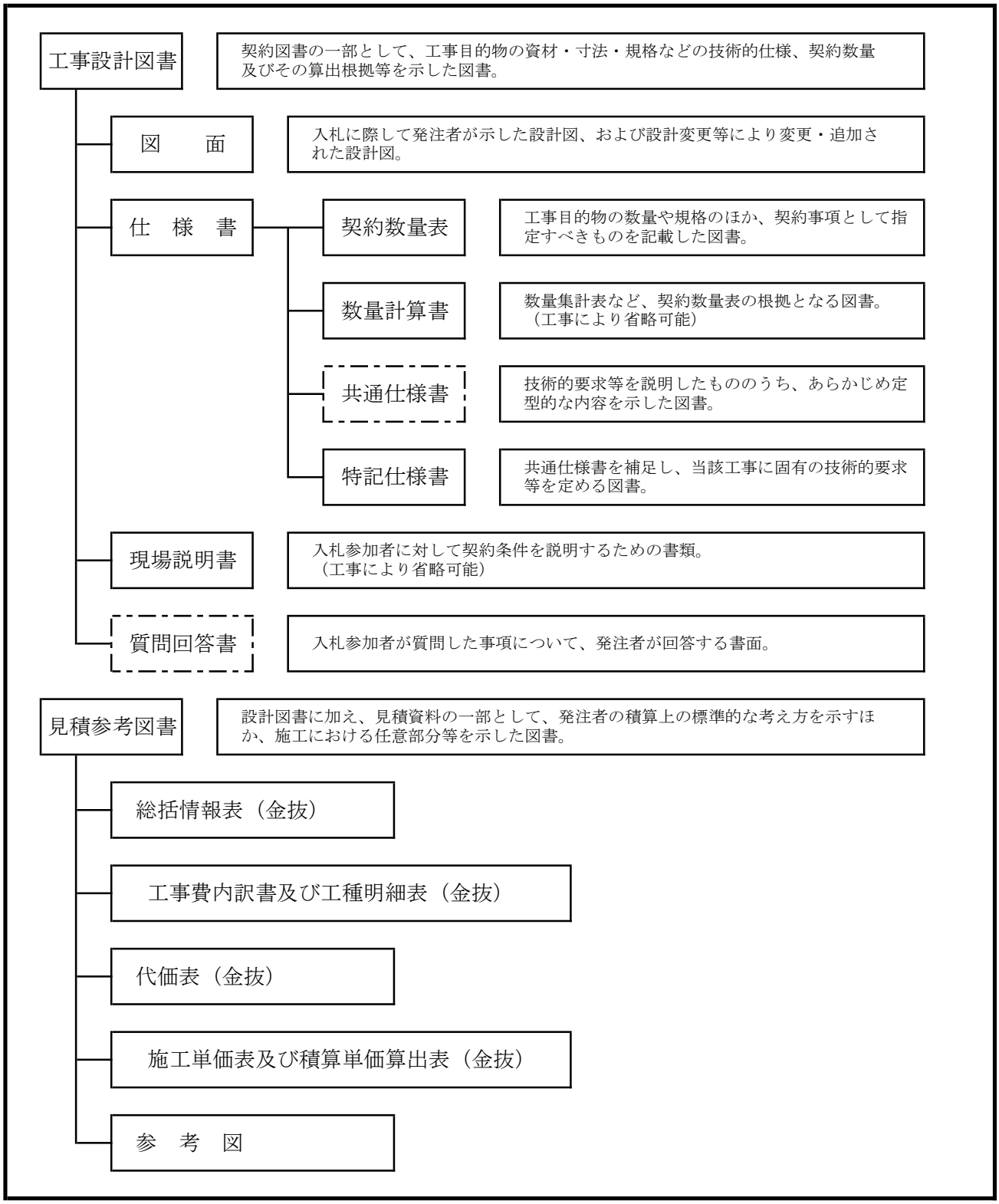
2）再資源化等をする施設の名称及び所在地

品目	アスファルト塊
施設の名称	中谷建材㈱
所在地	高砂市梅井5-2-10
運搬距離	16.7km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

３ 仕様書

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款　第１条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。

本工事の内容については、契約数量表・数量計算書・設計図面のうち、契約数量表を優先する。



水 道 工 事 標 準 仕 様 書

1　総　則

1.1（適　用）

1　水道工事標準仕様書（以下「標準仕様書」という。）は、明石市水道局が発注する水道管（導水・送水・配水）を布設する工事及び給水管工事（以下「工事」という。）に係る工事請負契約書（頭書を含み以下「契約書」という。）及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。

2　契約書及び仕様書・契約数量表・設計図（以下「設計図書」（標準仕様書を除く）という。）に記載された事項は、この標準仕様書に優先する。

3　本工事は、契約書及び設計図書のほか、水道工事標準仕様書(日本水道協会)・給水装置工事施行基準（明石市水道局）及びその他関係図書による。ただし、土木工事共通仕様書（兵庫県県土整備部監修）の水道編の第 2 章第 2 節については、適用しない。

1.2（法令等の厳守）

本工事の施工にあたっては、工事に関する関係法令等を厳守し、安全に行わなければならない。

1.3（書類の提出）

1　受注者は、明石市及び明石市水道局の定める様式による書類を提出すること。

2　提出した書類に変更が生じたときは、速やかに変更の書類を提出すること。

1.4（監督員）

1　監督員とは、水道法第 12 条により、水道局が指定した当該工事を監督する職員（主任監督員及び監督員）をいう。

1.5（工事実績データの登録）

水道工事を 2 件以上合併で発注している工事については、工事請負代金合計額が 500 万円以上の場合に一括の内容で登録すること。

1.6（目的物の引渡し）

工事目的物の引渡しは、工事完成届兼（引渡書）を水道局に提出し完成検査に合格したときをもって完了とする。

2　安全管理

2.1（事故防止）

1　工事中、不明管が出てきた場合には、監督員に連絡し、監督員の指示に従って、他の地下埋設物管理者に確認したうえ、適切に処理すること。

2　掘削及び埋戻工事中、他の構造物及び地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、その場で監督員に連絡し、指示を受けること。その際には写真撮影し、関係部署に報告できるようにしておくこと。

また、当該施工範囲内で道路構造物や他の地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、遅滞なく監督員に連絡すること。

3　受注者は熱中症対策等について充分に注意し、作業員に水分補給・塩分補給・休憩等を十分とらせること。

2.2（事故発生時の措置）

事故等緊急非常事態が発生した時は、第三者及び作業員等の人命救助、人命の安全確保を最優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、監督員及び関係各部署へ連絡しなければならない。また、軽微な事故等についても速やかに監督員に事故報告書等で報告するとともに、その指示を受けるものとする。

2.3（現場の整理整頓）

1　受注者は工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度、整理整頓し、現場内及びその付近は常に清潔に保つこと。その際に、機械器具等を無断で家の敷地に置いたり、壁等に立て掛けたりしないこと。

2　受注者は、日々の現場作業終了時には、固定している看板類及び必要な安全施設等以外の工事関係物は仮設事務所等に持ち帰り、適切に保管すること。

3　工事施工

3.1（一般事項）

1　受注者は、工事に先立ち、施工条件等を十分に把握したうえで、設計図書及び事前調査結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を記載した施工計画書を提出し、これに基づき、工事の適正な施工管理を行うこと。なお、施工計画書作成に当たっては、監督員と十分打合せを行うこと。

また、施工時において事前検討の条件と実際の施工条件との相違又は新たに生じた状況等により施工計画書に記載した内容に変更が生じるときは、監督員と協議し、速やかに施工計画書を追加及び変更すること。

2　施工期限が定められた箇所がある場合は、監督員と十分協議し、工程の進行を図ること。

3　受注者は、監督員が常に施工状況の確認が取れるように日報等の必要な資料を速やかに提出すること。

3.2（現場立会、架線・地下埋設物調査及び現地調査）

1　近接構造物（家屋含む）の事前調査を行い、損傷等の有無を撮影し、関係者に提出すること。

2　施工範囲内の道路上の境界ピン・境界杭の有無を調査し報告すること。ある場合は監督員と協議し、その対応を検討すること。

3　当該工事付近に公共基準点がある場合は、明石市公共基準点管理保全要領に定めるところにより、必要な申請書等を作成するほか、公共基準点を保持するための測量をすること。

4　給水管切替工事がある場合、施工前に今回給水管を切替する家屋に漏水が無いかの確認及び給水管口径の確認をし、報告すること。

5　その他設計図書に対する疑義がある場合は、工事打合せ簿にて協議をすること。

3.3（地元説明）

1　受注者は、工事着手前に所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行をはかること。

2　工事のため騒音を発し、付近住民の日常生活・業務等を妨害しないように配慮すること。

3　施工について営業等に支障があると思われる時は、監督員並びに付近住民と協議の上で、できるだけこれの軽減に努めること。

4　工事範囲内に自治会がある場合、当該自治会長に第 1 項と同様の工事説明を行うとともに、必要に応じて、工事広報の配布を行い工事同意書の提出を求めること。

5　受注者は施工前及び施工中(断水・濁水などの可能性がある場合)には、関係家屋にビラ等を配布し、周知すること。

6　給水管の切替等で個人の敷地内に入り、量水器または散水栓等から空気を抜く作業等を行う場合は、その旨を事前に説明し、トラブルが起こらないようにすること。

3.4（試掘調査）

試掘調査前に事前立会等で確認した試掘位置、試掘目的を工事打合簿にて報告すること。また、試掘調査後は、以下の項目について速やかに結果をまとめ、工事打合簿にて報告または協議すること。

・試掘断面の地下埋設物の状況　　・既設舗装構成
・設計図書通りの撤去・埋設が可能か　　・既設管の外面腐食等の異常の有無
・接続部がインチ管の場合、既設管外周長さを測定し、インチ管であることの確認
・その他試掘調査結果で判明した協議事項

3.5（夜間工事）

夜間工事をする場合は、十分な照明を行うとともに保安設備を施すこと。また、付近住民に工事のお知らせビラを配布し、説明するとともに協力を依頼すること。施工中は極力騒音・照明等により迷惑をかけないよう十分配慮すること。騒音対策には、管切断時のロールカッターの使用や防音シートの使用も検討すること。

3.6（立会）

下記の項目について事前に立会願を提出し、立会を行うものとする。

・材料納入時（在庫品使用時含む）の材料検収
・通常配管及び不断水工事箇所の水圧試験
・その他監督員が必要と判断した事項

3.7（工事関係書類の整備）

受注者は監督員の点検を随時受けられるよう、工事及び安全に関する書類を整備しておくこと。

4　材料

4.1（水道材料の規格）

本工事に使用する水道材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー（別添使用材料登録業者一覧表及び給水装置工事施行基準参照）の製品（以下「指定品」という。）を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合については、監督員の承諾を得た後、使用すること。

設計書及び特記仕様書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。

(1)　K形ゴム輪は、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。

(2)　特殊押輪、耐震補強金具等は耐震型(離脱防止性能 3DkN 以上)を使用すること。

(3)　K形管のT頭ボルト・ナットは、酸化被膜製と同等品以上とすること。

(4)　フランジボルト・ナットは SUS 製を使用すること。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部におけるフランジ継手に使用するフランジナットは SUS304 製(緩み防止仕様)を使用すること。

(5)　フランジ部の紛体塗装面に接触する箇所には、ワッシャー(SUS 製)を使用すること。

(6)　弁栓類等で使用するフランジの規格は２種（0.75MPa）とする。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部に使用するフランジ継手材はフランジ接合補強具(LSP 形)を使用すること。

(7)　仕切弁・消火栓・補修弁の開閉方向は左開きとする。

(8)　鉄蓋・受枠・ボックスは、明石市水道局性能規定書による製品とする。特に円形消火栓（空気弁）鉄蓋は耐スリップ車道用又は歩道用とする。

(9)　割T字管の分岐口径φ150 以下について、密着コアを使用すること。

(10)　サドル分水栓穿孔箇所については、密着コアを使用すること。

(11)　直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。

(12)　表示帯(管明示シート)は、15cm 幅 2 倍折の水道を明記したエコマーク認定品を使用すること。

(13)　管明示テープは、5 cm幅の水道用(青色)、年号(工事発注年度)を明記したエコマーク認定品を使用すること。(導水管は黄色無地を併用)

4.2（土木材料の規格）

本工事に使用する土木材料は、以下に示す規格及び設計図書に品質規格を規定されたものを除き、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に示す品質規格に適合したもの、またはこれと同等以上の品質を有するものとする。

(1)　スクリーニングスは、JIS　A5001　F-2.5 とする。ただし、監督員と協議のうえ、砂を使用する場合は、海砂(洗砂)とする。

(2)　再生砕石は、路盤部分は RC-30 とし、その他は RC-40 とする。

(3)　粒調砕石は、M-30 とする。

(4)　再生密粒度アスファルトは、最大粒径 13 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

(5)　再生粗粒度アスファルトは、最大粒径 20 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

(6)　再生アスファルト安定処理混合物は、最大粒径 25 ㎜、締固め密度 2.35t/m3 とする。

4.3（水道材料の確認）

1　受注者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。

2　現地確認・試験掘削の結果等を十分反映させ、購入するものとする。

3　仮給水管切替は、現地確認により既設給水管の口径等を十分把握し、反映させるものとする。

4　支給材料については、監督員と受注者が確認した後、受領し、支給品受領書(様式 15) を提出すること。

5　管布設工事

5.1（配管技能者）

1　受注者は、鋳鉄管布設工事に先立ち、当該工事に適する下記の配管技能者の登録証、受講証等を施工体制台帳に添付すること。配管技能者とは、日本水道協会の配水管技能登録者(一般登録・耐震登録・大口径)又は、各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者とする。日本水道協会の配管技能登録者の場合、一般登録はＴ・Ｋ形管等の一般継手（φ450 ㎜以下)、耐震登録はＮＳ・ＧＸ形管等の耐震継手（φ450 ㎜以下)、大口径は一般継手と耐震継手（全口径）を配管出来る技能を有するものとする。各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者の場合、管種・口径を指定している受講証については、その管種・口径とし、ＮＳ形・耐震管の受講証については、その口径のＮＳ・ＧＸ形管等の耐震継手及び一般継手を配管出来る技能を有するものとする。

2　受注者は、鋳鉄管を布設するときには、上記の配管技能者が、当該工事で使用する管種・口径の施工要領等に従って施工すること。

3　受注者は、給水管の施工がある場合には、明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施行基準（明石市水道局）に基づき監督・指導すること。

4　受注者は、上記以外の管種（配水用ポリエチレン管・鋼管等）の施工、または、管更生等が含まれる場合、それぞれの資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。

5.2（工種の制限）

工事の確実性、周辺への水の濁り等を考慮して、金曜日、土曜日及び祝日の前日には、工種を制限しているので監督員と協議し施工すること。

5.3（断水を伴う連絡工事）

1　断水を伴う連絡工事箇所は、監督員立会の上、試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を確認すること。

2　断水を伴う連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を監督員と調整の上行うこと。ただし、断水時間は 13 時 30 分から 16 時を基本とすること。断水時間を極力短縮するために必要な諸設備・機械器具及び車輌等を十分点検し、経験豊富な技術者と作業員を配置すること。

3　断水作業及び管内洗浄作業等に必要な弁栓類操作は、監督員または水道局職員の指導のもと、受注業者及び下請業者が行う、そのために必要な人員を監督員と協議し、確保すること。

4　万が一、連絡工事箇所周辺で濁水及び漏水が起こったときには、水道局職員の指示により周辺家屋への対応をすること。

5.4（広報活動）

1　断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査した資料と、断水のビラを監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。

2　断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水のおそれがある場合は、配布する家屋等を監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の濁水のビラを監督員

が確認したあと、当該家屋に配布すること。

3　上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。

4　受水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

5.5（ボルトの締め付け）

1 ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。

2 インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの 7 割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。

3 トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。

5.6（使用機材）

内面粉体塗装管の分水栓穿孔作業をするときは､先端角度が90°から100°､ねじれ角度が20°から30°の電動式穿孔機を使用すること。

5.7（管の明示）

1　管の識別を明確にするために、管明示テープを使用して、上水道管であることを明らかにすること。

2　表示帯（管明示シート）は、管天より 40cm の位置に丁寧に設置すること。

5.8（仮消火栓）

仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

5.9（仮舗装復旧）

本工事において仮舗装復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。また、水道の仮舗装箇所と分かるように水色塗料で水道マーク表示を行うこと。

5.10（水圧試験）

1　水道管の水圧試験は、水道局職員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。

(1)　通常配管（以下の特殊箇所以外）の場合、試験水圧を 0.75MPa とする。30 分間以上の経過後、低下率 1.0%以内を許容限度とする。

(2)　不断水工事の割Ｔ字管箇所は、試験水圧を 1.25MPa とする。ただし、既設管の状態が悪い場合（ＦＣ管又は表面の腐食等が激しい場合）・ＡＣＰ管・ＶＰ管の場合は、最高試験水圧は 1.0MPa 以下でもよい。5 分間以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

(3)　中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧 0.50MPa を負荷して 5 分経過後に 0.40MPa 以上保持することを確認するものとする。

(4)　管更生の場合は、管更生区間のみで水圧試験を(1)の方法で行い、その後、その区間を含めた仕切弁から仕切弁の水圧試験を再度(1)の方法で行うものとする。ただし、管更生区間

のみの水圧試験にかかる材料（栓、押輪等）等は設計で計上するものとする。

(5)　配水用ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧及び方法を決定する。

2　給水管の水圧試験は、サドル分水栓部分のみ1.75MPaまで加圧し、1分間以上のその状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

5.11（水道メーターの確認）

仮給水管、給水管切替後は水道メーターの逆付けをしてないか確認すること。

6　提出書類

受注者は、工事請負契約に必要な書類を明石市水道局の入札・契約情報のホームページ及び土木請負工事必携(兵庫県県土整備部監修)に記載されている書類を関係部署に提出するほか、下記の書類を監督員に提出すること。ただし、監督員が必要でないと認めた場合は、この限りでない。

1　工事日報

受注者は、契約日から竣工日までの日々の作業において、必要な工種に対して工事日報を作成し、監督員にすみやかに提出しなければならない。工事日報に記入する項目は、表側に年月日、曜日、天気、工事名、工事場所、当初設計延長（口径別)、出来形延長（口径別、日毎延長、累計延長)、作業内容、使用材料（品名、形質、数量等）を、裏側に日毎の作業内容の図示（下記竣工図(水道管)・(給水管)と同様）とする。また、白色ケント紙110kg（Ａ４サイズ）で作成すること。

2　竣工図(水道管)

受注者は、竣工図（兼出来形図）を作成し、工事完成図書に添えて提出すること。竣工図（兼出来形図）には次にあげるものをもって構成する。

(1)　配水管平面図（他の埋設管等で切り回している箇所等は別途詳細図）は、布設位置、標準断面図、土被り、延長（管種・口径毎)、防護工等を以下のことに注意して記入すること。

a. 必ず方位を記入すること。

b. 直管、切管、異形管、弁栓類等の種別及び材質を表示すること。切管等の数値はmm表示とし、整数１位を四捨五入とし、２位表示とすること。

c. 特殊押輪、普通押輪、G-Link、ライナの区別を表示すること。

d.配管材料記号、引出線及び部材名等を赤色で表示すること。

(2)　消火栓、空気弁、仕切弁、その他監督員の指示する箇所等についてはオフセット測量し、撤去されるおそれの無いマンホールの中心点や地先境界の角、その他３点以上の照点を定め水平距離を測定し記入する。

(3)　仕切弁・バタフライ弁・消火栓・空気弁・補修弁・不断水等の弁栓類関係について、使用したメーカー名を記入すること。

(4)　掘削断面に他企業埋設管（下水管，ガス管等）が出てきた箇所については、竣工図の断面箇所図に他企業埋設管の位置，口径がわかるように図示すること。

3　竣工図(給水管)

受注者は、竣工図を作成し、白色ケント紙110kg（Ａ３サイズ）を工事完成図書に添えて提出すること。竣工図には次にあげるものをもって構成する。

平面図には、口径、延長、家屋番号を、表には家屋番号、水道番号、家屋名、サドル分水栓、

本管深さ、ＰＰユニオン、ＰＰエルボ、ＶＰユニオン、止水栓、ボックス、ＰＰパイプ、本管止水距離、備考（接続した管種）を記入すること。

４　その他提出書類

書類名	提出時期	提出部数	備考
施工計画書	工事実工程着手前	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
使用材料確認願 土木工事承諾願	工事実工程着手前	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
施工体制台帳	下請負契約後速やかに	2 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1 部返却)
工事日報	施工日以後速やかに	1 部	配水管・給水管合併工事は併せて作成
竣工図(原図)	竣工時	1 部	JPEG(A1・カラー・解像度 200dpi 以上)で保存した CD を提出
竣工図(焼き図)(原則 A1 サイズ)	竣工時	4 部	上記竣工図折図で提出 白紙(カラー)・折図(横 15cm×縦 23cm)

その他明石市水道事業工事検査規程及び明石市水道事業施設等工事検査要綱に基づき必要書類を提出すること。CD 及び DVD で提出するものは、工事名・内容が分かるようにすること。

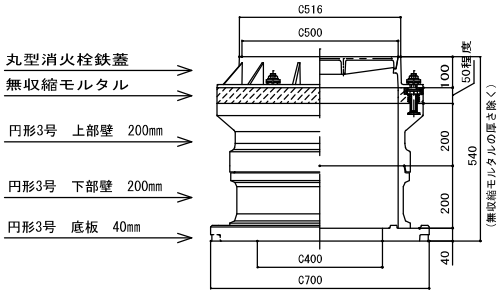
＊　竣工図書は、Ｂ４Ａ４サイズの文書保存箱で工事名･施工年度等を明示して納品すること。

（施行期日）

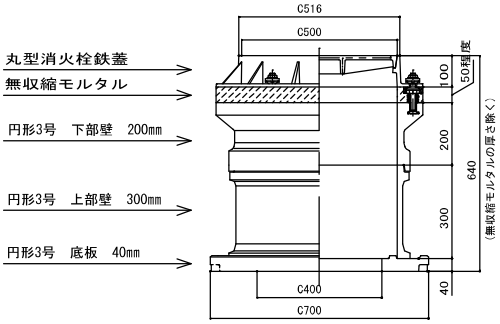
この仕様書は、2022 年 9 月 1 日より施行する。

円形3号ボックス組合せ図(標準図)

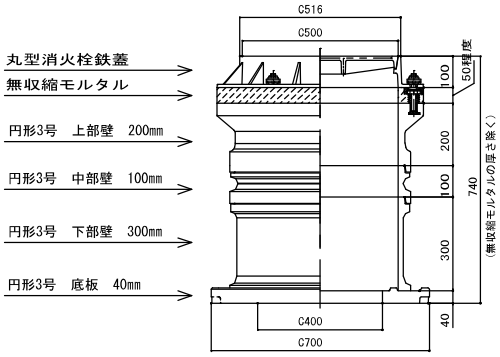
製品高さ　Ｈ＝５４０



製品高さ　Ｈ＝６４０



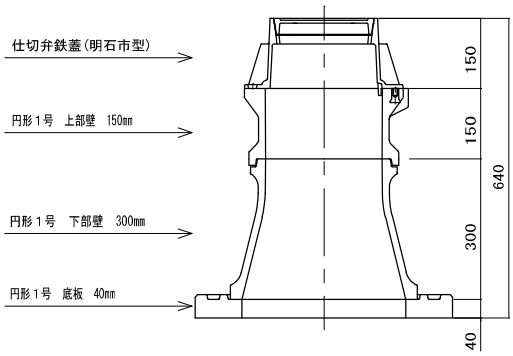
製品高さ　Ｈ＝７４０



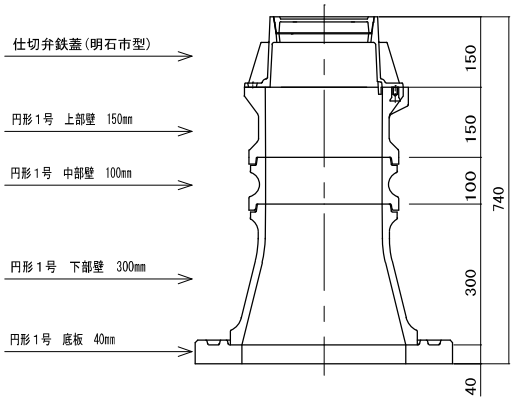
図名	組合せ図(標準図)
種類	円形3号ボックス
明石市水道部	

円形1号ﾎﾞｯｸｽ組合せ図(標準図)

製品高さH=640



製品高さH=740



図名	組合せ図(標準図)
種類	円形1号ボックス
明石市水道部	

使用材料登録業者一覧表

材料分類	適用規格等	登録業者名
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管直管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	GX形S種管(溝切するときは1種管) NS形1種管	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱、㈱ハズ、 ㈱岡本、朝日鋳工㈱、梅原工業㈱、九州鋳鉄管㈱、 大成機工㈱、クロダイト工業㈱、㈱イトー鋳造
水道用ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JIS B 2062又はJWWA B 120 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、内ねじ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、角田鉄工㈱、宮部鉄工㈱
水道用ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 138 (内面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、前澤工業㈱、 ㈱清水鐵工所、㈱清水合金製作所、清水工業㈱、
水道用地下式消火栓 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 103 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ケレップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用急速空気弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 137 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112)	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 千代田工業㈱、宮部鉄工㈱、 協和工業㈱、角田鉄工㈱
水道用補修弁 (内外面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	JWWA B 126 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ボール式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鉄工㈱、千代田工業㈱、 宮部鉄工㈱、角田鉄工㈱、協和工業㈱
伸縮可とう管 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、クロダイト工業㈱、 日本ヴィクトリック㈱
不断水割T字管及び不断水ﾊﾞﾙﾌﾞ (接水部ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研
特殊継輪 (内面ｴﾎﾟｷｼ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
特殊押輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
K形ゴム輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱
ゴム輪(K形以外)、パッキン(LSP形以外)		大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱、㈱クボタ ㈱栗本鐵工所、興和ｺﾞﾑ工業㈱、三報ゴム㈱、 日本鋳鉄管㈱、サンエス護謨工業㈱、協和工業(株)
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材(LSP形)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
ボルト・ナット(緩み防止仕様以外) (GX形、NS形、ﾌﾗﾝｼﾞ形はｽﾃﾝﾚｽ製 、K形は酸化被膜製)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱岡本、クロダイト工業㈱、 ㈱水研、㈱田中、㈱エスティム、日本鋳鉄管㈱、協和工業㈱ 日本鋲螺㈱
ボルト・ナット(SUS304製　緩み防止仕様)		協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
水道用ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管用 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ 明示テープ(エコ認定製品)	JWWA K 158 JDPA Z 2005	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、三報ゴム㈱、 サンエス護謨工業㈱、ヨツギ㈱
鉄蓋・受枠	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、長島鋳物㈱、スズテック㈱、 ㈱ダイモン
ボックス(ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製)	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、三国プラスチック㈱、長島鋳物㈱ スズキ鋳鉄工業㈱、㈱ダイモン
仮配管	SUS管	明和工業㈱、㈱多久製作所
	PE管	㈱光明製作所

家屋番号	サドル分水栓				施工（PP管）延長（m）	土工延長（m）	道路種別	備考
	新設/既設	元管種	元口径	給水管				
1	新設	鋳鉄管	100	20	0.8	0.8	市車5	
2	新設	鋳鉄管	100	20	4.1	4.1	市車5	
3	新設	鋳鉄管	100	50	1.3	1.3	市車5	
4	新設	鋳鉄管	100	50	1.3	1.3	市車5	
5	新設	鋳鉄管	100	20	4.1	4.1	市車5	
6	新設	鋳鉄管	100	20	4.3	4.3	市車5	
7	新設	鋳鉄管	75	20	4.3	4.3	市車5	
8	新設	鋳鉄管	75	20	1.2	1.2	市車5	
9	新設	鋳鉄管	75	20	1.2	1.2	市車5	
10	新設	鋳鉄管	75	20	1.2	1.2	市車5	
11	新設	鋳鉄管	75	20	1.2	1.2	市車5	
12	新設	鋳鉄管	75	20	1.3	1.3	市車5	
13	新設	鋳鉄管	75	40	2.2	2.2	市車5	
14	新設	鋳鉄管	75	20	4.8	4.8	市車5	
15	新設	鋳鉄管	75	20	1.2	1.2	市車5	
16	新設	鋳鉄管	75	20	2.7	2.7	市車5	
17	新設	鋳鉄管	75	20	2.1	2.1	市車5	
18	新設	鋳鉄管	75	20	1.5	1.5	市車5	
19	新設	鋳鉄管	75	20	2.1	2.1	市車5	
20	新設	鋳鉄管	75	20	1.5	1.5	市車5	
21	新設	鋳鉄管	75	20	1.5	1.5	市車5	
22	新設	鋳鉄管	75	20	2.0	2.0	市車5	

給水管土工種別表

分岐元口径	合計		新設	
			市車As1層5cm d=0.9	
	箇所	延長	箇所	延長
合計	22	47.90	22	47.90
75	16	32.00	土工1	
			16	32.00
100	6	15.90	土工2	
			6	15.90

給水管材料・手間

口径	箇所数	延長
合計	22	47.9
20	19	43.1
40	1	2.2
50	2	2.6

名称等	材料	手間	備考
	当初	当初	
表示帯（管明示シート工）	47.9	47.9	
管明示テープ（管明示テープ工（PP管））	3	47.9	合計延長÷20(m/巻)

口径	名称等	口径等	材料	手間	備考
			当初	当初	
20	PP管	φ20	43.10	43.1	個別延長の合計
			43.10		設計数量
	給水管切替	φ20	19	19	
	サドル分水栓（鋳鉄用）	φ75×20	15	19	
		φ100×20	4		
40	PP管	φ40	2.20	2.2	個別延長の合計
			2.20		設計数量
	給水管切替	φ40	1	1	
	サドル分水栓（鋳鉄用）	φ75×40	1	1	
50	PP管	φ50	2.60	2.6	個別延長の合計
			2.60		設計数量
	給水管切替	φ50	2	2	
	サドル分水栓（鋳鉄用）	φ100×50	2	2	

給水管土工集計表

工　　種	合計数量	採用数量	単位	土工1		土工2	
				分水穿孔	給水管	分水穿孔	給水管
舗装版切断（As） t≦15cm	82.60	**83**	m		54.40		28.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	28.57	**29**	m2	5.76	13.60	2.16	7.05
掘削積込工	15.49	**15**	m2		10.20		5.29
掘削積込工(補助的作業なし)	5.06	**5**	m3	3.68		1.38	
掘削(人力)	1.54	**2**	m2	1.12		0.42	
残塊処分工(As)	1.47	**1**	m3	0.32	0.68	0.12	0.35
残塊処分工(土砂)	22.09	**22**	m3	4.80	10.20	1.80	5.29
仮復旧工(密粒度(再)(13))	28.57	**29**	m3	5.76	13.60	2.16	7.05
路盤工(粒調砕石） t=10cm	28.57	**29**	m2	5.76	13.60	2.16	7.05
埋戻工(再生砕石)	8.26	**8**	m2		5.44		2.82
埋戻工(流用土)	3.52	**4**	m2	2.56		0.96	
埋戻工(スクリーニングス)	4.64	**5**	m3	1.12	2.04	0.42	1.06

給水管土工1

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道5cm	As5cm	粒調砕石　10cm	

新設/既設	管種	管外径	管断面積
新設	鋳鉄管φ75		

分水穿孔部

箇所数	本管掘削幅(W)	個別延長	管下掘削深	(平均)土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚
16	0.60	0.60	管上まで	0.90	0.90	0.05

給水管部

掘削幅	掘削深	給水管延長	土工延長	土工延長根拠
0.50	0.80	32.00	27.20	32−0.6/2×16

分水穿孔部

工種	施工厚	計算式				数量	16箇所計
		幅等	厚	延長	箇所等		
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.60	×	0.60		0.36	5.76
掘削積込工(補助的作業なし)	0.65	0.60 ×	0.65 ×	0.60		0.23	3.68
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.60 ×	0.20 ×	0.60		0.07	1.12
残塊処分工(As)		0.36 ×	0.05			0.02	0.32
残塊処分工(土砂)		掘削工の合計と同量				0.30	4.80
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	0.60		0.36	5.76
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.60	×	0.60		0.36	5.76
埋戻工(流用土)	0.45	0.60 ×	0.45 ×	0.60		0.16	2.56
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.60 ×	0.20 ×	0.60		0.07	1.12

給水管部

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As)　t≦15cm	0.05			27.20 ×	2	54.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.50	×	27.20		13.60
掘削積込工	0.75	0.50 ×	0.75 ×	27.20		10.20
残塊処分工(As)		13.60 ×	0.05			0.68
残塊処分工(土砂)		10.20				10.20
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.50	×	27.20		13.60
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.50	×	27.20		13.60
埋戻工(再生砕石)	0.40	0.50 ×	0.40 ×	27.20		5.44
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.50 ×	0.15 ×	27.20		2.04

給水管土工2

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道5cm	As5cm	粒調砕石 10cm	

新設/既設	管種	管外径	管断面積
新設	鋳鉄管φ100		

分水穿孔部

箇所数	本管掘削幅(W)	個別延長	管下掘削深	(平均)土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚
6	0.60	0.60	管上まで	0.90	0.90	0.05

給水管部

掘削幅	掘削深	給水管延長	土工延長	土工延長根拠
0.50	0.80	15.90	14.10	15.9−0.6/2×6

分水穿孔部

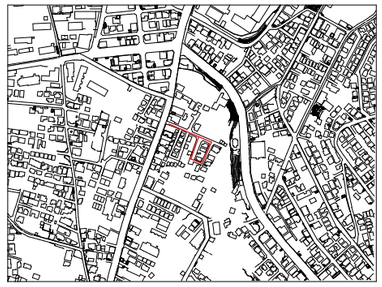
工種	施工厚	計算式				数量	6箇所計
		幅等	厚	延長	箇所等		
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.60	×	0.60		0.36	2.16
掘削積込工(補助的作業なし)	0.65	0.60 ×	0.65 ×	0.60		0.23	1.38
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.60 ×	0.20 ×	0.60		0.07	0.42
残塊処分工(As)		0.36 ×	0.05			0.02	0.12
残塊処分工(土砂)		掘削工の合計と同量				0.30	1.80
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	0.60		0.36	2.16
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.60	×	0.60		0.36	2.16
埋戻工(流用土)	0.45	0.60 ×	0.45 ×	0.60		0.16	0.96
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.60 ×	0.20 ×	0.60		0.07	0.42

給水管部

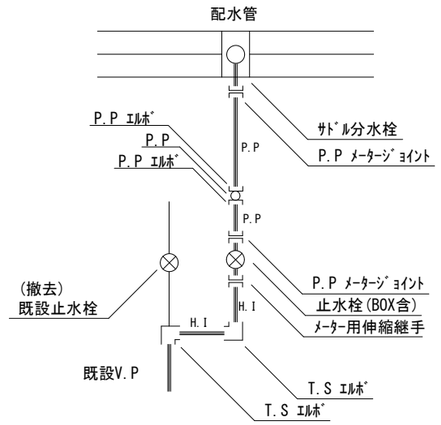
工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≦15cm	0.05			14.10 ×	2	28.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≦10cm	0.05	0.50	×	14.10		7.05
掘削積込工	0.75	0.50 ×	0.75 ×	14.10		5.29
残塊処分工(As)		7.05 ×	0.05			0.35
残塊処分工(土砂)		5.29				5.29
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.50	×	14.10		7.05
路盤工(粒調砕石)	0.10	0.50	×	14.10		7.05
埋戻工(再生砕石)	0.40	0.50 ×	0.40 ×	14.10		2.82
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.50 ×	0.15 ×	14.10		1.06

給水管切替平面図(1)　S=1/300

位 置 図　S = 1/ 5000



給 水 管 切 替 図

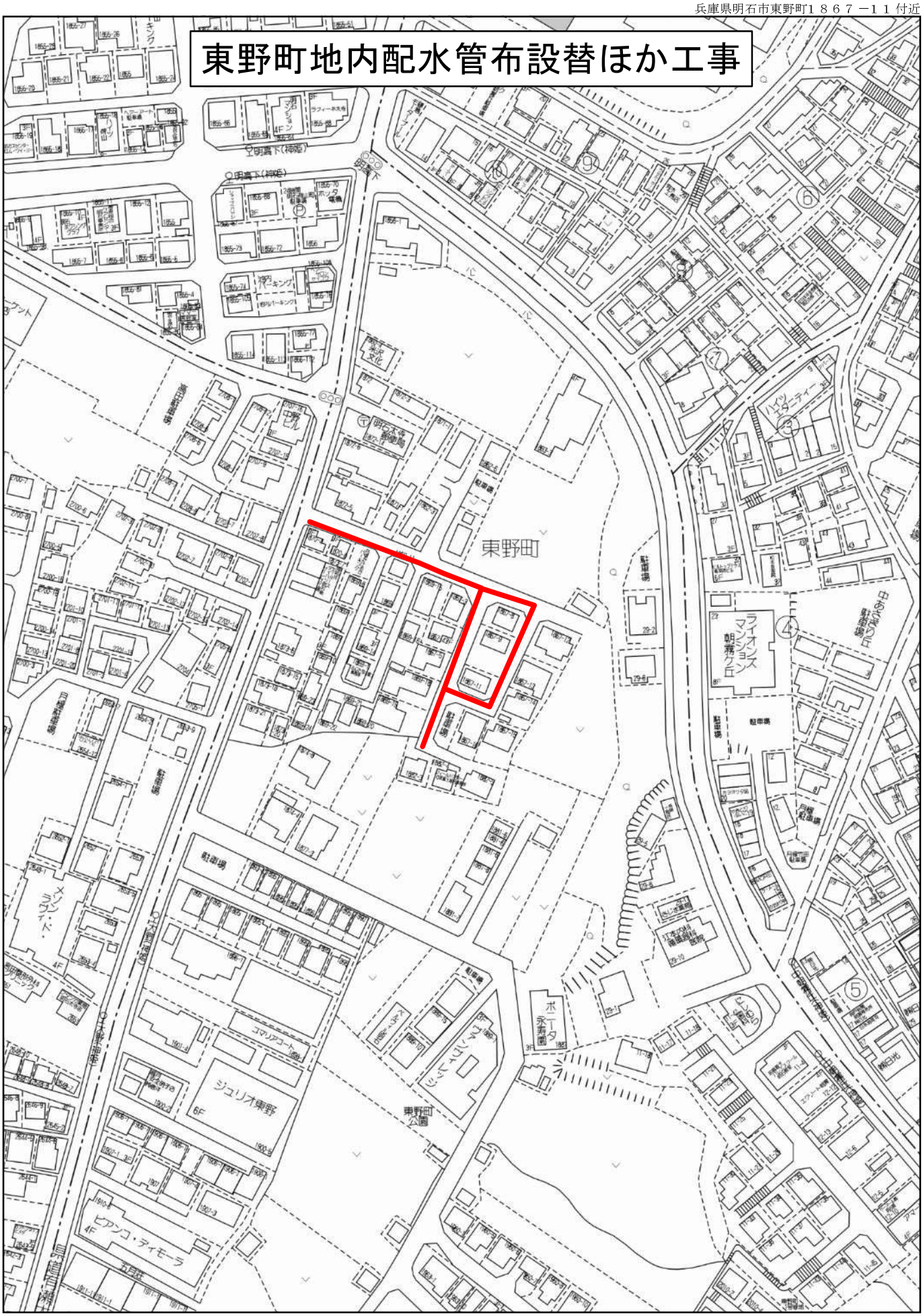


給水管切替総数	22箇所
φ20	19箇所
φ40	1箇所
φ50	2箇所

図　番	1 / 1	施工年度	令和4年度
工 事 名	東野町地内配水管布設替に伴う給水管切替工事		
図　種	給水管切替平面図		
場　所	明石市東野町地内		
縮　尺	図示		
制 作 日			
設 計 者		製 図 者	

兵庫県明石市東野町１８６７－１１付近

東野町地内配水管布設替ほか工事



７０ｍ

禁無断複写複製
明石市役所

Copyright(C)2022 ZENRIN CO., LTD.

見　積　参　考　図　書

年　度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	配水及び給水費	
工事番号	04-5609							設計年月日	令和5年　1月12日
着工番号								精算年月日	令和5年　1月12日

施工理由			
施工箇所	明石市東野町地内	施工方法及び工事期限	(請負) 単価契約 令和5年3月31日まで
工事名称	東野町地内配水管布設替に伴う給水管切替工事	支払い方法	前払金　あり（40%以内） 中間前払金　あり（20%以内） 部分払　なし
工事概要	給水管切替工計　22箇所 φ20　給水管切替工　19箇所 φ40　給水管切替工　1箇所 φ50　給水管切替工　2箇所		

当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円
増　減	円	増　減	円	増　減	円	増　減	円

総 括 情 報 表

単価適用年月日	0-05.01.01(0)	
	今　　回	前　　回
工種区分 施工地域区分	01　開削工事及び小口推進工事 23　一般交通影響あり（２）	

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
本工事費					
管路（開削）					
給水管					
給水管布設工	1	式			工種　第0001号明細表
給水管布設土工	1	式			工種　第0004号明細表
交通誘導員設置	1	式			工種　第0006号明細表
直接工事費計					
共通仮設費計					
共通仮設費率分		式			

工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目		数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			
工事価格計						
消費税相当額			式			
総　　計						

給水管布設工

工 種 明 細 表

工種　第0001号明細表

名　称　・　規　格		数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
管材		(1)	式			工種　第0002号明細表
手間		(1)	式			工種　第0003号明細表
	合　　計	1	式			

管材

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
PP管　φ20 二層管,1種(軟質)	43.1	m			K 管材費
給水管切替φ20（材料） ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	19	箇所			施工　第0-0001号内訳表
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ　75×20 密着コア込	15	個			K 管材費
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ100×20 密着コア込	4	個			K 管材費
PP管　φ40 二層管,1種(軟質)	2.2	m			K 管材費
給水管切替φ40（材料） ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	1	箇所			施工　第0-0002号内訳表
ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ　75×40 密着コア込	1	個			K 管材費
PP管　φ50 二層管,1種(軟質)	2.6	m			K 管材費
給水管切替φ50（材料） ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない	2	箇所			施工　第0-0003号内訳表

管材

工 種 明 細 表

工種　第0002号明細表

	名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
	ｻﾄﾞﾙ分水栓(鋳鉄用)　φ100×50 密着コア込	2	個			K 管材費
	表示帯	47.9	m			
	管明示ﾃｰﾌﾟ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り ｴｺﾏｰｸ認定品	3	巻			
	合　　計	1	式			

手間

工 種 明 細 表

工種　第0003号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ポリエチレン管 据付 呼び径　20mm	43.1	m			施工　第0-0004号内訳表
給水管切替工(φ75～150×φ20)	19	箇所			施工　第0-0005号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径　40mm	2.2	m			施工　第0-0011号内訳表
給水管切替工(φ75～150×φ40)	1	箇所			施工　第0-0012号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径　50mm	2.6	m			施工　第0-0018号内訳表
給水管切替工(φ75～150×φ50)	2	箇所			施工　第0-0019号内訳表
管明示シート工	47.9	m			施工　第0-0025号内訳表
管明示テープ工(ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管) 呼び径φ50mm以下	47.9	m			施工　第0-0026号内訳表
合　　計	1	式			

給水管布設土工

工 種 明 細 表

工種　第0004号明細表

名　称　・　規　格		数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
土工		(　　1　　)	式			工種　第0005号明細表
	合　　計	1	式			

土工

工 種 明 細 表

工種　第0005号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版) As舗装版厚->15cm以下	83	m			施工　第0-0027号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下	29	m2			施工　第0-0028号内訳表
掘削積込工	15	m3			施工　第0-0030号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	5	m3			施工　第0-0032号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	2	m3			施工　第0-0034号内訳表
残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ) 〔中谷建材㈱〕 運搬距離　L=16.7km	1	m3			施工　第0-0035号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材㈱〕 運搬距離　L=16.5km	22	m3			施工　第0-0039号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	29	m2			施工　第0-0042号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	29	m2			施工　第0-0045号内訳表

土工

工 種 明 細 表

工種　第0005号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）	8	m3			施工　第0-0047号内訳表
埋戻工（埋戻し材->流用土）	4	m3			施工　第0-0049号内訳表
埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）	5	m3			施工　第0-0050号内訳表
合　　計	1	式			

交通誘導員設置

工 種 明 細 表

工種　第0006号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導員	(　1　)	式			工種　第0007号明細表
合　　計	1	式			

交通誘導員

工 種 明 細 表

工種　第0007号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導員設置	(　　1　　)	式			工種　第0008号明細表
合　　計	1	式			

交通誘導員設置

工 種 明 細 表

工種　第0008号明細表

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導警備員 B	18	人日			施工　第0-0051号内訳表
合　　計	1	式			

施工単価表

施工　第0-0001号内訳表　　頁0-0014/0056

給水管切替φ20（材料）

［規格１］ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
PPﾒｰﾀｰｼﾞｮｲﾝﾄ　φ20	2	個			K 管材費
VPﾒｰﾀ用伸縮継手　φ20	1	個			K 管材費
止水栓　φ20	1	個			K 管材費
止水栓BOX 明石型 H=400	1	個			
PPｴﾙﾎﾞ　φ20	2	個			K 管材費
HI ｴﾙﾎﾞ　φ 20 JIS K 6743	2	個			K 管材費
PP管　φ20 二層管,1種(軟質)	0.5	m			K 管材費
HIVP管　φ 20 JIS K 6742	0.5	m			K 管材費
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0002号内訳表　　頁0-0015/0056

給水管切替φ40（材料）

［規格１］ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
PPﾒｰﾀｰｼﾞｮｲﾝﾄ φ40	2	個			K 管材費
VPﾒｰﾀ用伸縮継手 φ40	1	個			K 管材費
止水栓 φ40	1	個			K 管材費
止水栓BOX 明石型 H=600	1	個			
PPｴﾙﾎﾞ φ40	2	個			K 管材費
HI ｴﾙﾎﾞ φ 40 JIS K 6743	2	個			K 管材費
PP管 φ40 二層管,1種(軟質)	0.5	m			K 管材費
HIVP管 φ 40 JIS K 6742	0.5	m			K 管材費
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0003号内訳表　　頁0-0016/0056

給水管切替φ50（材料）

［規格１］ｻﾄﾞﾙ分水栓含まない　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
PPﾒｰﾀｰｼﾞｮｲﾝﾄ φ50	2	個			K 管材費
VPﾒｰﾀ用伸縮継手 φ50	1	個			K 管材費
止水栓 φ50	1	個			K 管材費
止水栓BOX 明石型 H=600	1	個			
PPｴﾙﾎﾞ φ50	2	個			K 管材費
HI ｴﾙﾎﾞ φ 50 JIS K 6743	2	個			K 管材費
PP管 φ50 二層管,1種(軟質)	0.5	m			K 管材費
HIVP管 φ 50 JIS K 6742	0.5	m			K 管材費
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0004号内訳表　　頁0-0017/0056

ポリエチレン管 据付

［規格１］呼び径　20mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =2	据付 呼び径　20mm		

施工単価表

施工　第0-0005号内訳表

給水管切替工(φ75～150×φ20)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径 75～150mm) 配水管呼び径 20mm	1	箇所			施工　第0-0006号内訳表
止水栓 取付 (呼び径20mm) 接合及び止水栓筐 ＰＰ用	1	箇所			施工　第0-0007号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径　20mm	0.5	m			施工　第0-0004号内訳表
ポリエチレン管継手工 呼び径　20mm	6	口			施工　第0-0008号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径　20mm	0.5	m			施工　第0-0009号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　20mm)	4	口			施工　第0-0010号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0006号内訳表　　頁0-0019/0056

ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径 75～150mm)

［規格１］配水管呼び径 20mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　サドル分水栓種類 B　配水管　呼び径		=2 =2	鋳鉄管 呼び径 75～150mm 呼び径 20mm		

施工単価表

施工　第0-0007号内訳表　　頁0-0020/0056

止水栓 取付（呼び径20mm）

［規格１］接合及び止水栓筐 ＰＰ用　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　作業区分 B　施工内容 C　管種		=1 =1 =4	取付 接合及び止水栓筐 ＰＰ用		
D　呼び径		=2	呼び径20mm		

施工単価表

施工　第0-0008号内訳表

ポリエチレン管継手工

［規格１］呼び径　20mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=2	呼び径　20mm		

施工単価表

施工　第0-0009号内訳表　　頁0-0022/0056

硬質塩化ビニル管 据付

［規格１］呼び径　20mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =3	据付 呼び径　20mm		

施工単価表

施工　第0-0010号内訳表　　頁0-0023/0056

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　20mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=3	呼び径　20mm		

施工単価表

施工　第0-0011号内訳表　　頁0-0024/0056

ポリエチレン管 据付

［規格１］呼び径　40mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =5	据付 呼び径　40mm		

施工単価表

施工　第0-0012号内訳表

給水管切替工(φ75～150×φ40)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径 75～150mm) 配水管呼び径 40mm	1	箇所			施工　第0-0013号内訳表
止水栓 取付 (呼び径40mm) 接合及び止水栓筐 ＰＰ用	1	箇所			施工　第0-0014号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径　40mm	0.5	m			施工　第0-0011号内訳表
ポリエチレン管継手工 呼び径　40mm	6	口			施工　第0-0015号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径　40mm	0.5	m			施工　第0-0016号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　40mm)	4	口			施工　第0-0017号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0013号内訳表　　頁0-0026/0056

ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径 75～150mm)

［規格１］配水管呼び径 40mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　サドル分水栓種類 B　配水管　呼び径		=2 =5	鋳鉄管 呼び径 75～150mm 呼び径 40mm		

施工単価表

施工　第0-0014号内訳表

止水栓 取付（呼び径40mm）

［規格１］接合及び止水栓筐　ＰＰ用　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　作業区分 B　施工内容 C　管種		=1 =1 =4	取付 接合及び止水栓筐 ＰＰ用		
D　呼び径		=5	呼び径40mm		

施工単価表

施工　第0-0015号内訳表

ポリエチレン管継手工

［規格１］呼び径　40mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=5	呼び径　40mm		

施工単価表

施工　第0-0016号内訳表　　頁0-0029/0056

硬質塩化ビニル管 据付

［規格１］呼び径　40mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =6	据付 呼び径　40mm		

施工単価表

施工　第0-0017号内訳表

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　40mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=6	呼び径　40mm		

施工単価表

施工　第0-0018号内訳表　　頁0-0031/0056

ポリエチレン管 据付

［規格１］呼び径　50mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =6	据付 呼び径　50mm		

施工単価表

施工　第0-0019号内訳表

給水管切替工(φ75～150×φ50)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径 75～150㎜) 配水管呼び径 50㎜	1	箇所			施工　第0-0020号内訳表
止水栓 取付 (呼び径50㎜) 接合及び止水栓筐 ＰＰ用	1	箇所			施工　第0-0021号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径　50㎜	0.5	m			施工　第0-0018号内訳表
ポリエチレン管継手工 呼び径　50㎜	6	口			施工　第0-0022号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径　50㎜	0.5	m			施工　第0-0023号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　50㎜)	4	口			施工　第0-0024号内訳表
単　位　当　り	1	箇所			

施工単価表

施工　第0-0020号内訳表　　頁0-0033/0056

ｻﾄﾞﾙ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径 75～150mm)

［規格１］配水管呼び径 50mm　［規格２］　［ 摘要 ］　1　箇所　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　サドル分水栓種類 B　配水管　呼び径		=2 =6	鋳鉄管 呼び径 75～150mm 呼び径 50mm		

施工単価表

施工　第0-0021号内訳表　　頁0-0034/0056

止水栓 取付（呼び径50mm）

［規格１］接合及び止水栓筐　ＰＰ用　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　　箇所　　当り

名　称　・　規　格	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	箇所			
A　作業区分 B　施工内容 C　管種		=1 =1 =4	取付 接合及び止水栓筐 ＰＰ用		
D　呼び径		=6	呼び径50mm		

施工単価表

施工　第0-0022号内訳表

ポリエチレン管継手工

［規格１］呼び径　50mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=6	呼び径　50mm		

施工単価表

施工　第0-0023号内訳表　　頁0-0036/0056

硬質塩化ビニル管 据付

［規格１］呼び径　50mm　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			
普通作業員		人			
合　計	10	m			
単　位　当　り	1	m			
A　作業区分 B　呼び径		=1 =7	据付 呼び径　50mm		

施工単価表

施工　第0-0024号内訳表

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径　50mm)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　2　口　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			
合　計	2	口			
単　位　当　り	1	口			
A　呼び径		=7	呼び径　50mm		

施工単価表

施工　第0-0025号内訳表

管明示シート工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			

施工単価表

施工　第0-0026号内訳表

管明示テープ工(ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管)

［規格１］呼び径φ50mm以下　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
合　計	100	m			
単　位　当　り	1	m			
A　呼び径		=1	φ50mm		

舗装版切断(ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版)

積算単価算出表

施工　第0-0027号内訳表

［規格１］As舗装版厚->15cm以下　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m　当り

標準単価			代表機労材規格	構成比	基準単価		積算規格	単　価	補　正 構成比	備　考
	K1		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ 切削深20cm級 [ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式]				ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ [ﾊﾞｷｭｰﾑ式･湿式] 20cm級			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R3		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z1		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ) 径22ｲﾝﾁ				舗道版切断 ｶｯﾀｰﾌﾞﾚｰﾄﾞ 径22ｲﾝﾁ			
	Z2		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ				ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ			
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A B	舗装版種別 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚	=1 =1	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下						

施工単価表

施工　第0-0028号内訳表　　頁0-0041/0056

舗装版取壊し積込工

［規格１］舗装厚⇒0cm越え　10cm以下　　［規格２］　　［ 摘要 ］　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			
A　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格 B　舗装厚		=3 =1	山積0.28m3 舗装厚⇒0cm越え　10cm以下		

施工単価表

施工　第0-0030号内訳表　　頁0-0042/0056

掘削積込工

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=3	ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0032号内訳表　　頁0-0043/0056

掘削積込工(補助的作業なし)

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			

掘削(人力)

積算単価算出表

施工　第0-0034号内訳表

［規格１］土砂 現場制約あり　［規格２］　［ 摘要 ］　1　m3　当り

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格		単　価	補　正 構成比	備　考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価　＝									
	A	土質	=1	土砂						
	B	施工方法	=6	現場制約あり						

施工単価表

施工　第0-0035号内訳表　　頁0-0045/0056

残塊処分工(ｱｽﾌｧﾙﾄ)

［規格１］〔中谷建材㈱〕　［規格２］運搬距離　L=16.7km　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬 処理対象->As塊・Co塊（無筋）	1	m3			施工　第0-0036号内訳表
処分費 ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	1	式			施工　第0-0038号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

施工単価表

施工　第0-0036号内訳表

運搬

[規格１]処理対象->As塊・Co塊（無筋）　[規格２]　[摘要]　10　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転 路面：良好		日			
合　計	10	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ダンプトラック規格 B　積込機械・規格 C　土質区分		=2 =3 =2	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t積 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3 As塊・Co塊（無筋）	（平積0.20m3）	
D　運搬距離(km) E　DID区間 F　路面状態		=16.7 =2 =1	運搬距離(km) DID有 路面：良好		

施工単価表

施工　第0-0038号内訳表　　頁0-0047/0056

処分費

［規格１］ｱｽﾌｧﾙﾄ殻　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=2 =1 =	Ａｓ殻 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工　第0-0039号内訳表

残塊処分工(土砂)

［規格１］〔西川建材㈱〕　［規格２］運搬距離　L=16.5km　［ 摘要 ］　1　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬 処理対象->土砂	1	m3			施工　第0-0040号内訳表
処分費 土 砂	1	式			施工　第0-0041号内訳表
単　位　当　り	1	m3			

施工単価表

施工　第0-0040号内訳表　　頁0-0049/0056

運搬

［規格１］処理対象->土砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　10　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運転 路面：良好		日			
合　計	10	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　ダンプトラック規格 B　積込機械・規格 C　土質区分		=2 =3 =1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t積 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3 土砂	(平積0.20m3)	
D　運搬距離(km) E　DID区間 F　路面状態		=16.5 =2 =1	運搬距離(km) DID有 路面：良好		

施工単価表

施工　第0-0041号内訳表　　頁0-0050/0056

処分費

［規格１］土 砂　　［規格２］　　［ 摘要 ］　　1　式　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
投棄料	1.00	式			1 処分費
単　位　当　り	1	式			
A　種 類 B　処分量(m3又はt) C　★★投棄料(円/t)		=1 =1 =	土砂 処分量(m3又はt) ★★投棄料(円/t)		

施工単価表

施工　第0-0042号内訳表

仮復旧工 ［密粒度[再](13)］

［規格１］厚 5cm　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
再生密粒度ｱｽｺﾝ TOP13		t			
振動ﾛｰﾗ運転		日			1
振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ運転		日			1
諸雑費		%			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			

施工単価表

施工　第0-0045号内訳表　　頁0-0052/0056

路盤工(粒調砕石)

［規格１］上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm ［規格２］　　［ 摘要 ］　　100　m2　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員		人			
粒調砕石 （0～25mm･0～30mm･0～40mm）		m3			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m2			
単　位　当　り	1	m2			
A　路盤工種別 B　施工幅 C　路盤材の種類		=1 =1 =2	上層路盤 施工幅：1.8m 未満 粒調砕石		
D　仕上り厚		=6	10cm		

施工単価表

施工　第0-0047号内訳表

埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 （0～30mm･0～40mm）		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=5 =3	再生切込砕石 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0049号内訳表　　頁0-0054/0056

埋戻工（埋戻し材->流用土）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
流用土		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=2 =3	流用土 ﾊﾞｯｸﾎｳ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0050号内訳表　　頁0-0055/0056

埋戻工（埋戻し材->ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ）

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　100　m3　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ （0～2.5mm）		m3			
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転		時間			
ﾀﾝﾊﾟ運転（賃料）		日			
合　計	100	m3			
単　位　当　り	1	m3			
A　埋戻し材の種類 B　ﾊﾞｯｸﾎｳ規格		=6 =3	ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽ ﾊﾞｯｸﾎｳ　山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工　第0-0051号内訳表

交通誘導警備員 B

［規格１］　［規格２］　［ 摘要 ］　1　人日　当り

名　称　・　規　格	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
交通誘導警備員Ｂ		人			
単　位　当　り	1	人日			
A　交通誘導警備員区分 B　労務費調整係数		=2 =1	交通誘導警備員 B 労務費調整係数		